HiME-Mania

姫マニア vol.37

画・紫色雁行

イケない初体験
尾山泰永

みはねに全部出して♡
カマキリ

ヴァージンあげちゃう
栗本重治

女子校に男一人!?
さかぐちしずか

ついに連載開始！ 一挙48P

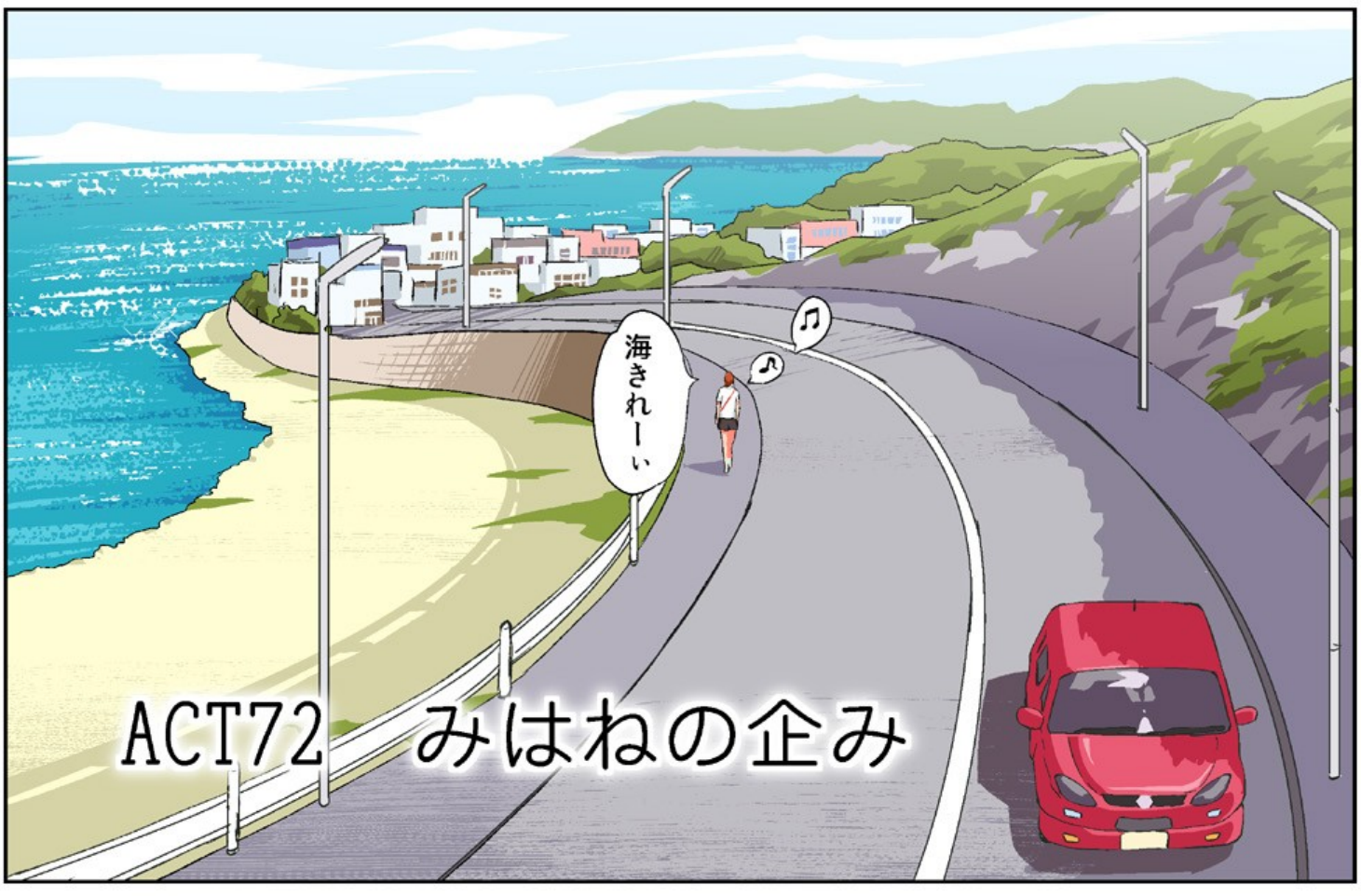
リアル女体vsアキバ君

紫色雁行

みはねに全部出して♡

ACT72

カマキリ



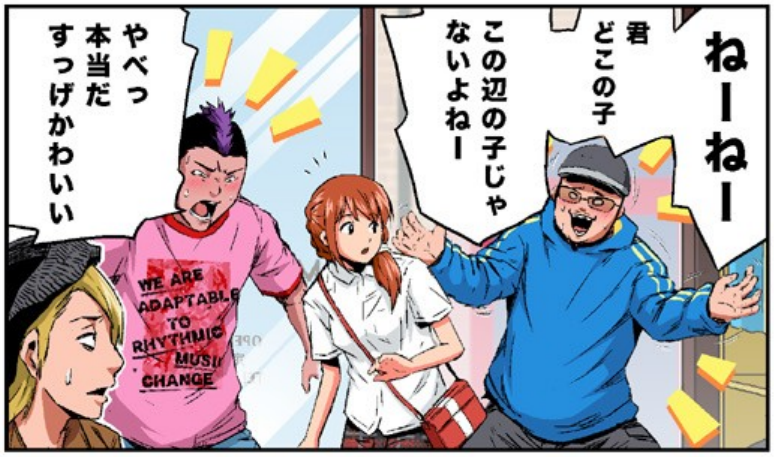
ACT72　みはねの企み

ビィィィ
グッ
あぁぁぁぁぁぁ
キキキキキキキ
のわっ
!?
おい!!
いきなり
止まんなよ!
危ねーだろォ
なっ何っ
今の娘っ!?
ちょっ
ヤバくねっ
ほらっ
ほらっ
54-BB

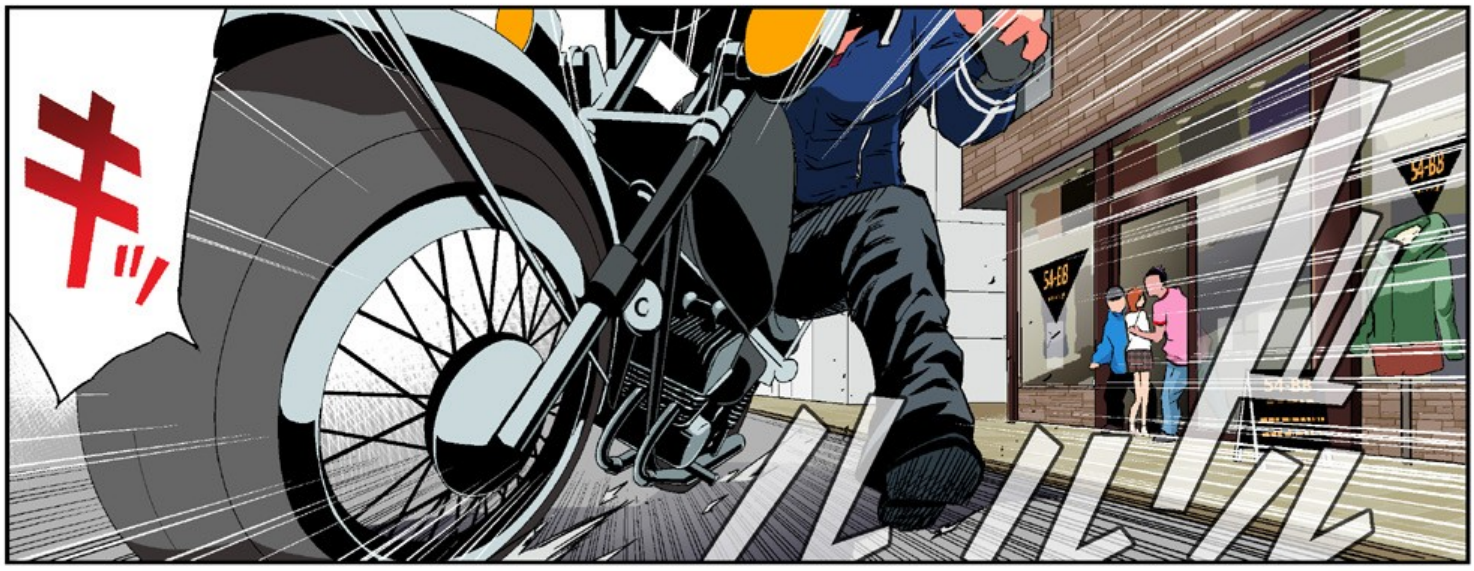
こんにちわー
いらっしゃいませー

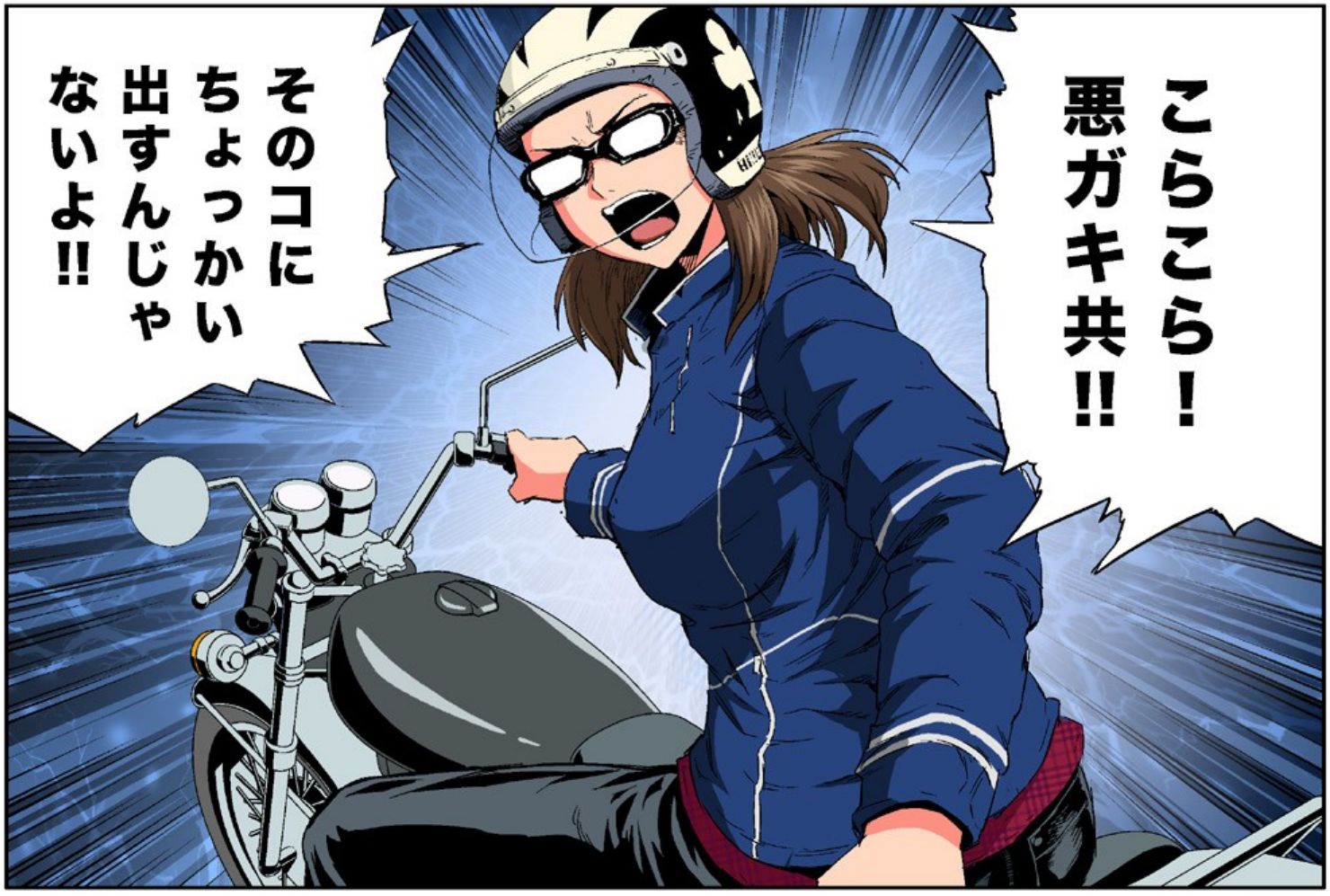
うわっ
かわい！
…あれ…
見た事
あるな…

ったく
面ドクセーなぁ
早く早く！


ねーねー
君
どこの子
この辺の子じゃ
ないよねー
やべっ
本当だ
すっげかわいい

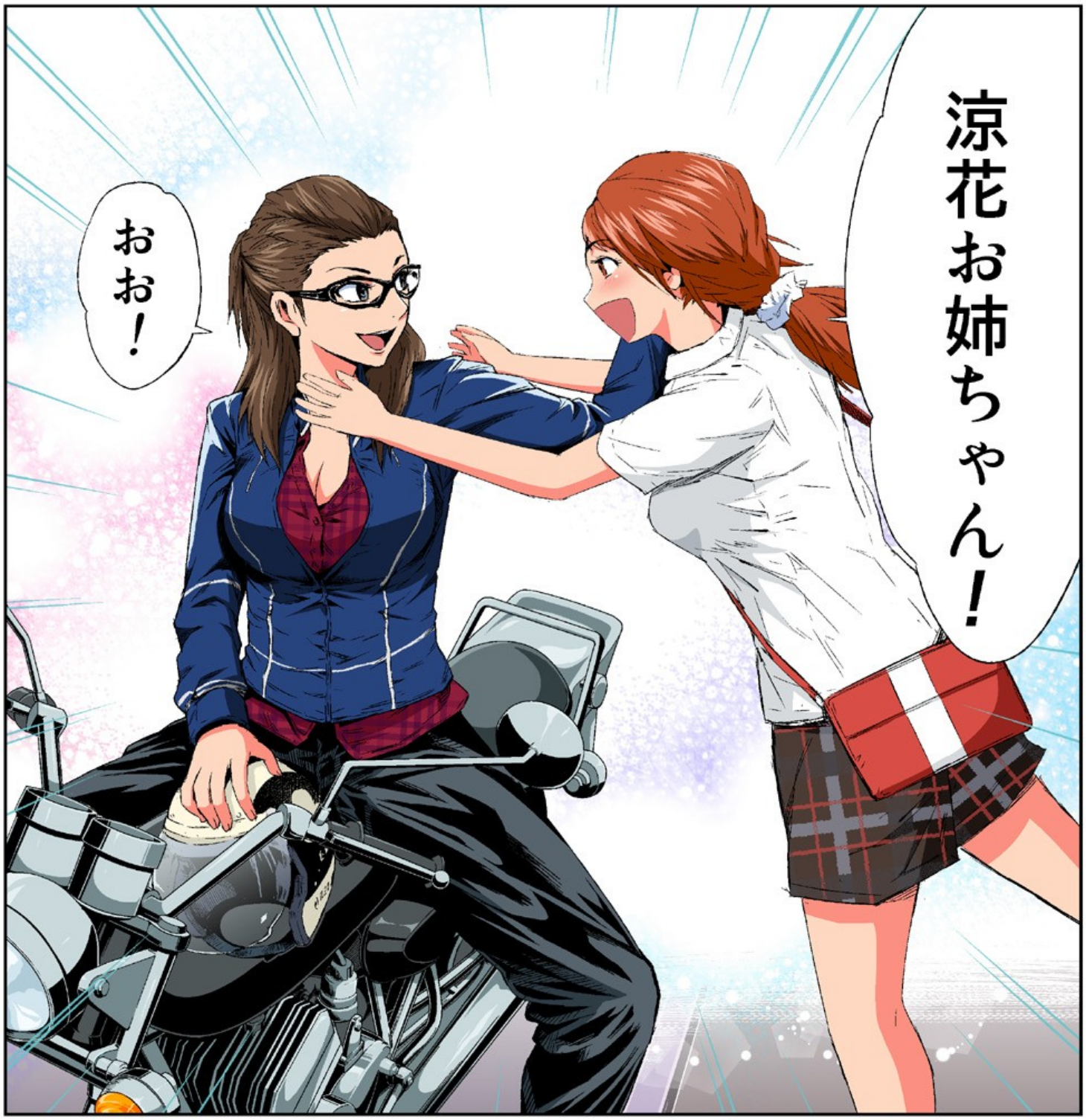
俺らと遊びに行かね？
おごるからさー
カラオケがい？
ボーリングにする？
ねー
いーじゃん
ハァ
ねー
いーじゃん
ハァ
ハァ
あ…
困ります
ん
あれ…
この子…
や…
そんな訳
ないよな…


キッ


こらこら！
悪ガキ共!!
そのコに
ちょっかい
出すんじゃ
ないよ!!

カポ

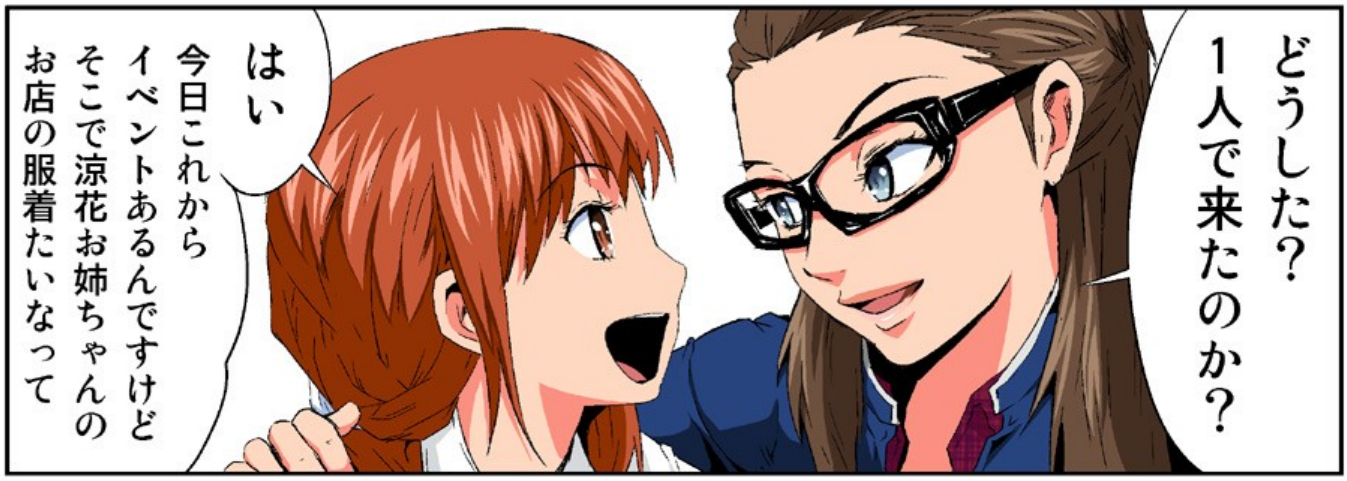
うおっ
出たっ
店長っ
あいかわらず
しっぶいの
乗ってんなぁ
タタタ
WE ARE
ADAPTABLE
TO
RHYTHMIC
MUSIC
CHANGE


涼花お姉ちゃん！
おお！

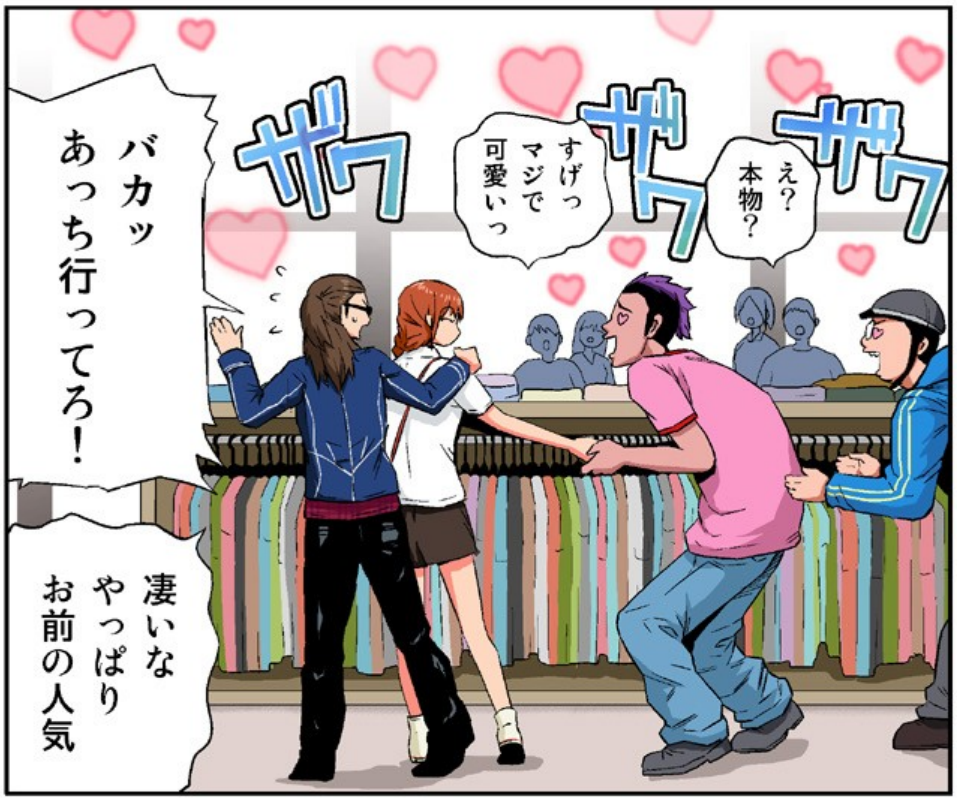
え、
みはね
やっぱり…
え
え

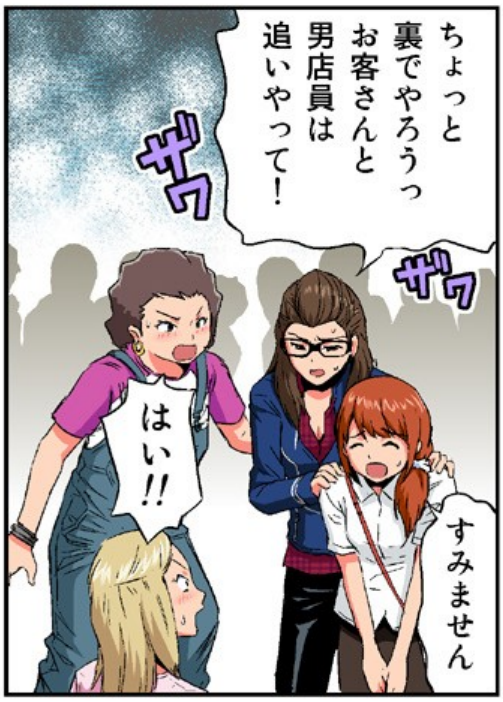
よく来たね
みはねっ
ちゅ

スゲーッ
生みはねだぁ
え、あのフリッカのみはね？
ウソ
ちょ
何でっ
何でっ
店長おぉ


どうした？
1人で来たのか？
はい
今日これからイベントあるんですけどそこで涼花お姉ちゃんのお店の服着たいなって

そっか！
そっか！
いーよ！
わかった!!
姉ちゃんに任せな
ははは
お願いします
サイン
サイン
あの、握手してー
みはねちゃーん
わっ
みはねだっ！
えと店長ぉ？
みはねさんとお知り合いなんですかぁ


ザワ
ザワ
ザワ
え？本物？
すげっマジで可愛いっ
バカッあっち行ってろ！
凄いなやっぱりお前の人気

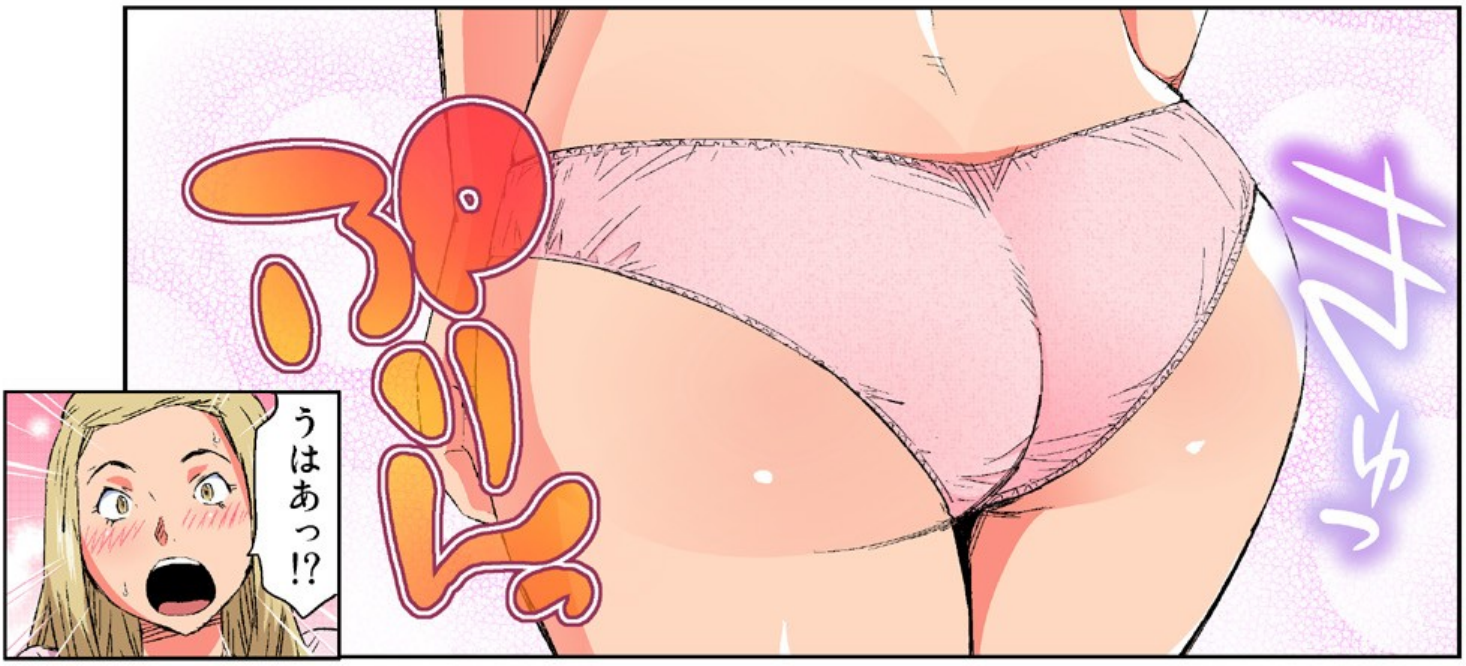

ちょっと裏でやろうっお客さんと男店員は追いやって！
ザワ
ザワ
はい!!
すみません

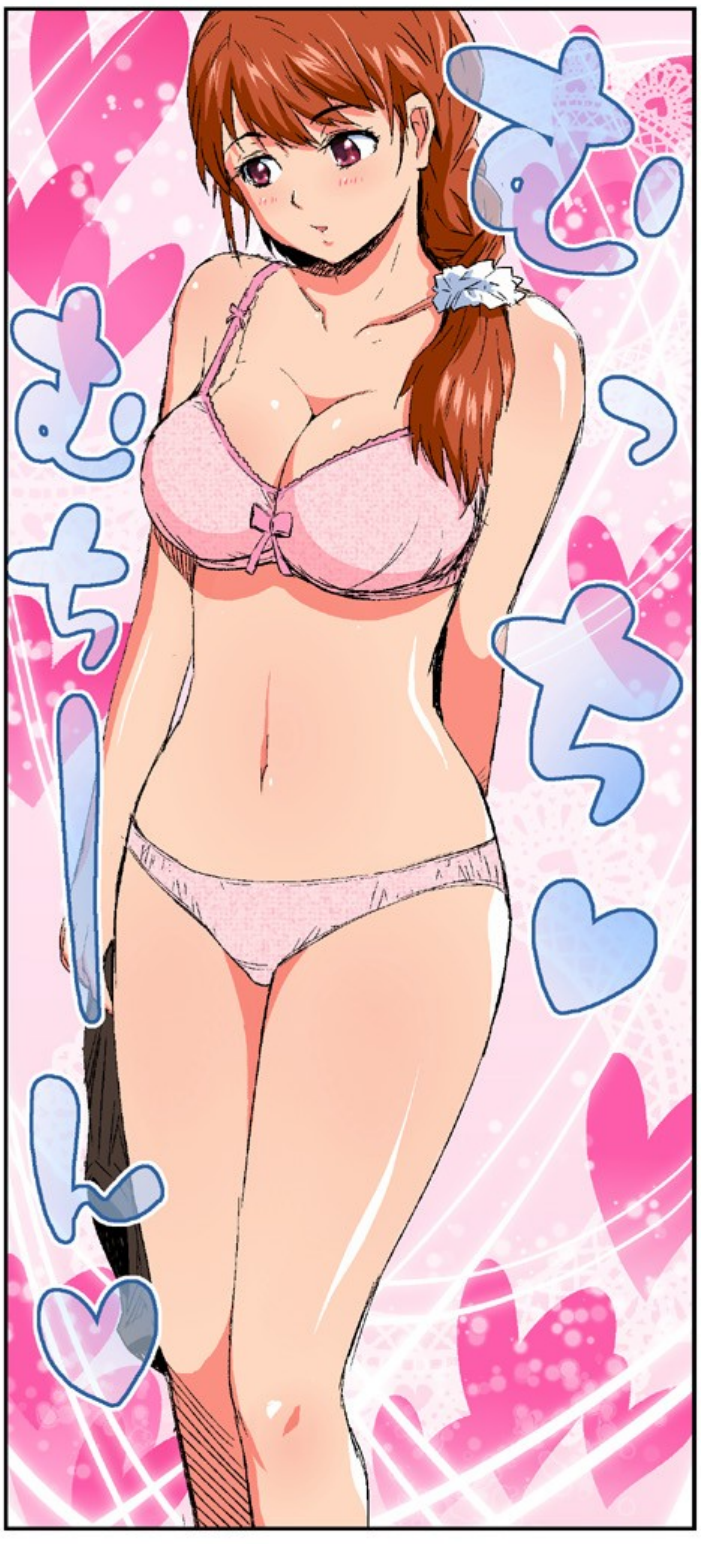
ドサ
ドサ
ドサ

でー店長みはねさんとどういう関係なんですかあ？
……
姪(めい)だよ

えーすごい！芸能人と親戚だなんてっ
しかもみはねちゃんとっやっぱ店長只者じゃないっす！
だから時々フリッカの音楽聴いてたんですね！
？
涼花お姉ちゃん私の事 何も言ってないんですか？

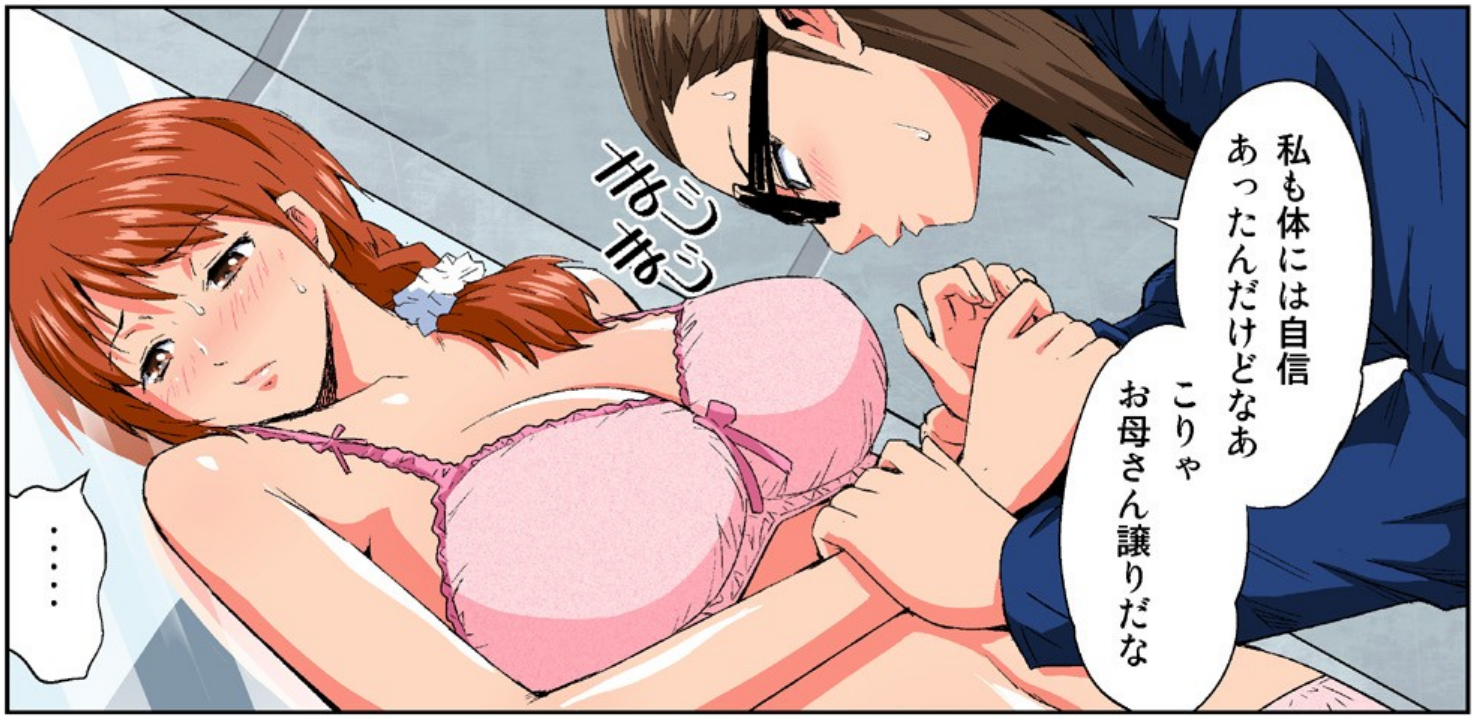
可愛い子達はいるって言ってあるけどね
私みたいなガラの悪いのと関係あったらお前にマイナスだろ
そんな事ないですよー
それにまー こうやってサインくれだの会わせろだのうるさいからね
ほらっ脱いじゃいなっ女同士だから恥ずかしく無いだろ
はい
グッ
シュル
ドキ
ドキ
えっ？


ぷりっ
うはあっ!?

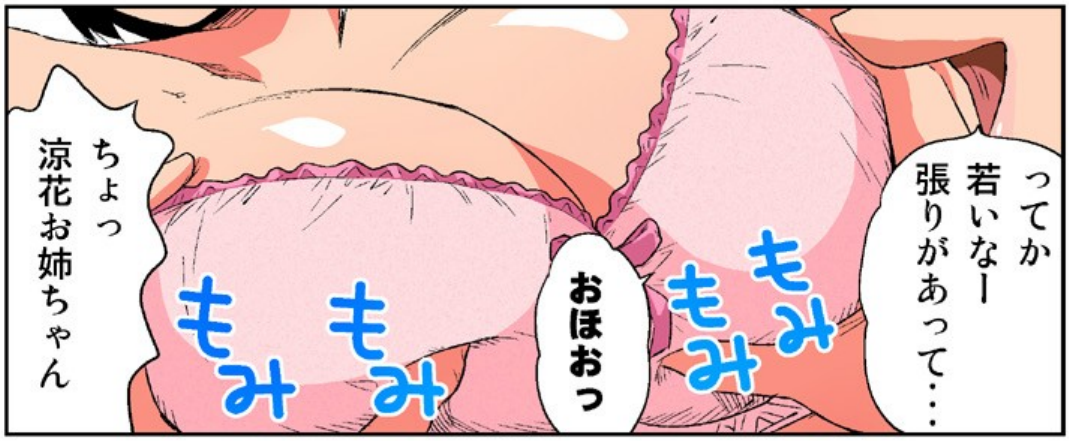

むっちむっちーん♡

服の下にこんなに立派なものがっ!!
グラビアアイドルも真っ青っすね!!
キャー
ニヤニヤ
いろいろ大きくなったなあ

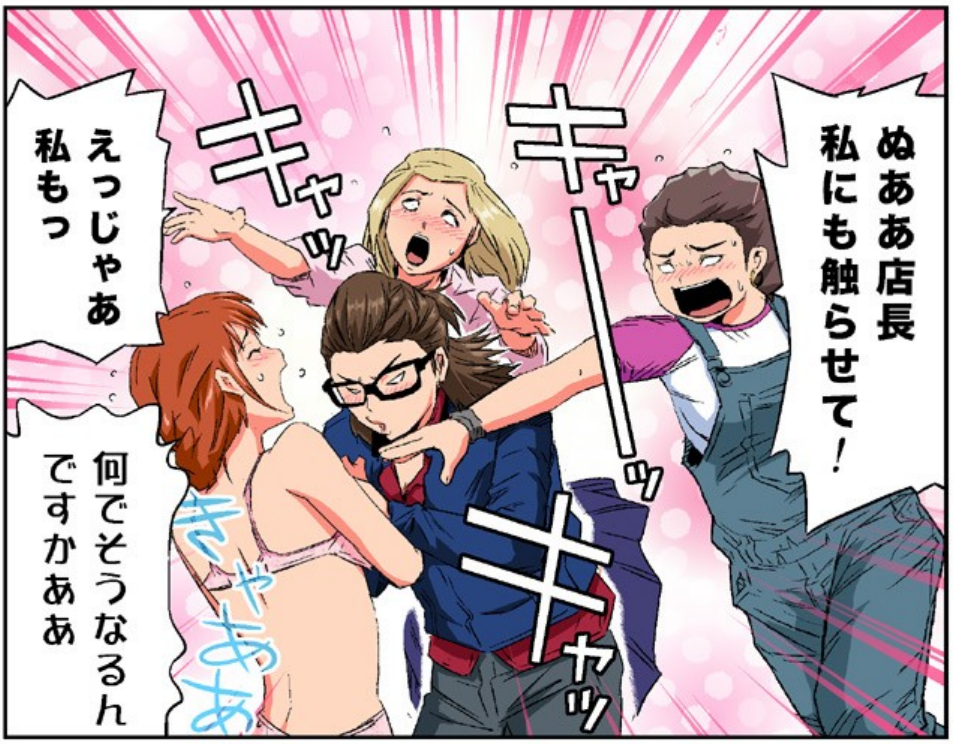
女性でもそんなに見られると恥ずかしいです


私も体には自信あったんだけどなあ
こりゃお母さん譲りだな
ナデナデ
……

あ
クイ♪


ってか若いなー張りがあって…
おほおっ
ちょっ涼花お姉ちゃん
もみ
もみ
もみ
もみ

乳首もこんなに綺麗なのか!!
ハア
ハア
ハア
う羨ましいっっ
やあっ早く服着させて下さいっ
ぴこ
ぴく
あっ何してっ
クリ
クリ
店員さんっ涼花お姉ちゃんを止めて下さいいっ


ぬああ店長
私にも触らせて！
キャー
キャッ
キャッ
えっじゃあ
私もっ
何でそうなるん
ですかああ
きゃあああ

もーあー
くすぐったい
ですー

はは
はは

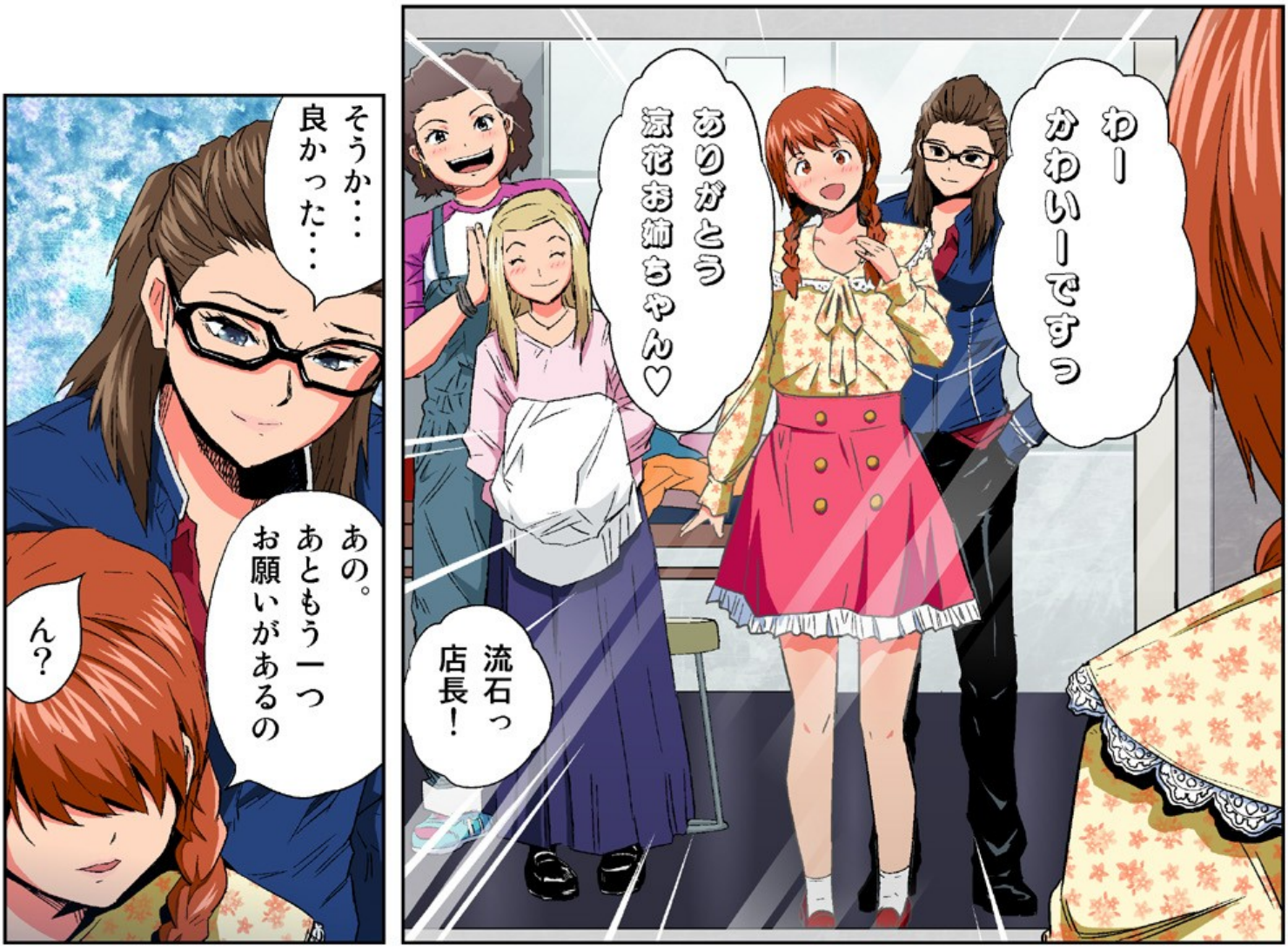
楽しい

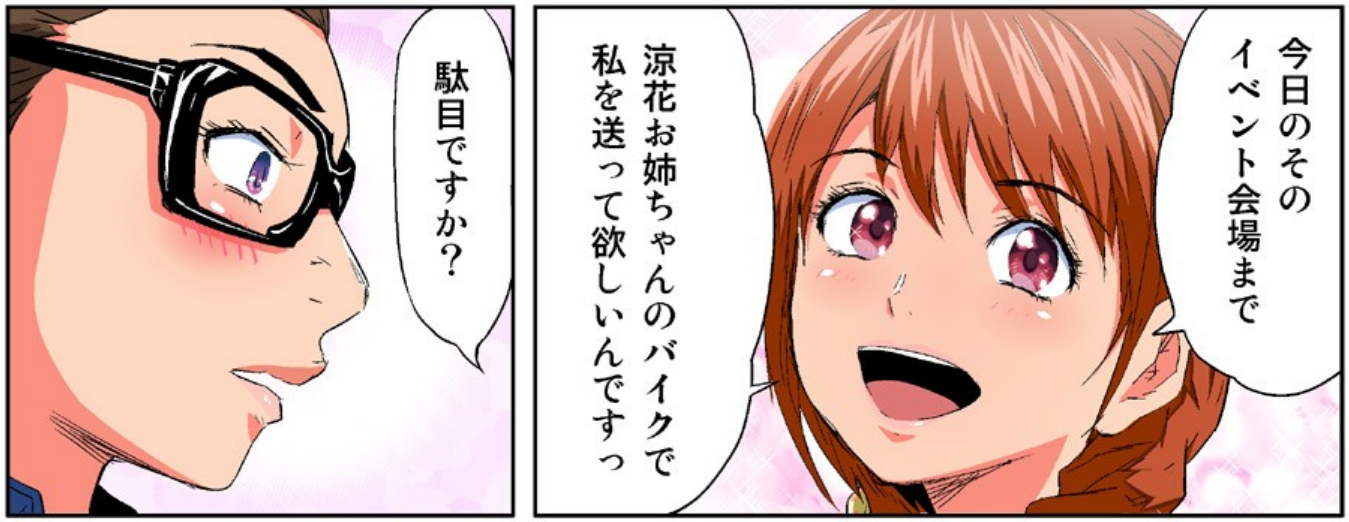
私が

私がもっと
しっかりしてたら
みんなと一緒に
暮らせてたのかなあ

このコーディネイトが
終わったら
みはねは
また帰ってしまう

よし
こんなもんで
どうだ？
もっとみはねと
一緒にいたいっ


わー
かわいーですっ
ありがとう
涼花お姉ちゃん♡
流石っ
店長！
そうか…
良かった…
あの。
あともう一つ
お願いがあるの
ん？


今日のその
イベント会場まで
涼花お姉ちゃんのバイクで
私を送って欲しいんですっ
駄目ですか？

お前の頼みで
駄目な事なんて
あるわけ無いだろ!!
任せな！
何処にだって
送ってやるよ!!
やったー
わー
みはねちゃんとドライブ
いいなー

女子校に男一人!?

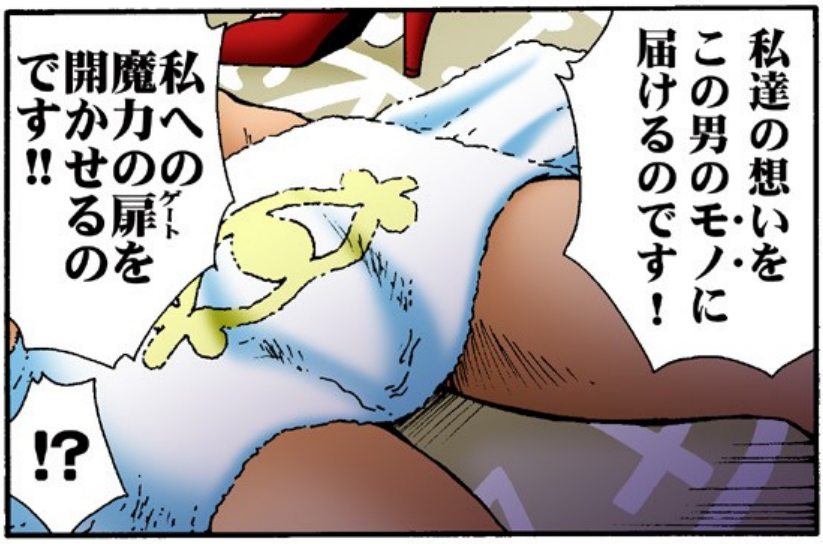
第73話

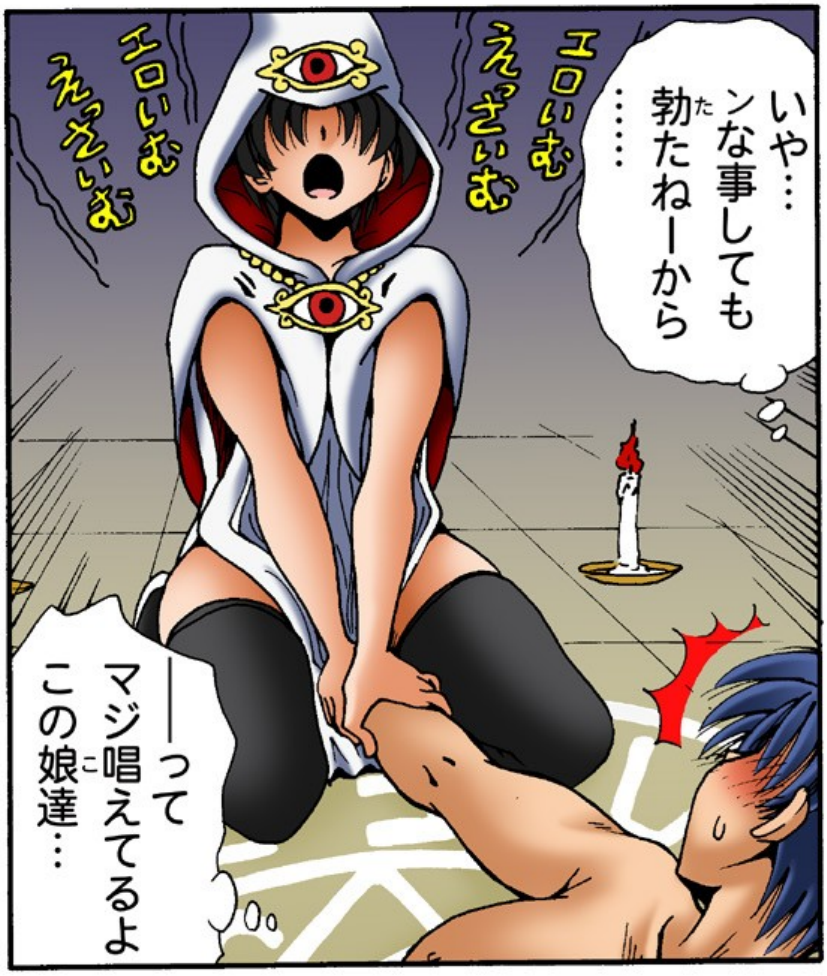
さかぐちしずか

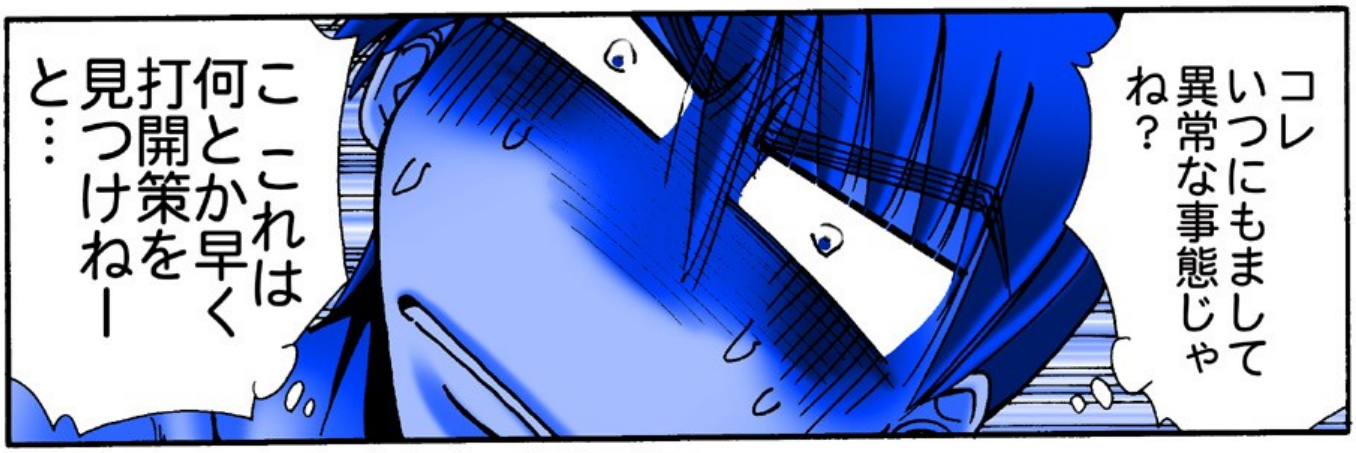
し
質問～
ひょっとして
贄(にえ)って事は
用務員さんと
ここで一発…？
下品な言い方を
なさらない!!
これは私の魔力を
高めるのに必要な
儀式
そして この力で私達
八百万(やおよろず)同好会は
部に昇格するのです
ひ～～～
どうなるよ
俺!?

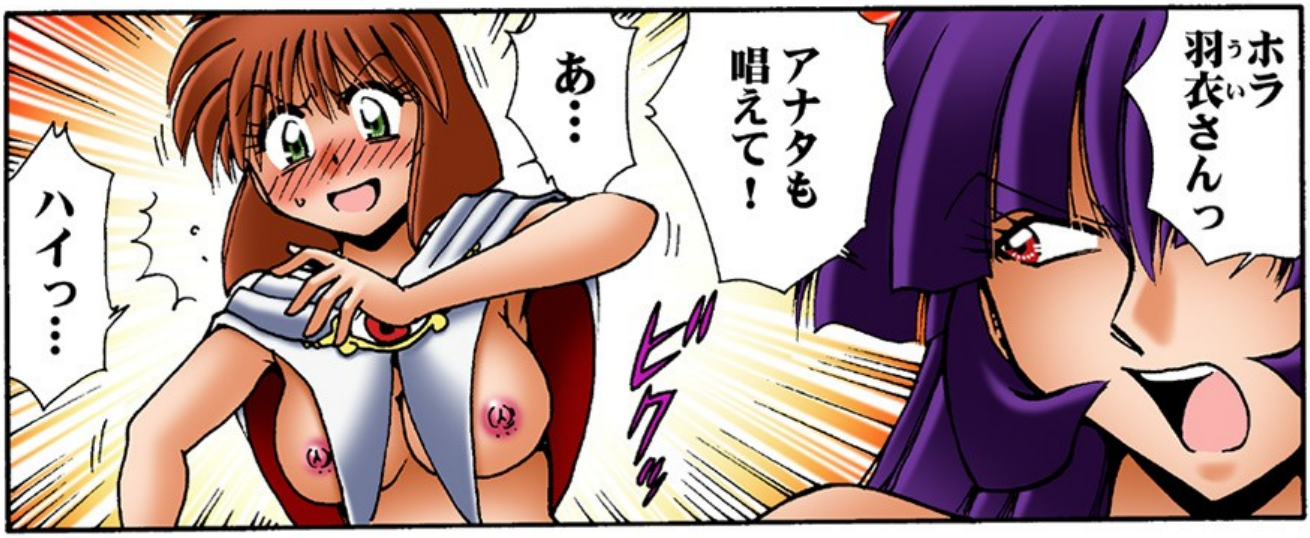
そして
その頃の
彩乃(あやの)達…
ああ！
だんだん
何かが
うっすら
ぼんやり
……
え？
どこ
どこ？
うぅ～ん…
それ結局
何も
わかって
ないよね
…？
それなりに必死に
司(つかさ)の行方を捜して
いた…

さぁ皆さん！
今こそ声高らかに
唱えましょう!!


私達の想いを
この男のモノに
届けるのです！
私への魔力の扉(ゲート)を
開かせるのです!!
!?


いや…
ンな事しても
勃(た)たねーから
……
エロいむ
えっさいむ
エロいむ
えっさいむ
――って
マジ唱えてるよ
この娘(こ)達…


コレ
いつにもまして
異常な事態じゃ
ね？
これは
何とか早く
打開策を
見つけねー
と…


ホラ 羽衣(ういー)さんっ
アナタも 唱えて！
あ…
ハイっ…
ビクッ

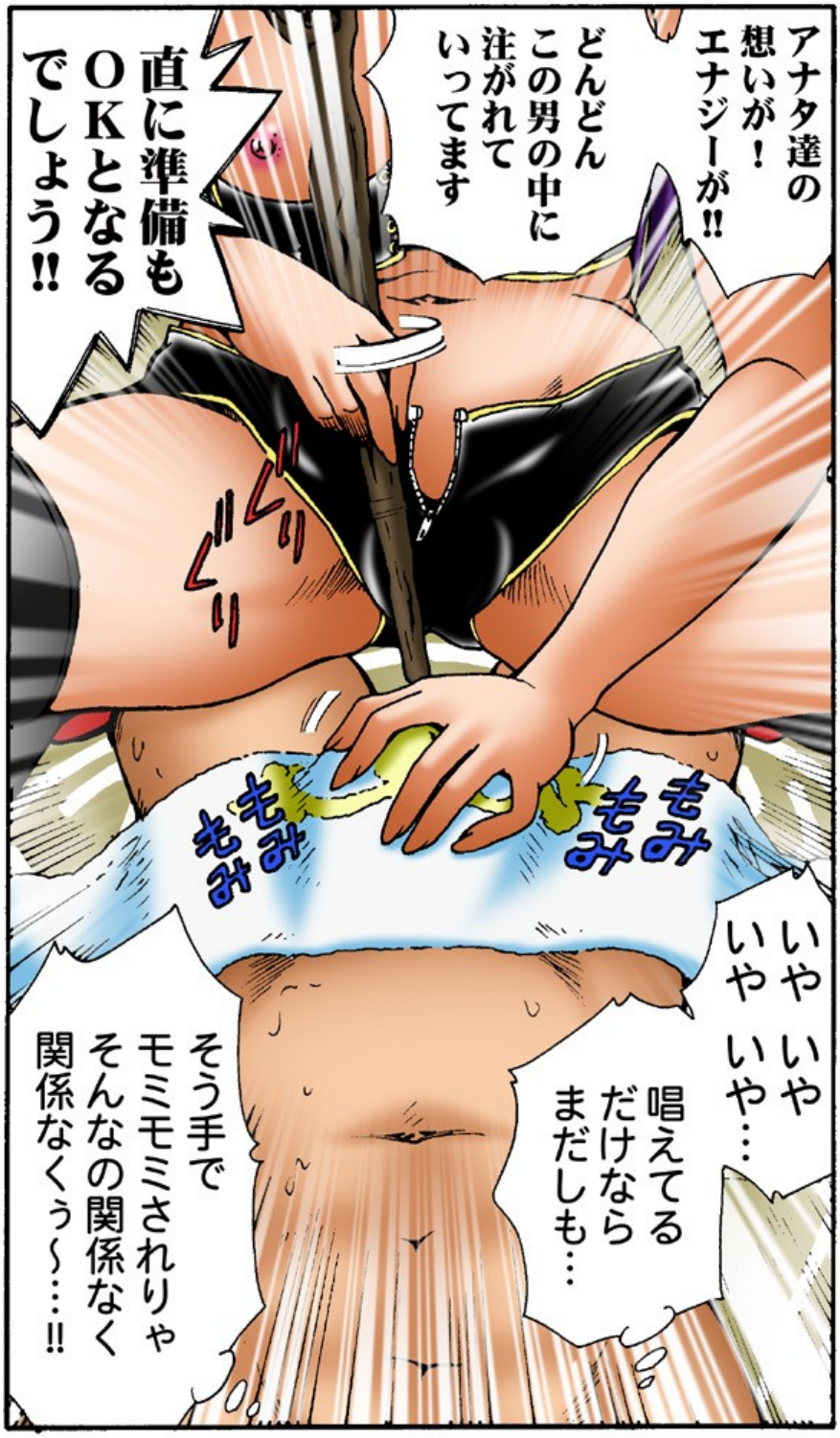
ど どうしよう…
まさか次期部長が こんな事考えてたなんて…
これはとんだ計算違い…!!
うんたら~
かんたら~

そもそも私に 魔法の素質 あるからって いうから…
その魔法 教えてもらう のを条件に 部昇格に協力 する話だったん だけど…
うわ
あ
私としては その魔法でもって 用務員さんと ヤっちゃおうと 思ってたんだ よね…

なのにアレ？
なんでこういう展開なワケ？
うんたら～
かんたら～
ああ…キテます皆さんっ
うんたら～
かんたら～

イカンっ！このままじゃいつかは勃たされちまうっ!!
ヲおお…
フルフル…
考えろっ！ここからの脱出方法をっ!!

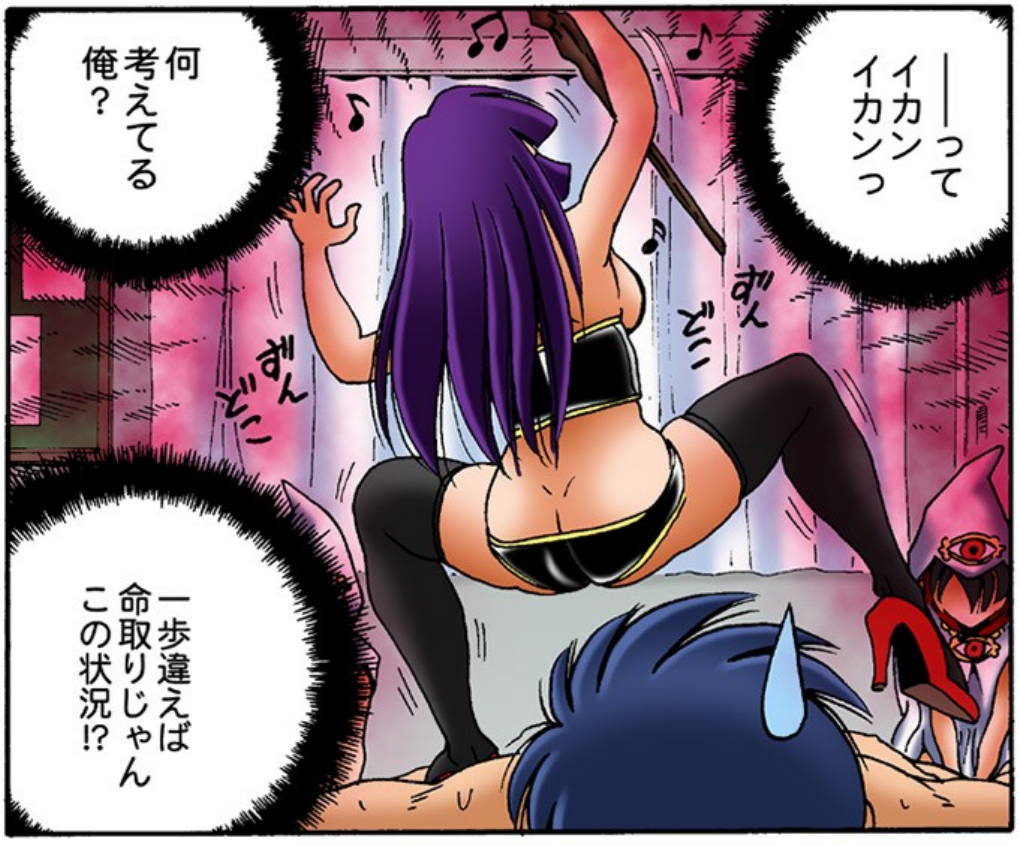
!?

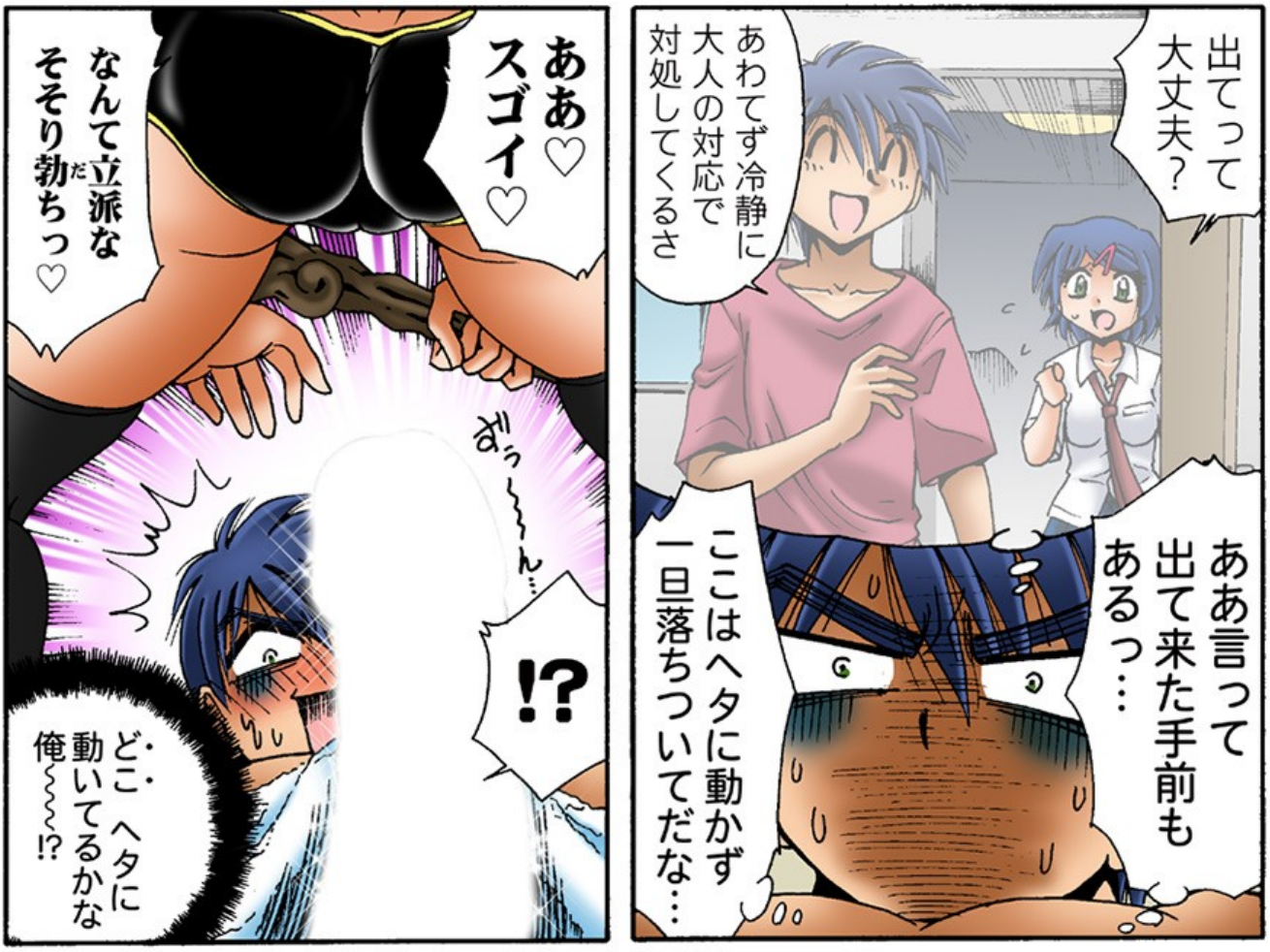

アナタ達の想いが！エナジーが!!
どんどんこの男の中に注がれていってます
直に準備もOKとなるでしょう!!
もみもみもみ
いやいやいや…
唱えてるだけならまだしも…
そう手でモミモミされりゃそんなの関係なく関係なくぅ～…!!

彼女達…
それなりに
手足を
押さえつけて
はいるが…
唱えるのに
夢中のせいか
今はそれ程
力が入って
ねーっ…
これなら
気がゆるんだ
一瞬をつけば
……
そこのアナタ
もっと声を
出して！
あ ハイッ
右手の力
が…!?
今だ!!
…え？
きゃあっ!?
やった
!!
——
!?

こ
これは…
下
素っ裸っ!?
じゃあ何?
ま まさか
ここにいる
全員…
この娘も…
司の想像 1
この娘も…
想像 2
そしてこの娘も…
うおお…
なんて
状態っ!?
想像 3

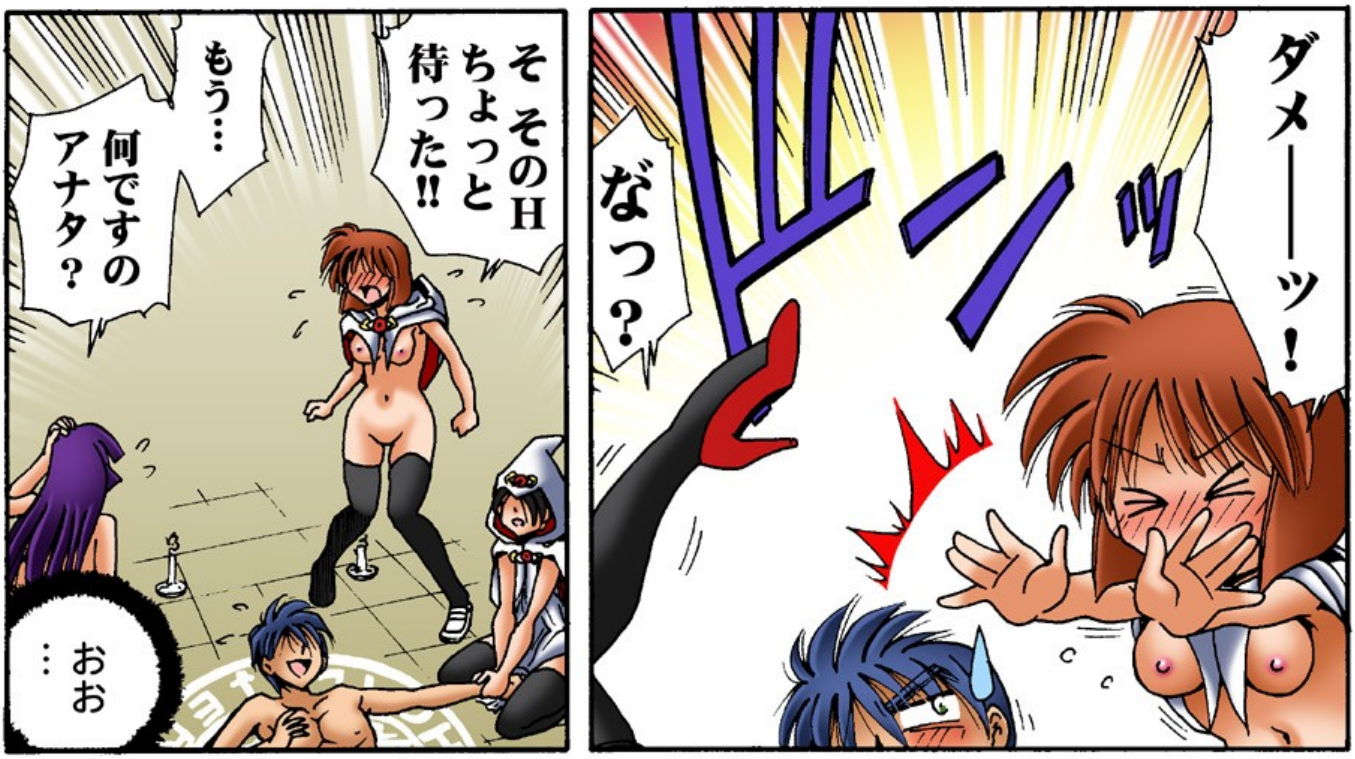
しかも自ら
その格好って事は
もちろん全員
そのつもりって事
で…
ええ？
――って
これって…
ハーレム!?
――そうコレ
紛う事なく
正にハーレム
♡
♡
♡


――って
イカン
イカンっ
何
考えてる
俺？
一歩違えば
命取りじゃん
この状況!?


出てって大丈夫？
あわてず冷静に大人の対応で対処してくるさ
ああ言って出て来た手前もあるっ…
ここはヘタに動かず一旦落ちついてだな…
ああ♡スゴイ♡
なんて立派なそそり勃ちっ♡
ずっ～～～ん…
!?
どこ ヘタに動いてるかな俺～～～!?

さぁ！今こそ…
今こそ魔力の注入を♡♡♡
ウおおお
待て 待て 待てぇ～い!!

そこだけ〝大人の対応〟してどーするよ…!?
!?


ダメ――ッ！
ドンッ
なっ？
そのH
ちょっと
待った!!
もう…
何ですの
アナタ？
おお
…

羽衣の奴…
彩乃の周りに
いる中で一番
いーかげんな
奴だと思って
いたが…
いや
なかなか
どーして
ちゃんとした
倫理感をもった
奴だったんだ…

見直し
たぞ！
羽衣!!
やっぱ
よく考えて
みたらさ…

用務員さんに
先に目ぇつけたの
私だもん！
なら順番
とーぜん
私の方が先
じゃん!?
ラ
お
お
フ

そ そうは
させませんっ
み 皆さんっ

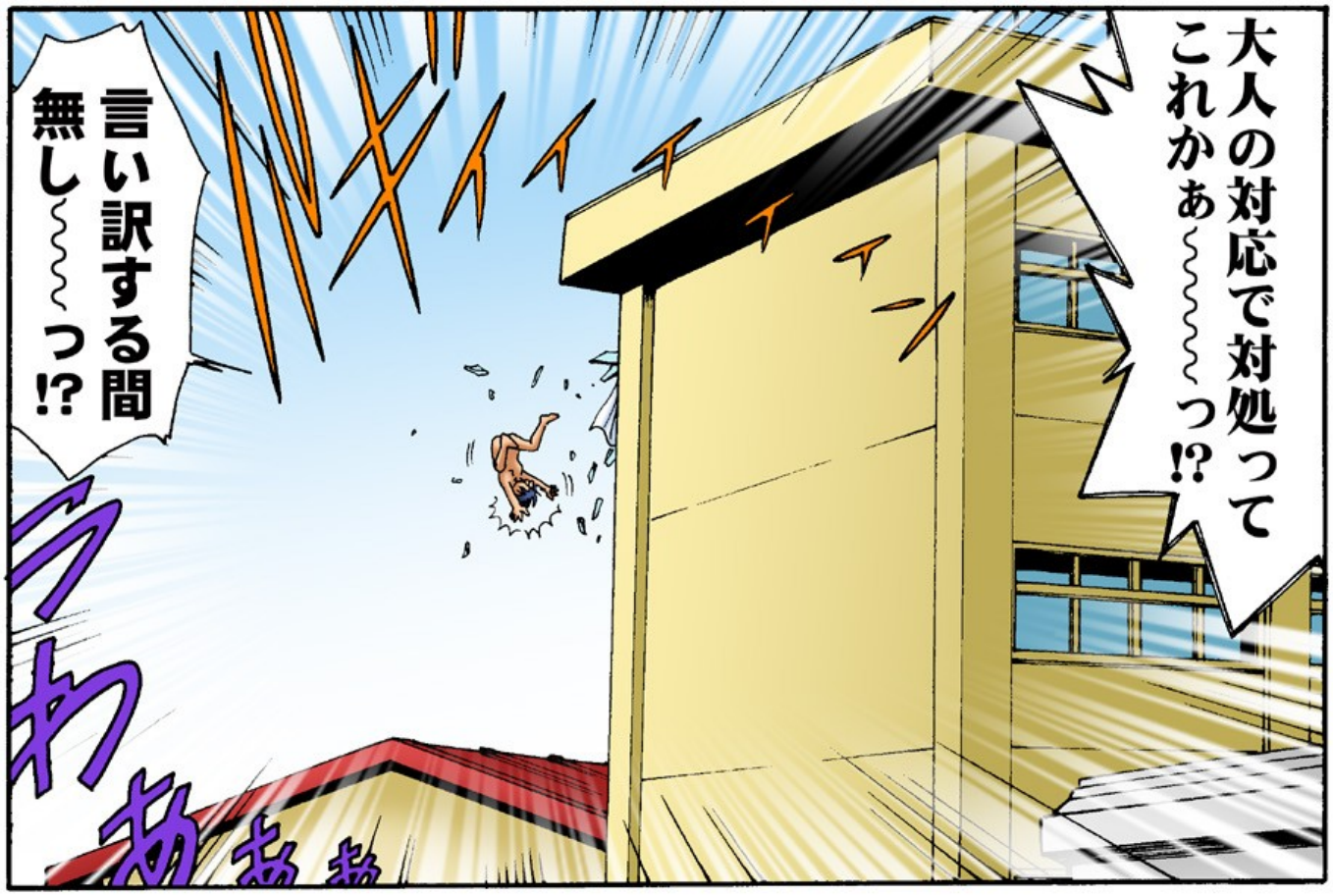
そーゆワケで
ここは私が
遠慮なく…♡
待て 待て
待て〜っ!!
ビキ
ビキビキ…
いそ
いそ…

なんとしても
阻止するの
です！
そしてそれが
部昇格への
最速の道と
なるでしょう
おお？
ぞぞぞ…
うお？
裸の女が
わらわら
と…!?
どーなる
よ 俺!?

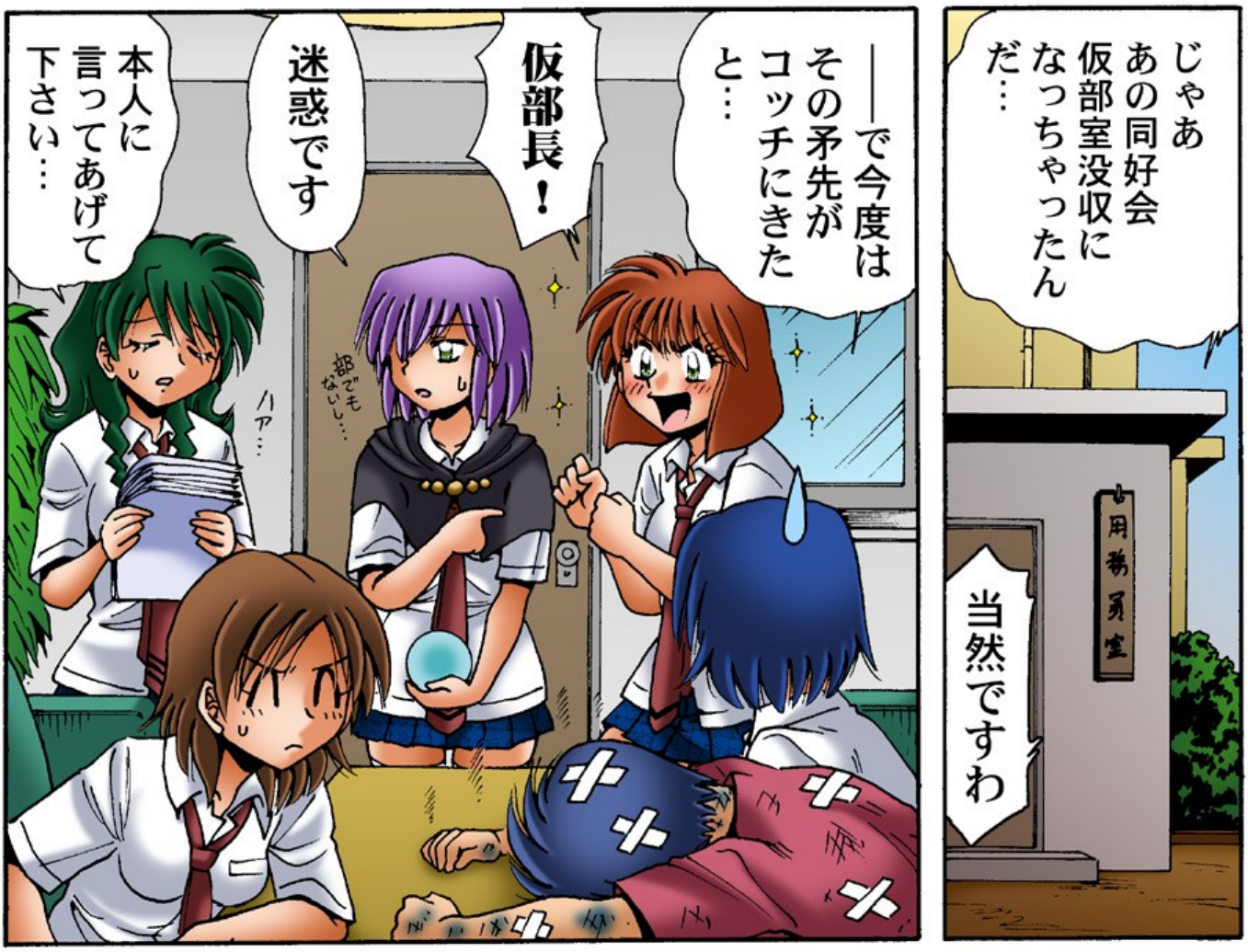
タッ
タッ
タッ
タッ
タッ
タッ

おっ？
ビンゴ！
助けに
来ました！
お兄ちゃんっ
大丈夫!?

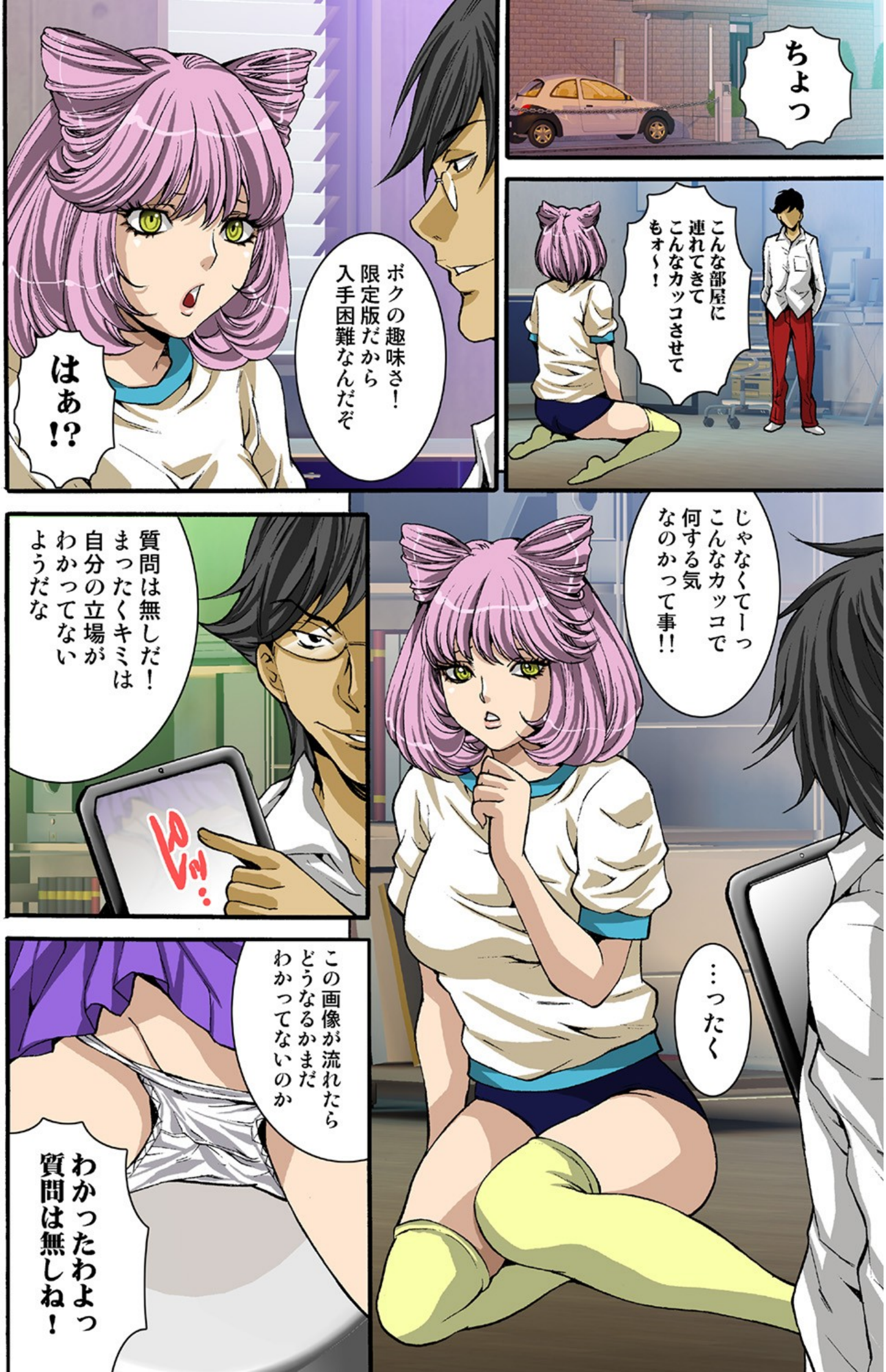
あっ
あっ
や
だめっ
そんなコト…
ラブ
ラブ
ラブ
ラブ
ラブ

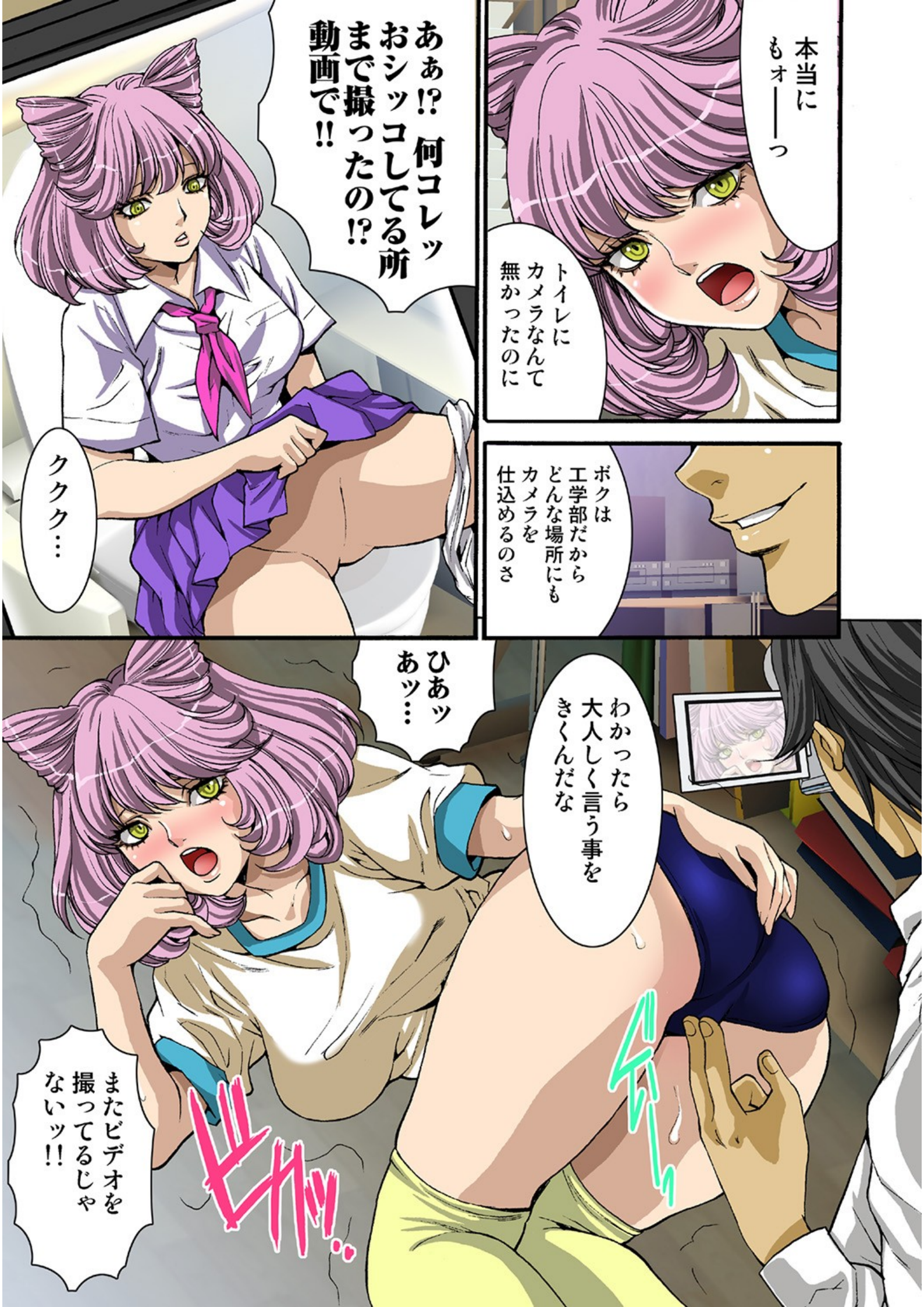

大人の対応で対処ってこれかぁ～～～～っ!?
言い訳する間無し～～～っ!?
うわぁぁぁ

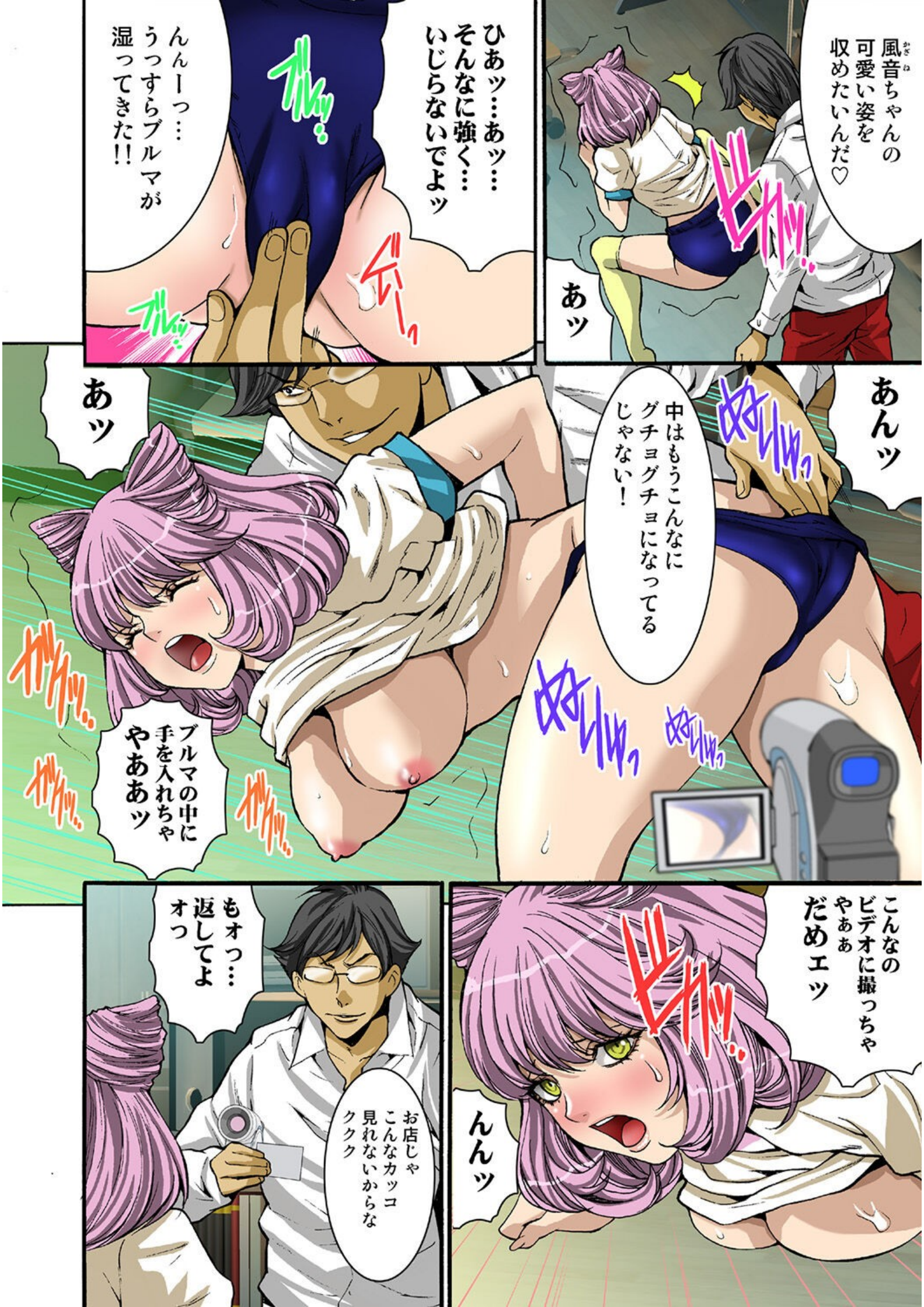
――その後――


じゃああの同好会仮部室没収になっちゃったんだ…
当然ですわ
用務員室
――で今度はその矛先がコッチにきたと…
仮部長！
迷惑です
本人に言ってあげて下さい…
部でもないし…
ハア…

イケない
初体験
第51話
尾山泰永
おやまやすなが


ちょっ
こんな部屋に連れてきてこんなカッコさせてもぉ～！
ボクの趣味さ！限定版だから入手困難なんだぞ
はあ!?
じゃなくてーっこんなカッコで何する気なのかって事!!
…ったく
質問は無しだ！まったくキミは自分の立場がわかってないようだな
この画像が流れたらどうなるかまだわかってないのか
わかったわよっ質問は無しね！


本当に
もォ――っ
トイレに
カメラなんて
無かったのに
ボクは
工学部だから
どんな場所にも
カメラを
仕込めるのさ
ククク…
あぁ!? 何コレッ
おシッコしてる所
まで撮ったの!?
動画で!!
わかったら
大人しく言う事を
きくんだな
ひあッ
あッ…
またビデオを
撮ってるじゃ
ないッ!!


風音ちゃんの
可愛い姿を
収めたいんだ♡
ビカッ!!
あッ
ひあッ…あッ…
そんなに強く…
いじらないでよッ
ブルッ!
ビーッ
ブルッ!
んんーっ…
うっすらブルマが
湿ってきた!!
あッ
あんッ
中はもうこんなに
グチョグチョになってる
じゃない!
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ブルマの中に
手を入れちゃ
やああッ
こんなの
ビデオに撮っちゃ
やぁぁ
だめエッ
ビカッ!!
んんッ
お店じゃ
こんなカッコ
見れないからな
ククク
もオっ…
返してよ
オっ

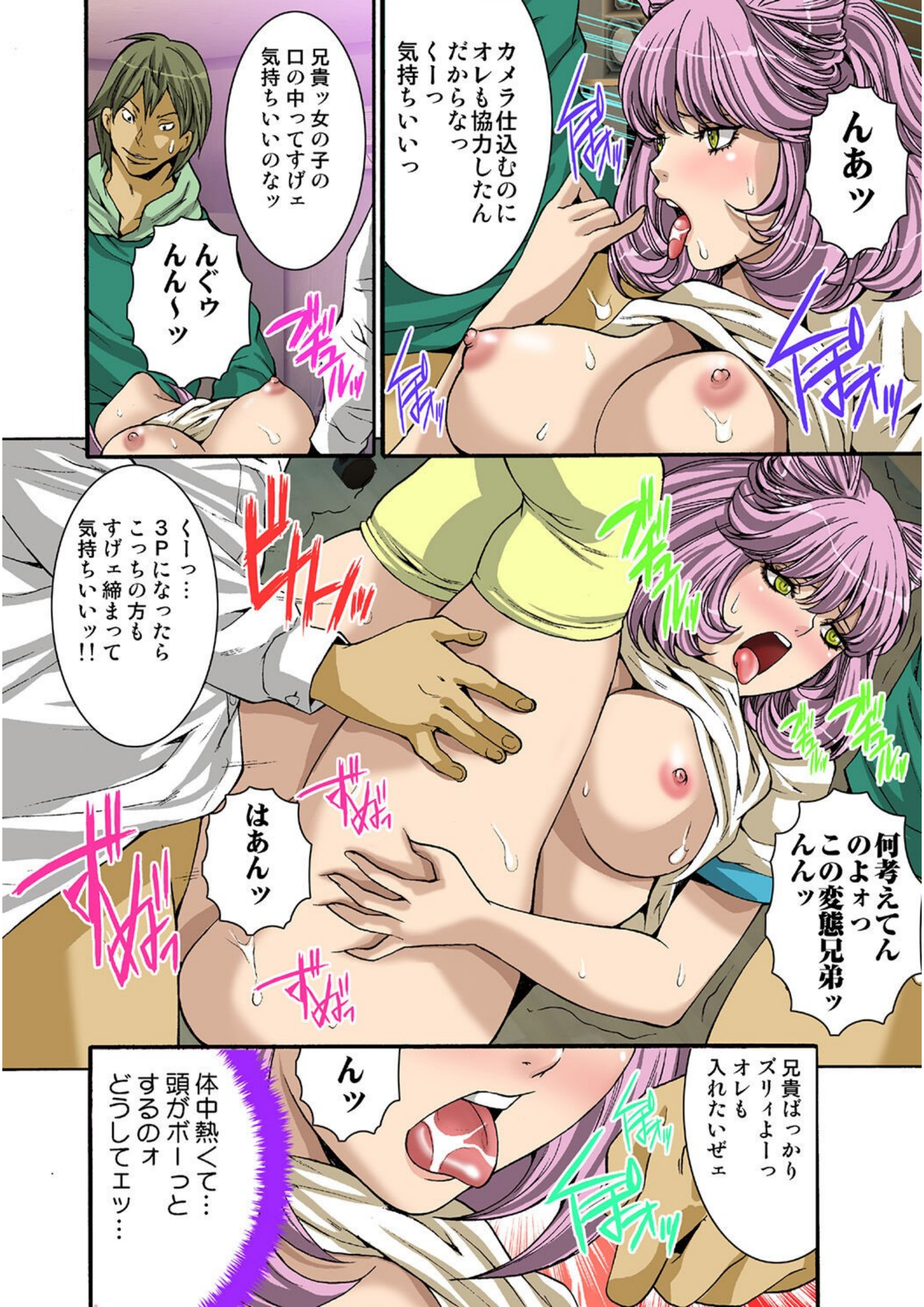
あッ
飽きたらビデオは返してやるよ！
こ…これでいいの!?
んッ…はあッ…
やだあ…っ
どうしてこんなに濡れちゃってるのォ…っ
はぁぁ…
くぱぁ…
んッ
足を開いてよく見えるように見せるんだ！
ビクッ
風音ちゃんも興奮してるって事だろォ～ッ!!
んッ…んくッ
はあんッ
そんなあッ
ビクッ
ブギュルッ
あッ…
そんな風にすすっちゃいやあッ

あッ
奥からネットリしてる汁がいっぱい溢れ出してくるッ
ここに欲しくてたまんないって事だろ？
そんな勝手な判断しないでッ
あッ

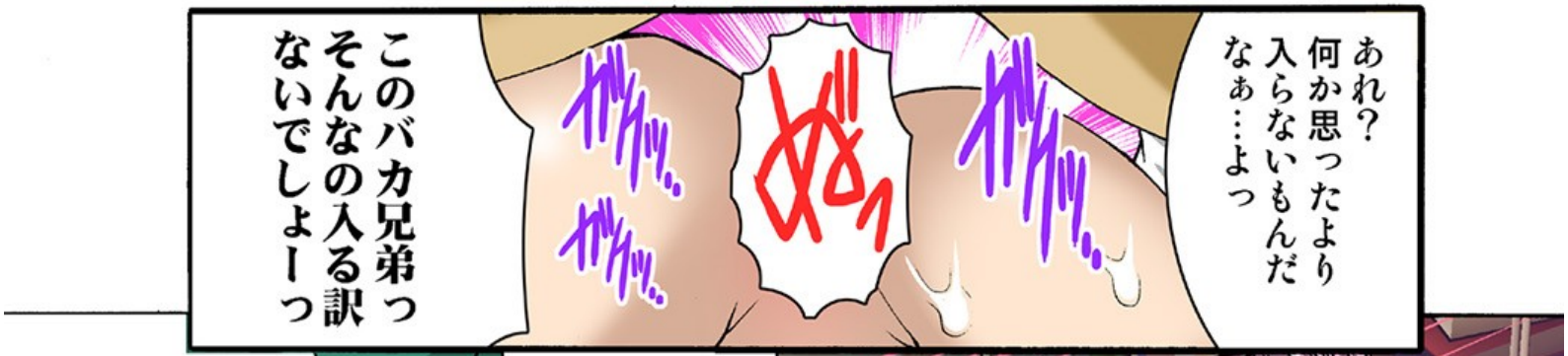
ボクまだ実際に女の子とHするのは初めてなんだよね
あッ
ちょっとォっ…Hした事ないのにそんな事言ってたワケェっ!?

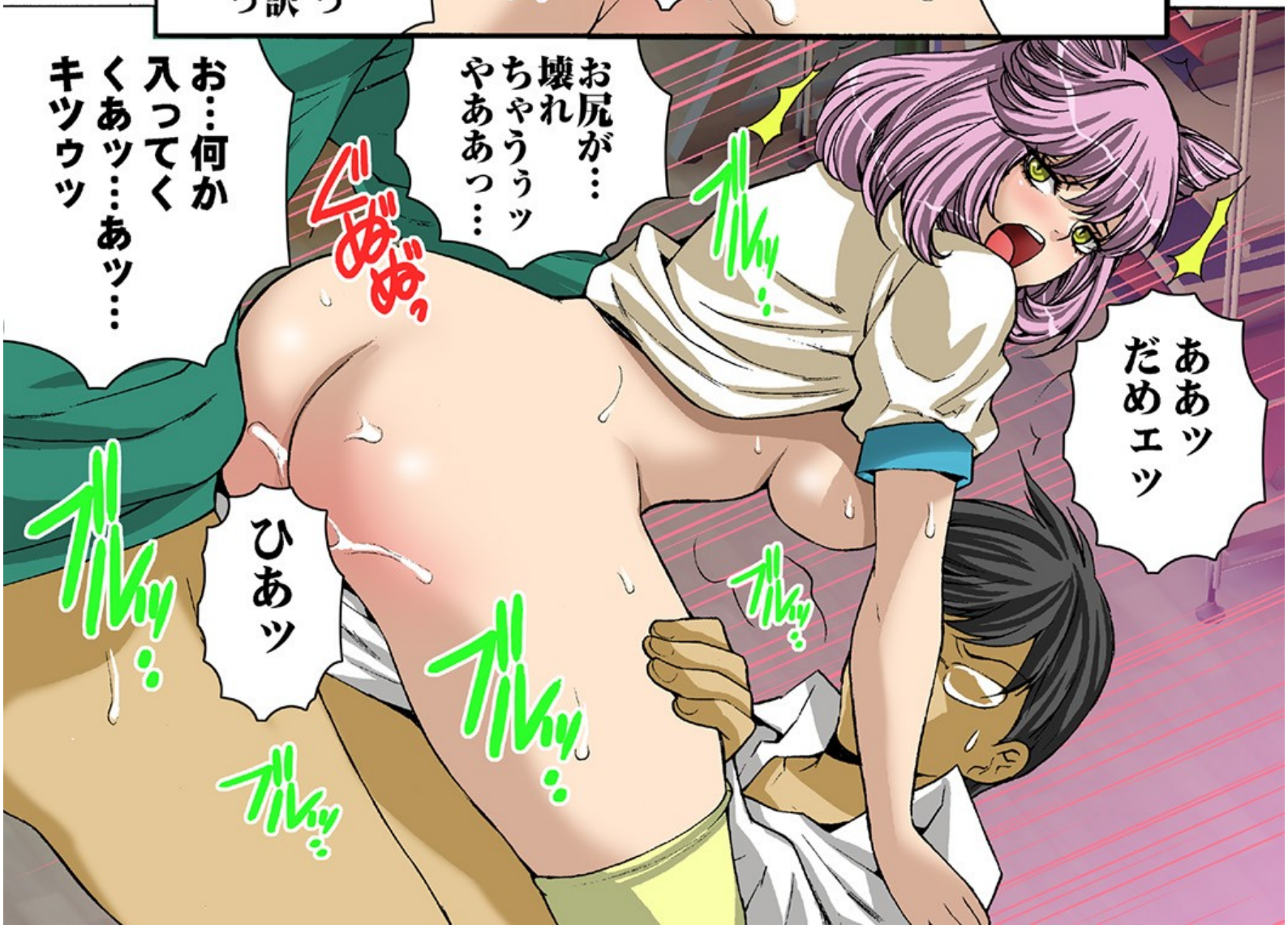
ひあッ
あッ
大丈夫！ビデオで全部わかってるから！
んっ…
こっちの方は隠されてわからなかったけどこれで大丈夫だろ
そんないい加減な知識でッ…ああんッちゃんと避妊してよォっ
ひあああッ

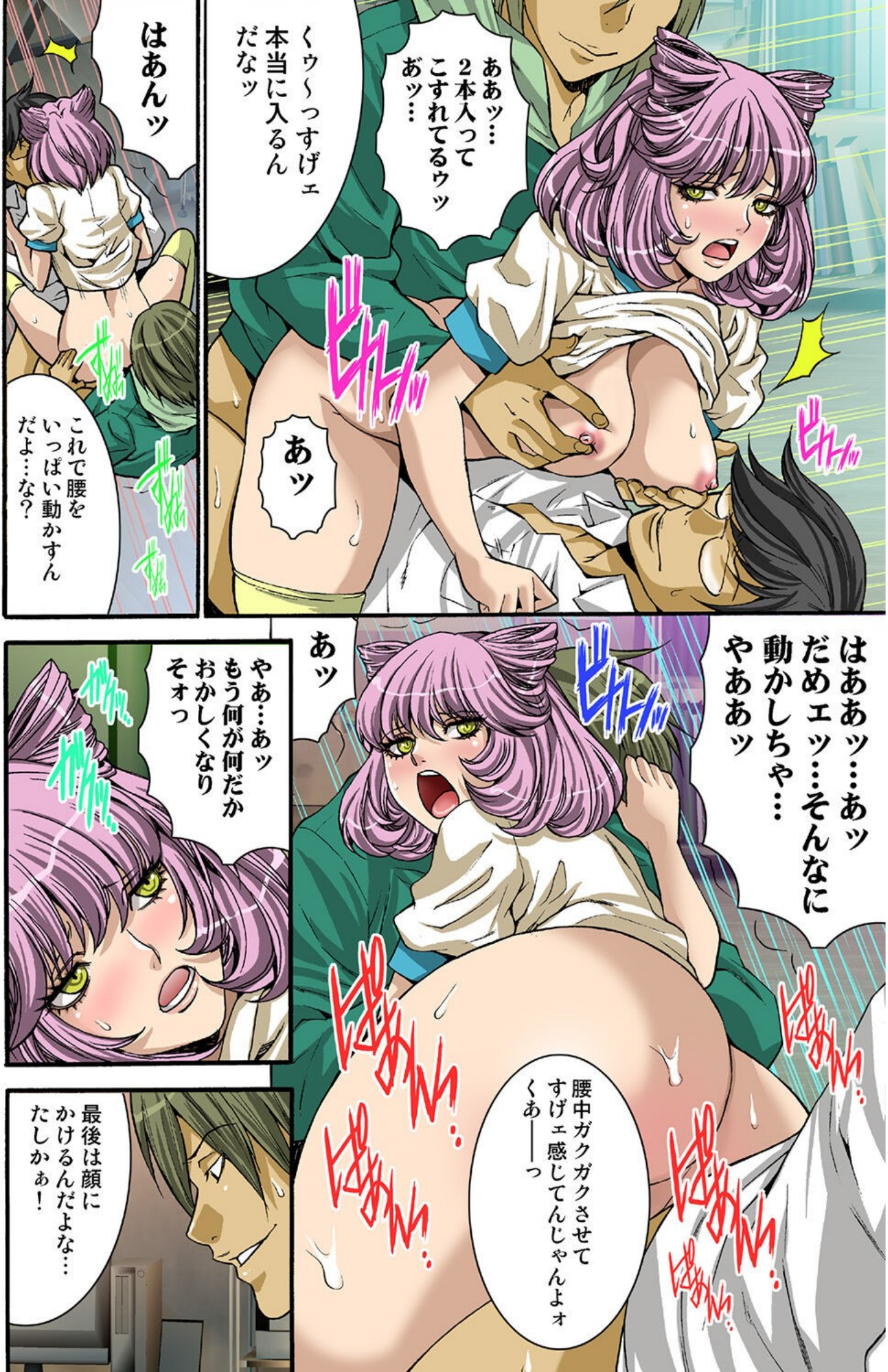
女の子の中って…こんなに温かいんだッ気持ちいいっ
あッ
はあッ入ってくるウッ
兄貴一人で何やってんだよ
ん？
こういう事はオレも混ぜてくんねーとォ母ちゃんにバラすぞ？
あッ
何なのォッ!?この兄弟!?
しゃーねェなァ…お前も入れよ！

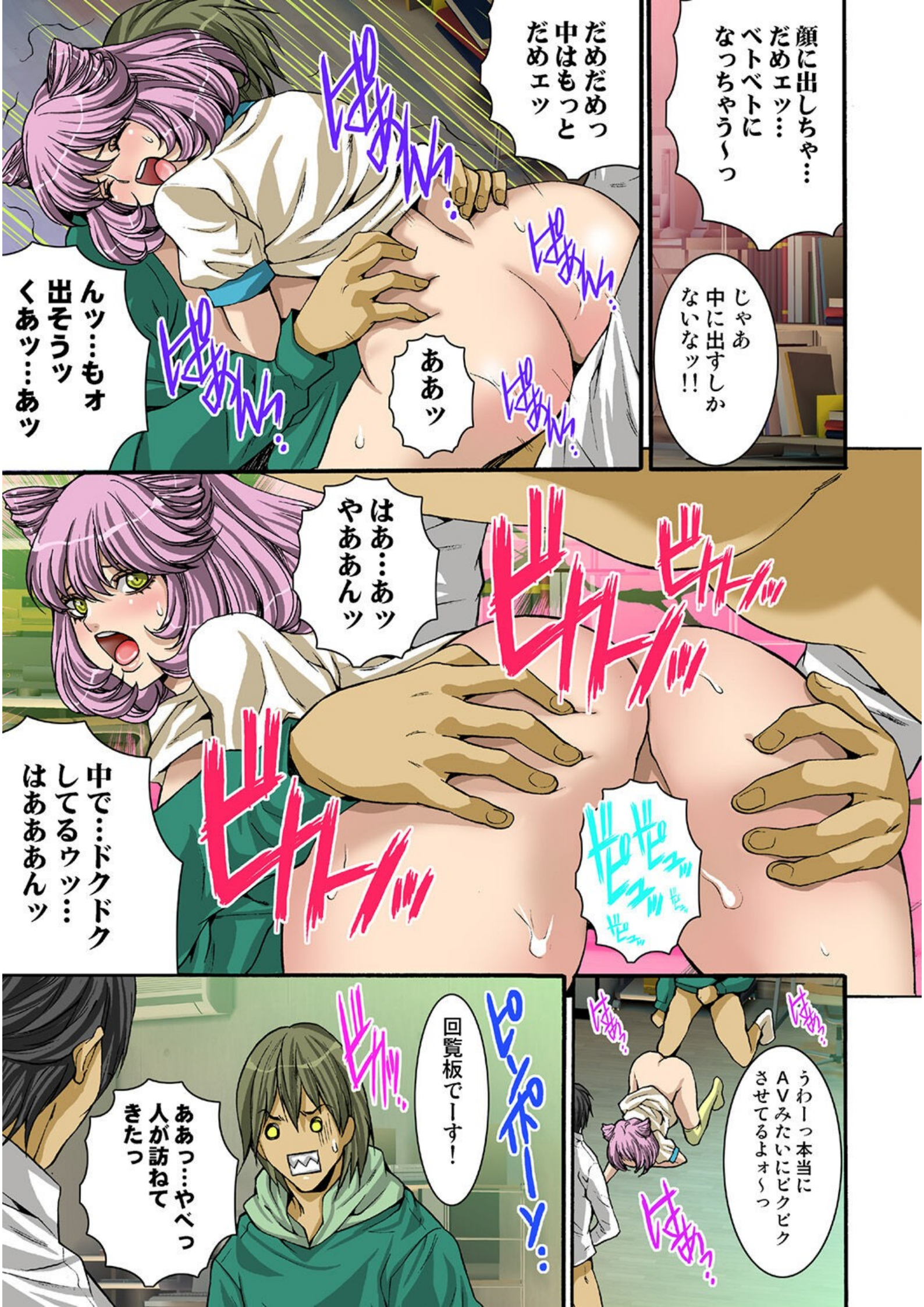

んあッ
カメラ仕込むのにオレも協力したんだからなっ
くーっ
気持ちいいっ
兄貴ッ女の子の口の中ってすげェ気持ちいいのなッ
んぐゥ
んん～ッ
何考えてんのよォっこの変態兄弟ッんんッ
はあんッ
くーっ…3Pになったらこっちの方もすげェ締まって気持ちいいッ!!
兄貴ばっかりズリィよーっオレも入れたいぜェ
んッ
体中熱くて…頭がボーっとするのォどうしてエッ…

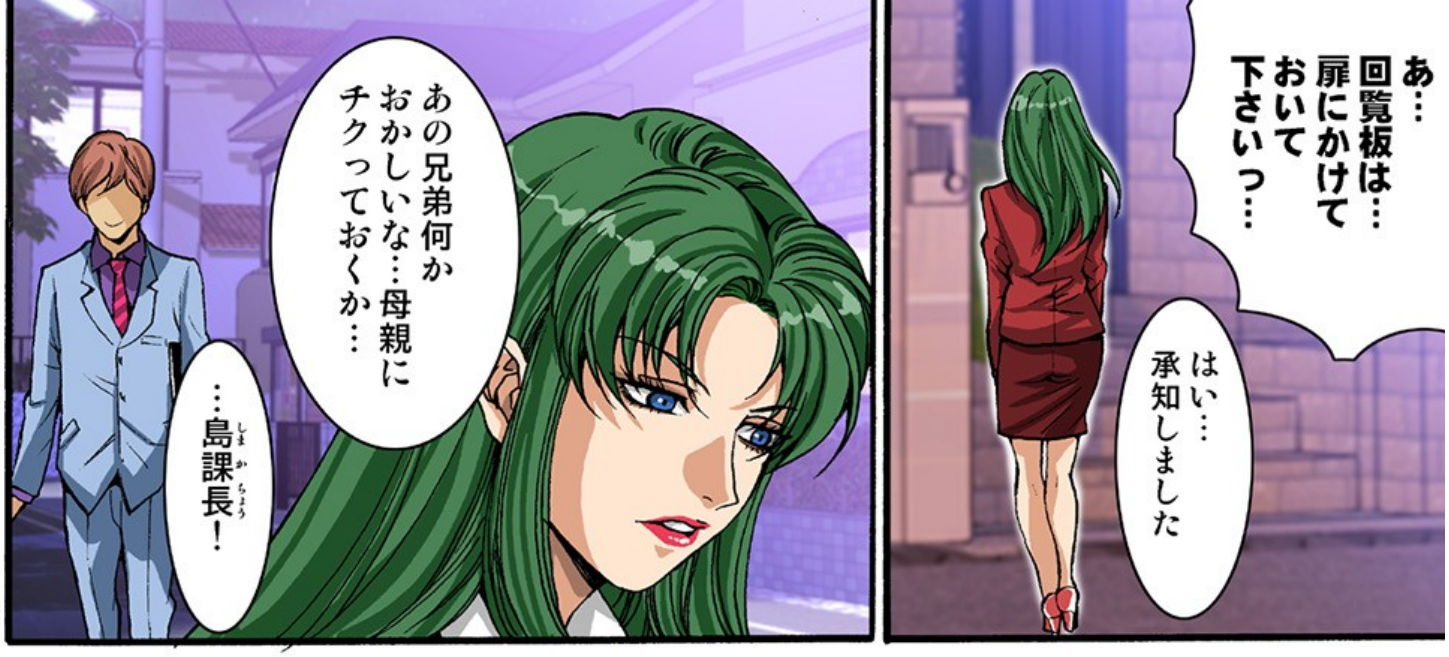
兄貴ッ…オレと交替してくんね？な？な？
ああんッ2人で勝手に決めないでよォっ
お…お尻にも入るんだよな？
お…その手があったか！


あれ？何か思ったより入らないもんだなぁ…よっ
このバカ兄弟っそんなの入る訳ないでしょーっ


ああッだめエッ
お尻が…壊れちゃうぅッやああっ…
お…何か入ってくくあッ…あッ…キツウッ
ひあッ

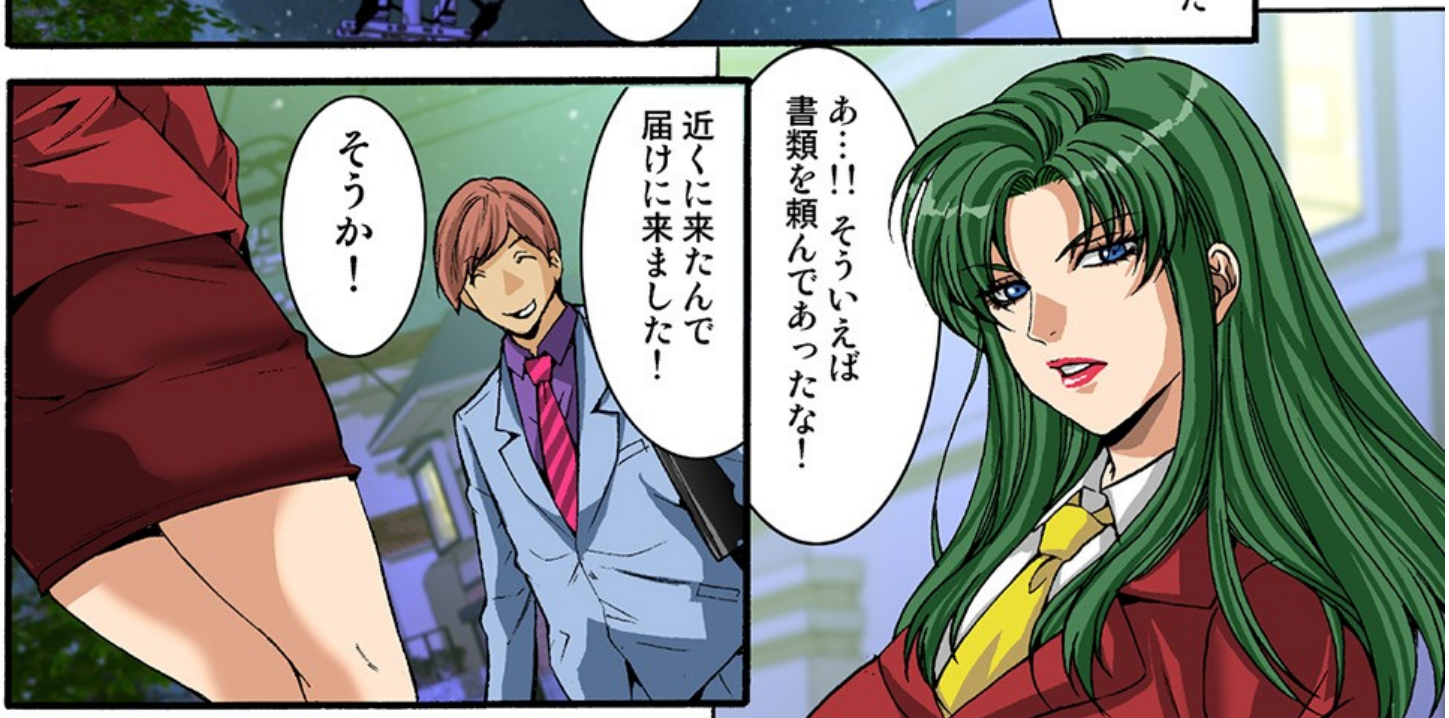

ああッ…
2本入って
こすれてるゥッ
あッ…
くゥ～っすげェ
本当に入るん
だなッ
はあんッ
これで腰を
いっぱい動かすん
だよ…な？
あッ
はあッ…あッ
だめエッ…そんなに
動かしちゃ…
やああッ
あッ
やあ…あッ
もう何が何だか
おかしくなり
そォっ
腰中ガクガクさせて
すげェ感じてんじゃんよォ
くあ――っ
最後は顔に
かけるんだよな…
たしかぁ！


顔に出しちゃ…
だめエッ…
ベトベトに
なっちゃう～っ
じゃあ
中に出すしか
ないなッ!!
だめだめっ
中はもっと
だめエッ
ああッ
んッ…もォ
出そうッ
くあッ…あッ
はあ…あッ
やああんッ
中で…ドクドク
してるゥッ…
はあああんッ
うわーっ本当に
AVみたいにビクビク
させてるよォ～っ
ピンポーン…
回覧板でーす!
ああっ…やべっ
人が訪ねて
きたっ


あ…
回覧板は…
扉にかけて
おいて
下さいっ…
はい…
承知しました

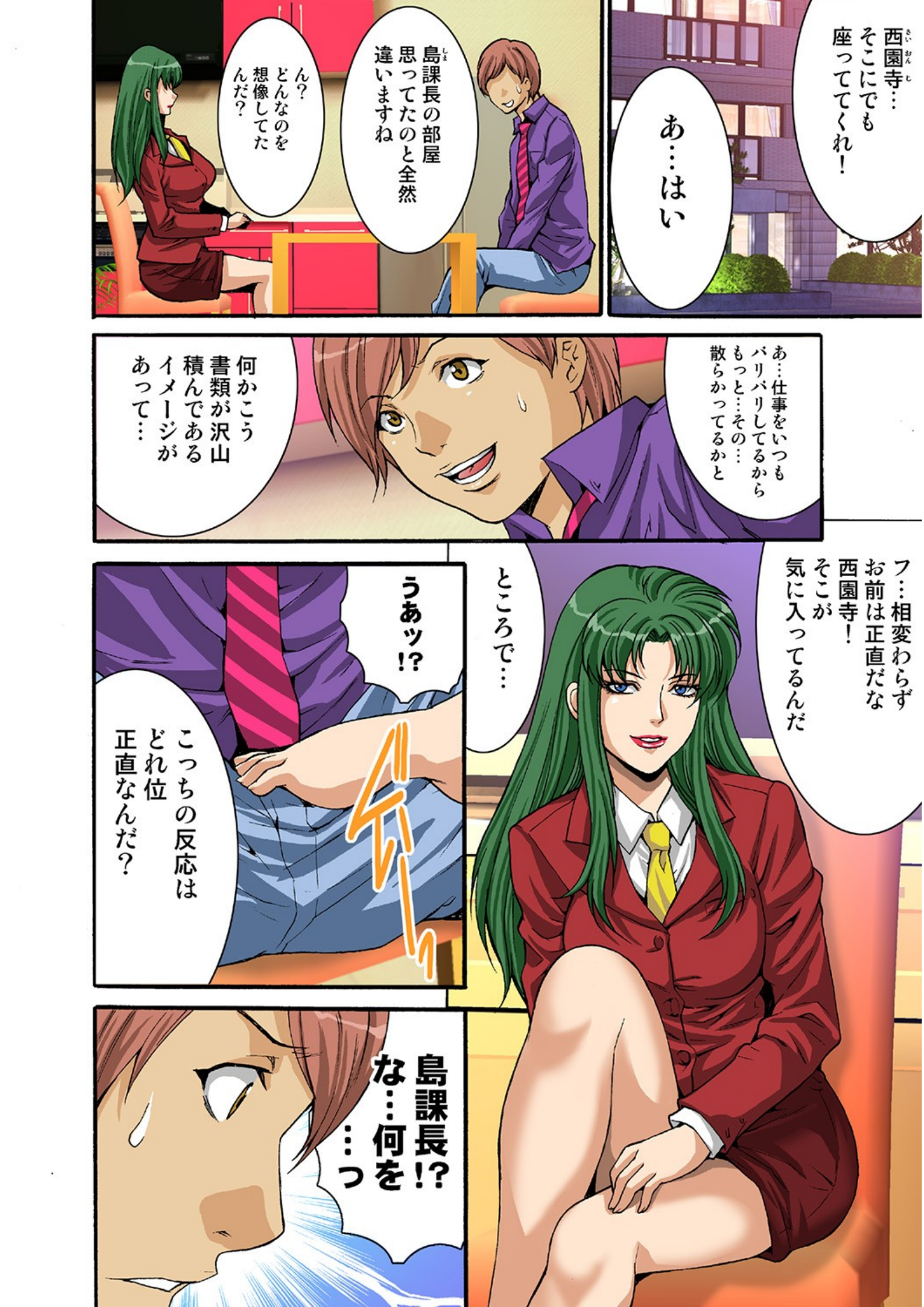
あの兄弟何か
おかしいな…母親に
チクっておくか…
…島課長！

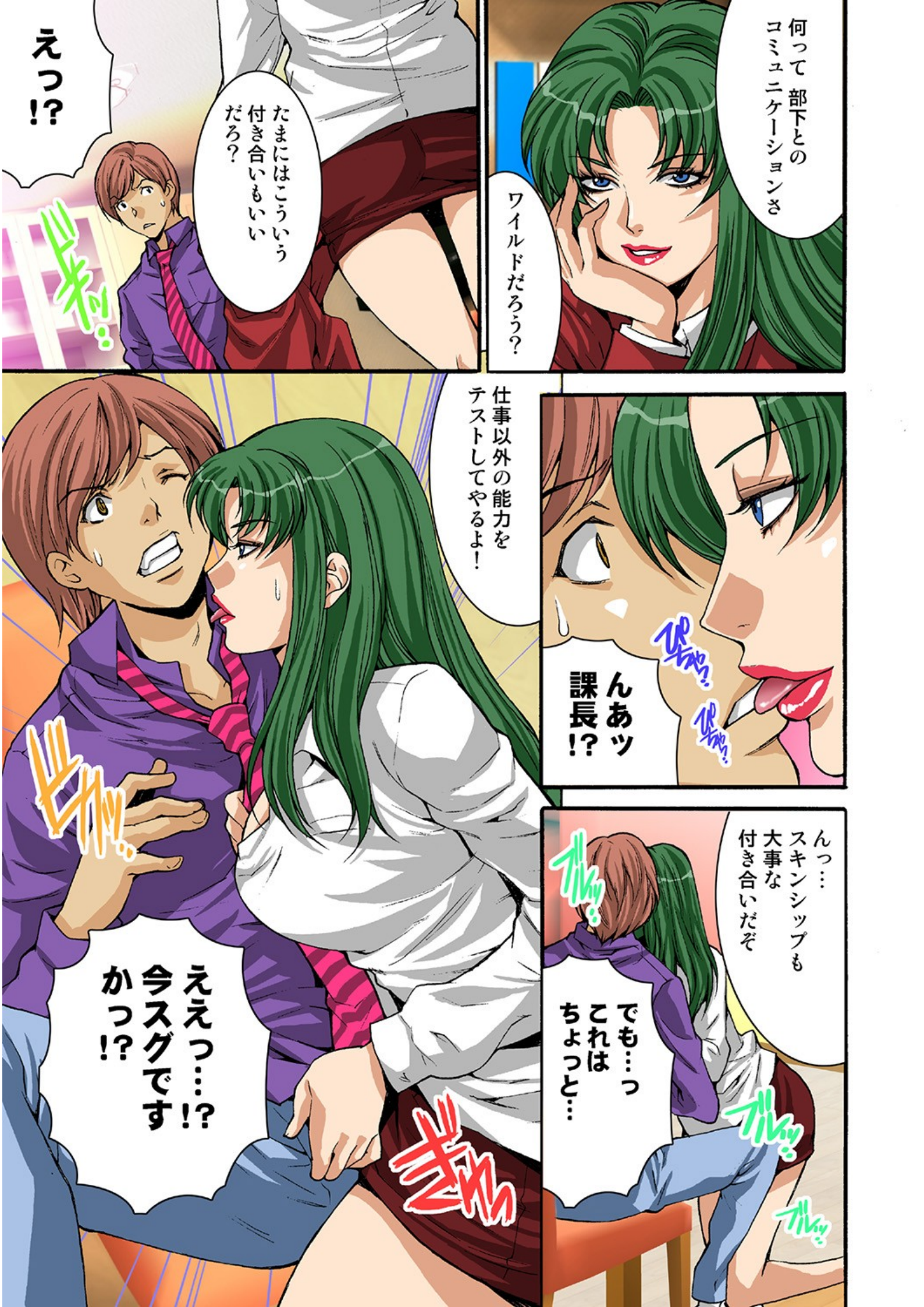
ん…どうした
西園寺？
何の用だ…
えーっ!?
忘れたン
スかっ

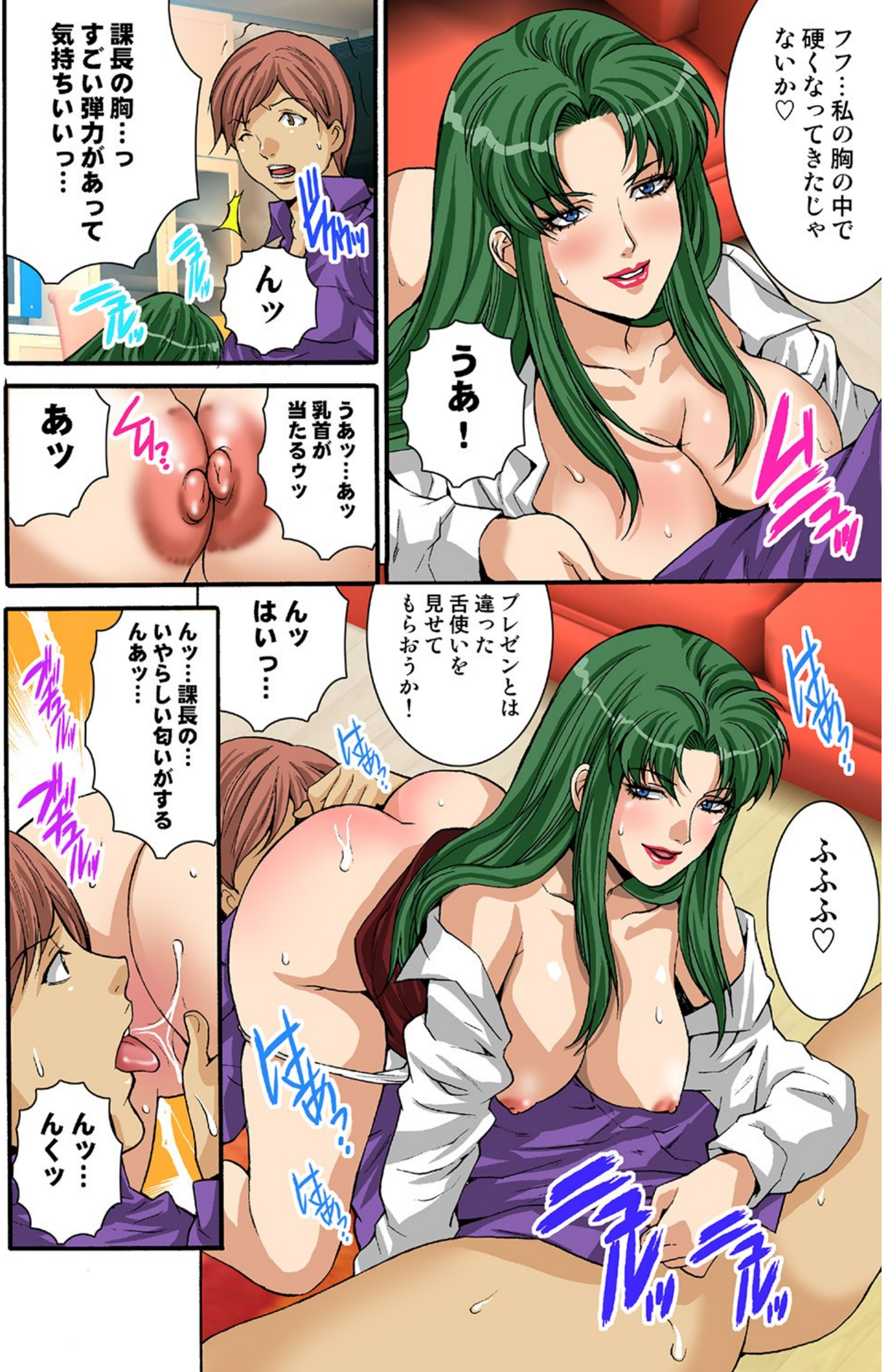

あ…!! そういえば
書類を頼んであったな！
近くに来たんで
届けに来ました！
そうか！

せっかくだから私の
家にでも寄っていけ！
な？

イケない
初体験
第52話
尾山泰永
おやまやすなが


西園寺…
そこにでも
座っててくれ！
あ…はい
島課長の部屋
思ってたのと全然
違いますね
ん？
どんなのを
想像してた
んだ？
あ…仕事をいつも
バリバリしてるから
もっと…その…
散らかってるかと
何かこう
書類が沢山
積んであるイメージが
あって…
フ…相変わらず
お前は正直だな
西園寺！
そこが
気に入ってるんだ
ところで…
うあッ!?
こっちの反応は
どれ位
正直なんだ？
島課長!?
な…何を
…っ

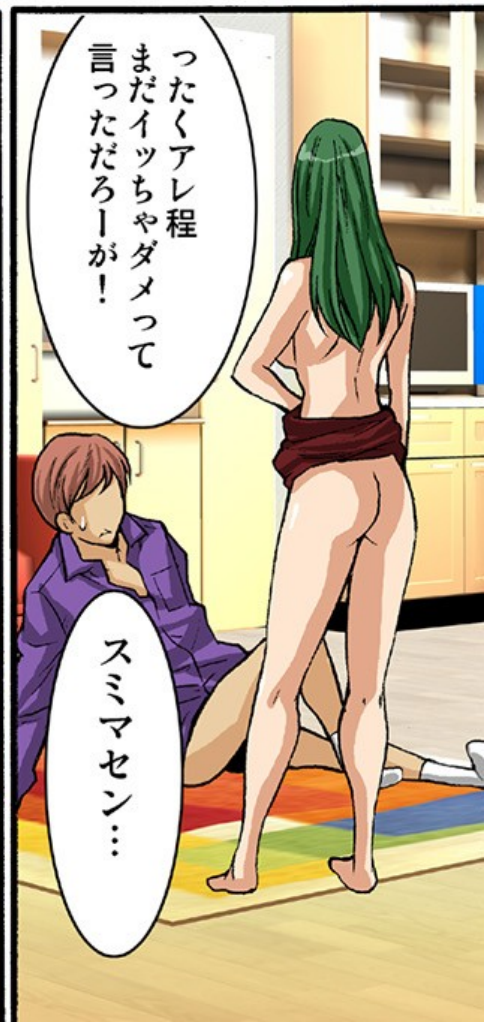

何って 部下との
コミュニケーションさ
ワイルドだろう?
たまにはこういう
付き合いもいい
だろ?
えっ!?
んあッ
課長!?
仕事以外の能力を
テストしてやるよ!
んっ…
スキンシップも
大事な
付き合いだぞ
でも…っ
これは
ちょっと…
ええっ…!?
今スグです
かっ!?


フフ…私の胸の中で硬くなってきたじゃないか♡
うあ！
ふふふ♡
はめっ
プレゼンとは違った舌使いを見せてもらおうか！
んッ はいっ…
んッ…課長の…いやらしい匂いがするんあッ…
んッ…んくッ
課長の胸…っすごい弾力があって気持ちいいっ…
んッ
うあッ…あッ乳首が当たるウッ
あッ

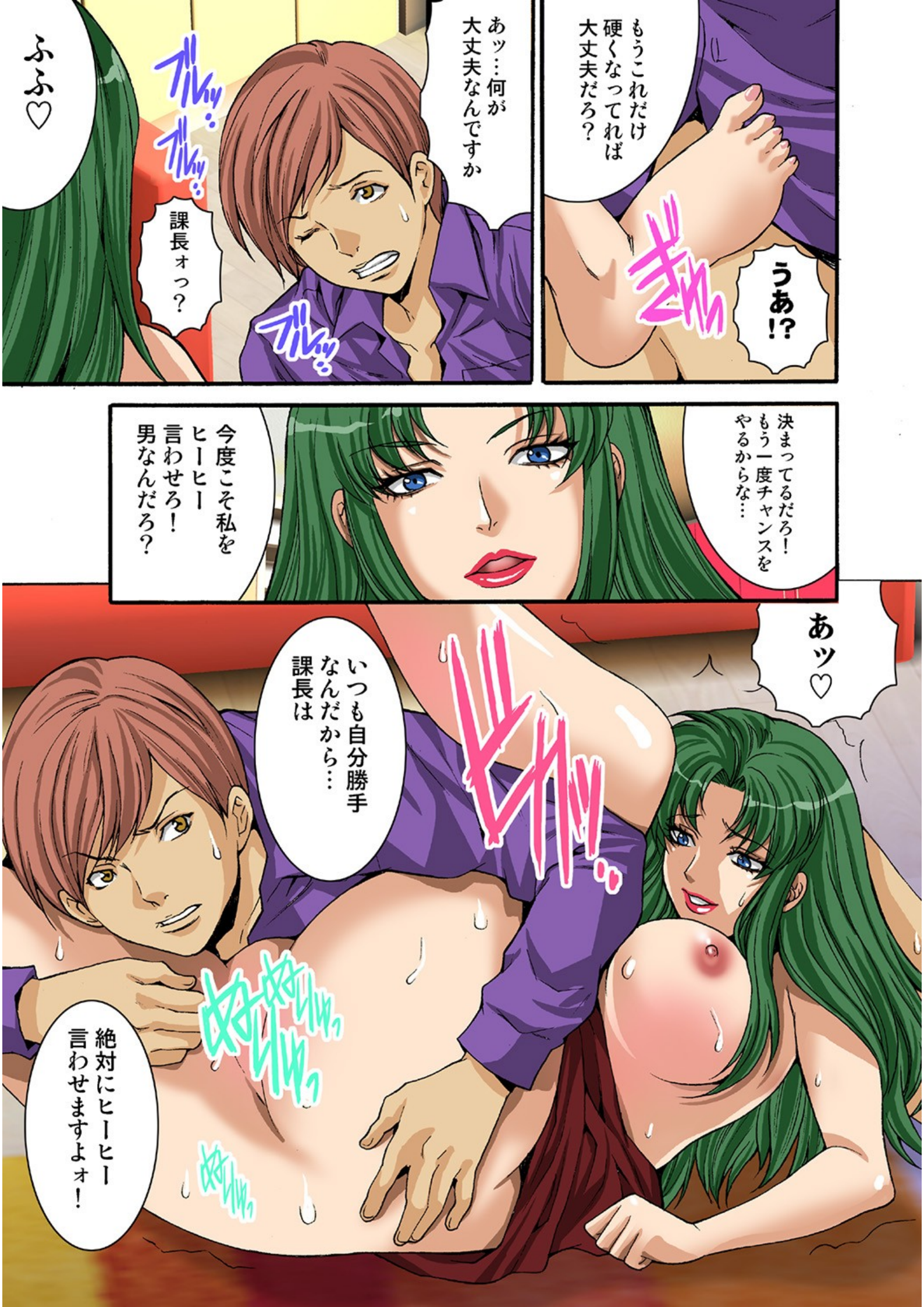
んッ…
ねっとりして
舌に絡み
つくゥッ
ブギュルッ
ブギュルッ
西園寺のも
すごくイキが
いいぞッ
んッ
ブギュルッ
ブギュルッ
うあッあッ…
課長のしゃぶり方
気持ち良すぎィッ
ビトッ
ブギュルッ
ブギュルッ
ニチュッ
ニチュッ
ニチュッ
もっと
激しく舌で
舐めまわせっ
んんッ
んッ
課長ッ…オレ
もォ…無理ィッ
ビトッ
ビトッ
ビトッ
ビトッ
だめだッ
イッたら…許さない
からなッ…

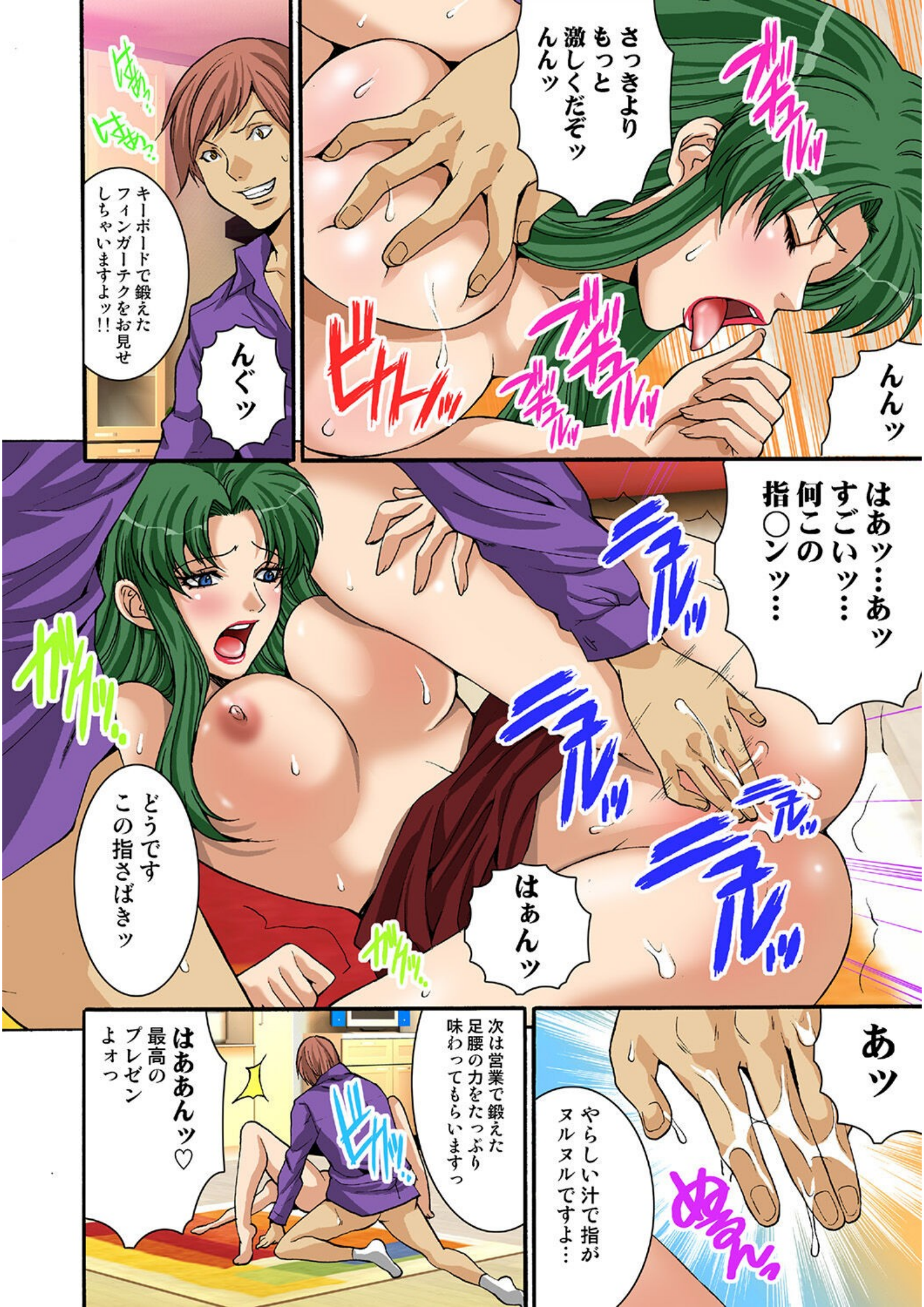
はあんッ
熱い精○がッ
イッパイ
出てるウッ
はぁあんッ
うあ…あッ
出るウ…ウッ
ビトッ
ビトッ
ビトッ
ピュッ ピュッ

はあっ…

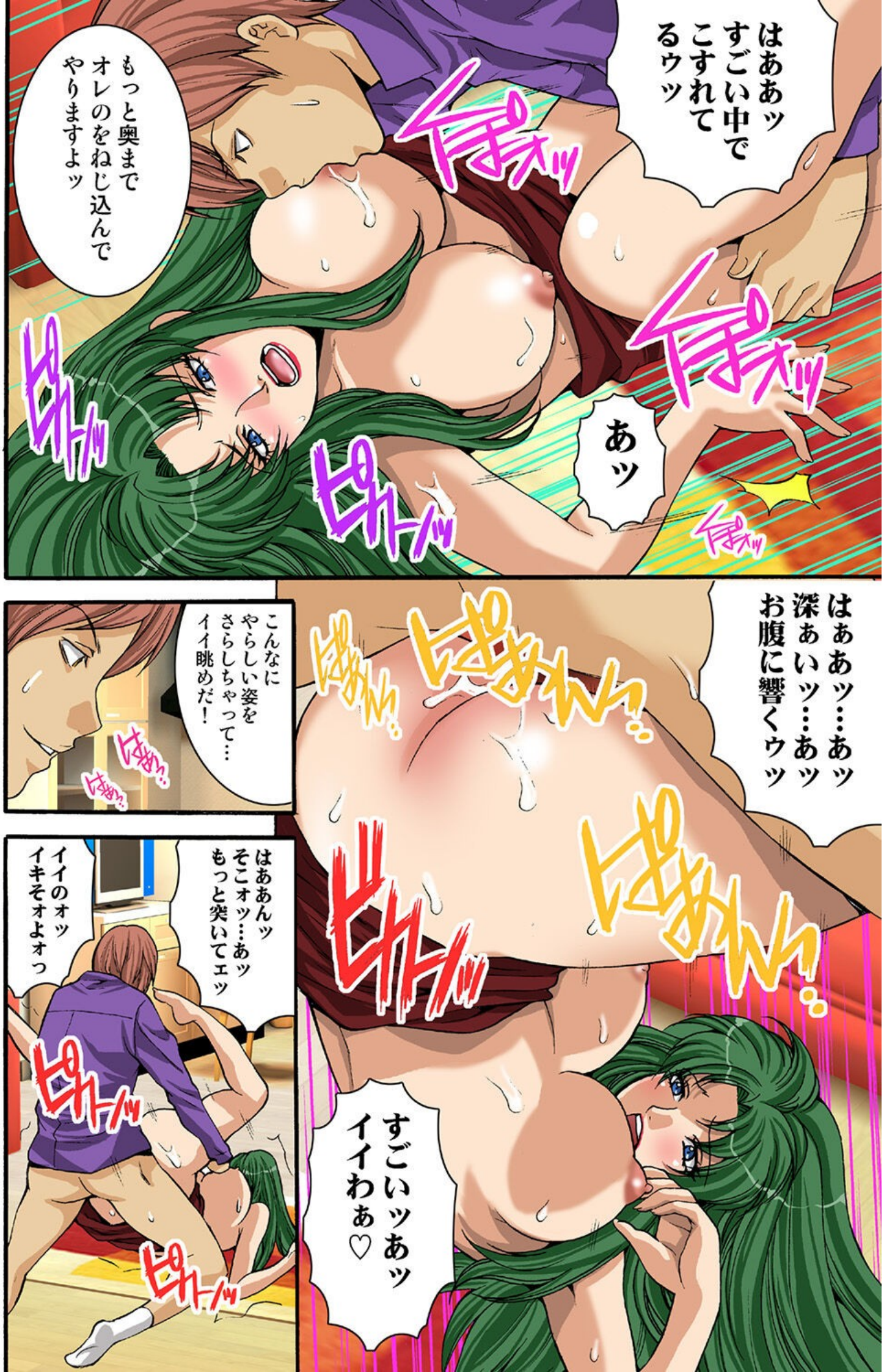

ったくアレ程
まだイッちゃダメって
言っただろーが！
スミマセン…

こんなザマじゃあ
お前に大きな
仕事を任せる事が
できそうにないなっ
そんなァ…っ
コレは仕事と
全然関係無い
でしょオっ


うあ!?
ぎゅっ
もうこれだけ硬くなってれば大丈夫だろ？
あッ…何が大丈夫なんですか
ブルッ
ブルッ
ブルッ
課長ォっ？
ふふ♡
決まってるだろ！もう一度チャンスをやるからな…
今度こそ私をヒーヒー言わせろ！男なんだろ？
あッ♡
ヒクッ
いつも自分勝手なんだから…課長は
ぬちゃぬちゃっ
ぬちゃっ
絶対にヒーヒー言わせますよォ！


んんッ
さっきより
もっと
激しくだぞッ
んんッ
ブギュルッ
ブギュルッ
ビトッ
はぁ…はぁ…
キーボードで鍛えた
フィンガーテクをお見せ
しちゃいますよッ!!
んぐッ
はあッ…あッ
すごいッ…
何この
指○ンッ…
ニチュッ
ニチュッ
ニチュッ
ニチュッ
ガクッ
ガクッ
どうです
この指さばきッ
はぁんッ
あッ
ぬるん
やらしい汁で指が
ヌルヌルですよ…
次は営業で鍛えた
足腰の力をたっぷり
味わってもらいますっ
ビクッ
はぁあんッ♡
最高の
プレゼン
よぉっ

いつもいばってる
クセに可愛い声を
出すじゃ
ありませんか！
はめっ
はめっ
ああ…さっきより
大きくなってない!?
あッ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
よっ…と
はあッ…
あッ
入ってくるゥッ
ぬるっ
課長のココが
やらしく締めつけて
くるからですよ
課長にガツンと一発
かましてあげますよッ
そォらッ…!!
ずぶっ
ずぶっ
ヒクトン
ヒクトン
ヒクトン
はあんッ
奥に
響くウッ♡


はああッ
すごい中で
こすれて
るウッ
もっと奥まで
オレのをねじ込んで
やりますよッ
あッ
はぁあッ…あッ
深ぁいッ…あッ
お腹に響くウッ
こんなに
やらしい姿を
さらしちゃって…
イイ眺めだ！
はあんッ
そこォッ…あッ
もっと突いてエッ
イイのォッ
イキそォよォっ
すごいッあッ
イイわぁ♡

中にいっぱい
出して
あげますよッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュルルル
ビュルルル
ひィイイッ
イクゥ〜ッ♡
中からオレのが
いっぱい溢れて
きてるじゃない
ですか
ブルッ
ブルッ
明日からはもっと
オレの言う事を
きいてもらいますよ
わ…わかったわ…
だからこれからは
毎日プレゼンしてよォ
はめっ
はめっ
はめっ
ね♡

もちろんですよ！
今度はオフィスで
あえいでもらいます！
はぁん♡
嬉しいっ

さあ
本日のメインイベント
キューティー真梨亜と
麗ミスティークの因縁の
ディーバタイトルマッチ
です!!
ワーッ

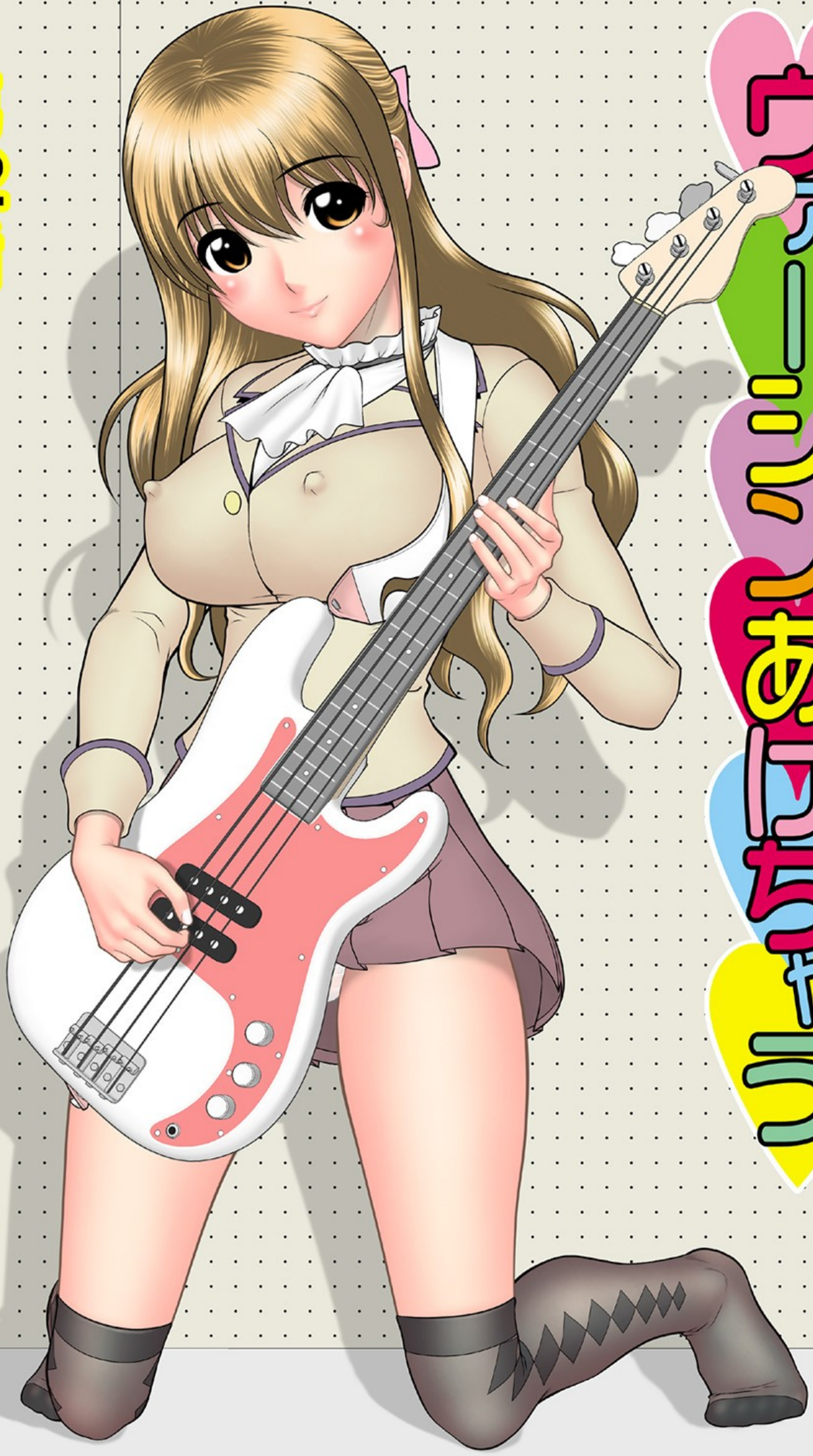
今日も
コテンパンに
してやるから！
覚悟しな！
麗ミスティーク!!

まだ
フランケンシュタイナー
喰らい足りないみたい
だねェ真梨亜！

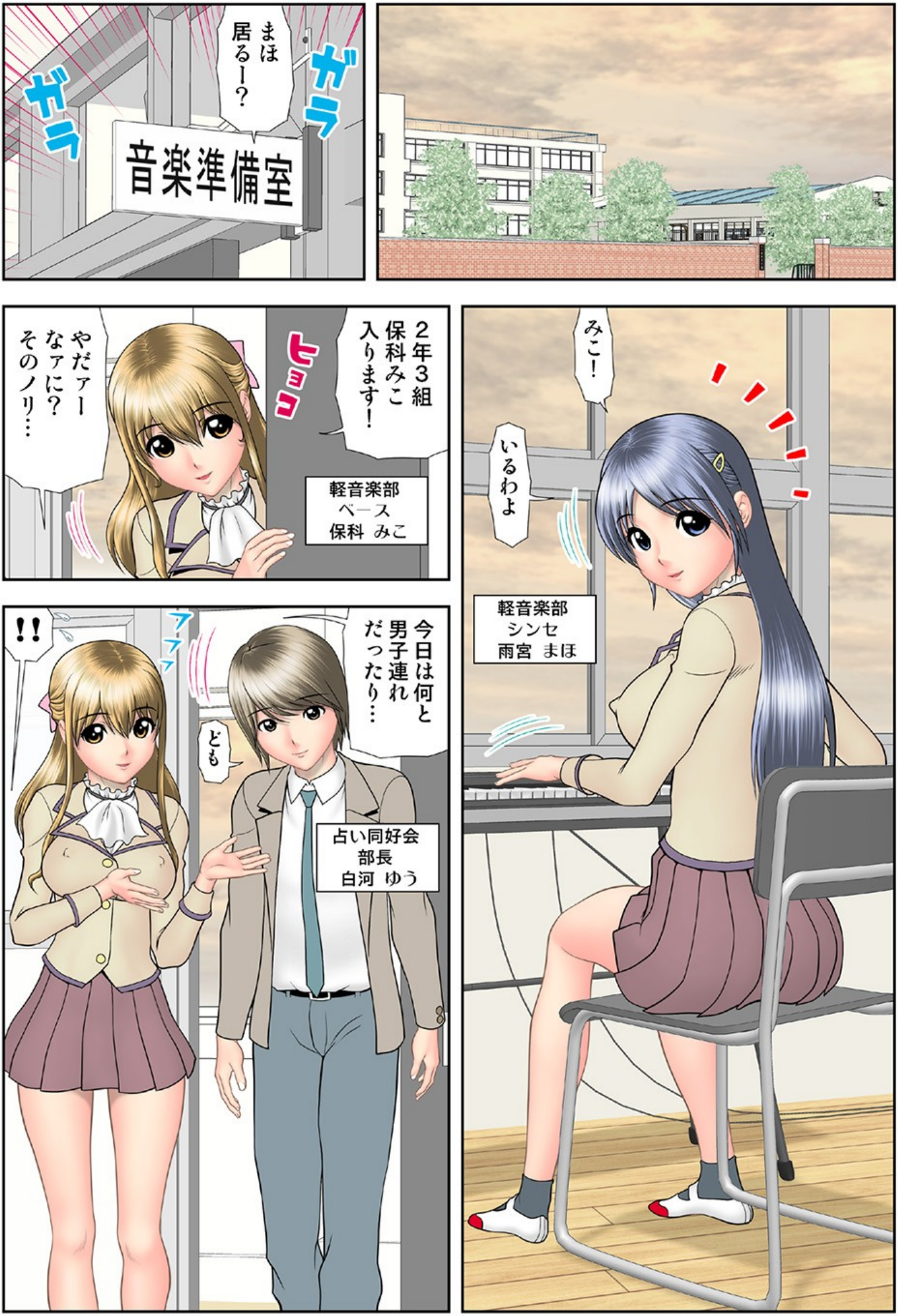
つべこべ言わず
(JUST BRING IT!!)
かかってきな！

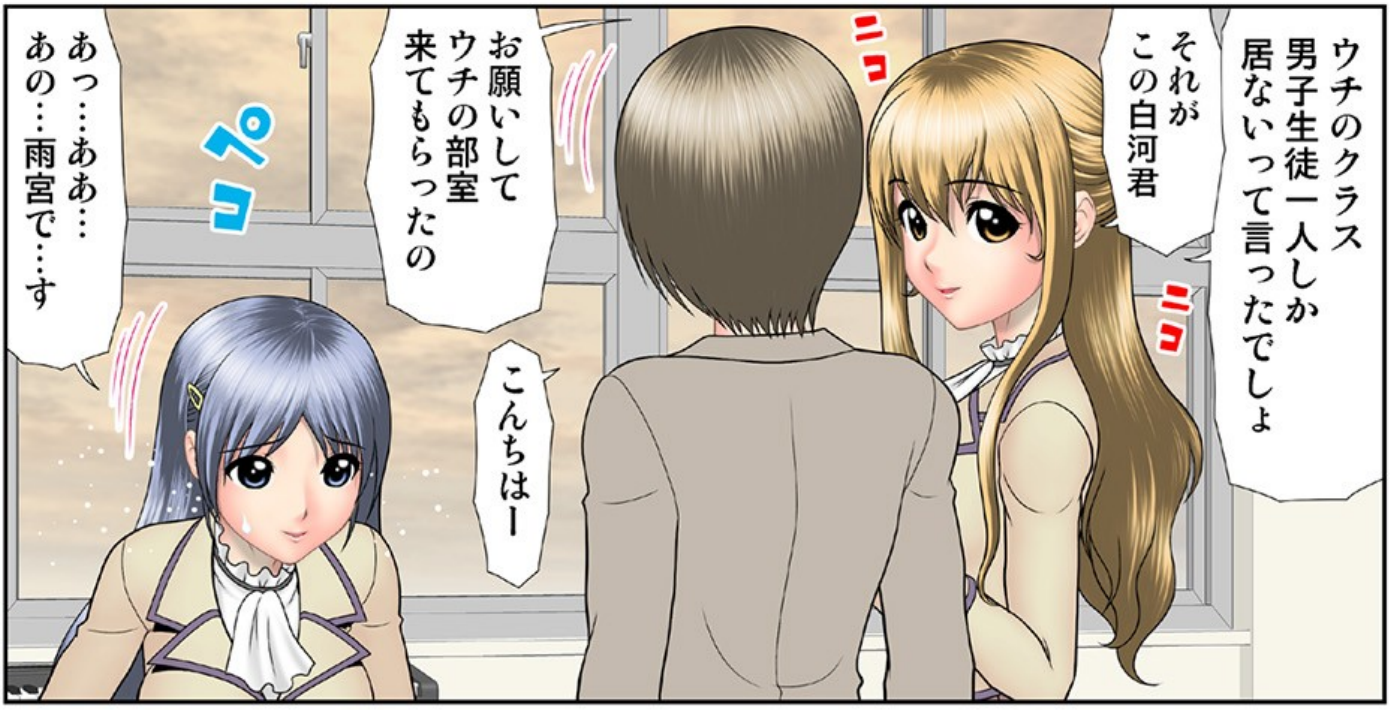
ヴァージンあげちゃう

第42話



新本重治

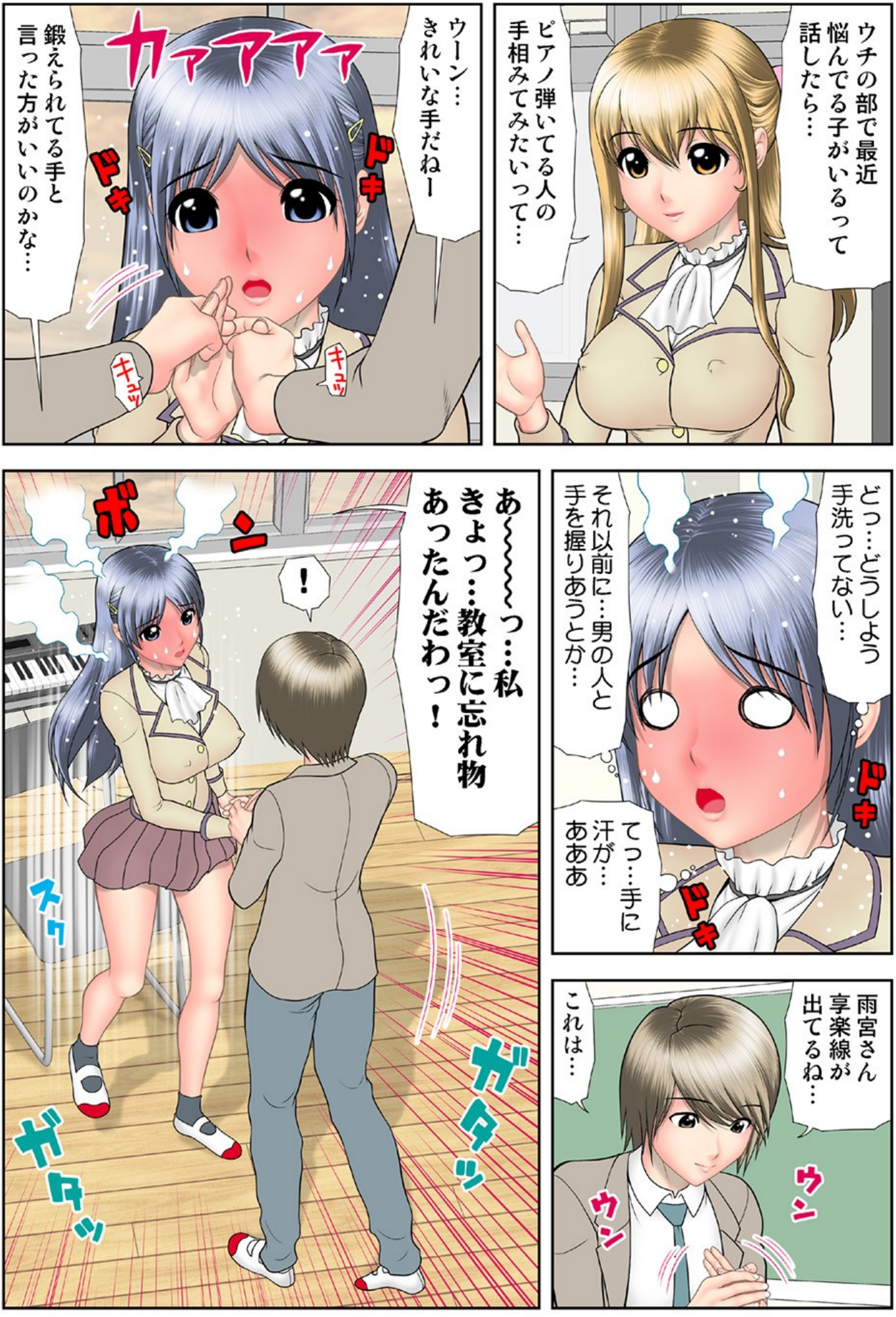

ガラ
ガラ
まほ
居るー？
音楽準備室
みこ！
いるわよ
軽音楽部
シンセ
雨宮 まほ
2年3組
保科みこ
入ります！
ヒョコ
軽音楽部
ベース
保科 みこ
やだァー
なァに？
そのノリ…
!!
今日は何と
男子連れ
だったり…
ども
占い同好会
部長
白河 ゆう

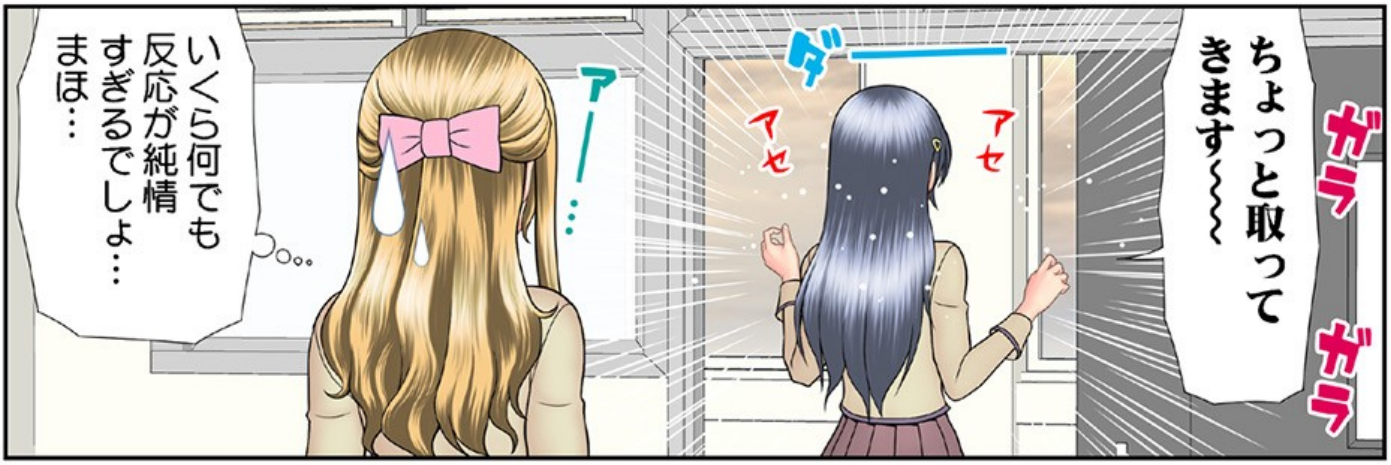

ウチのクラス
男子生徒一人しか
居ないって言ったでしょ
それが
この白河君
ニコ
ニコ
お願いして
ウチの部室
来てもらったの
こんちはー
ペコ
あっ…ああ…
あの…雨宮で…す

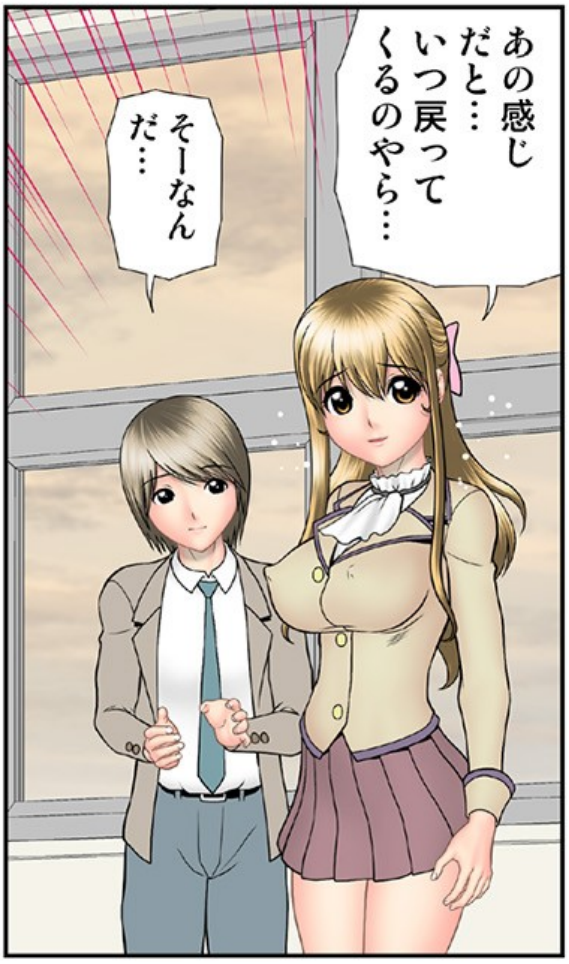
えっ…えーっと
私まだよく状況が…
みっ みこ…お願い…
説明を…
ドキ
ドキ

ギュウゥ

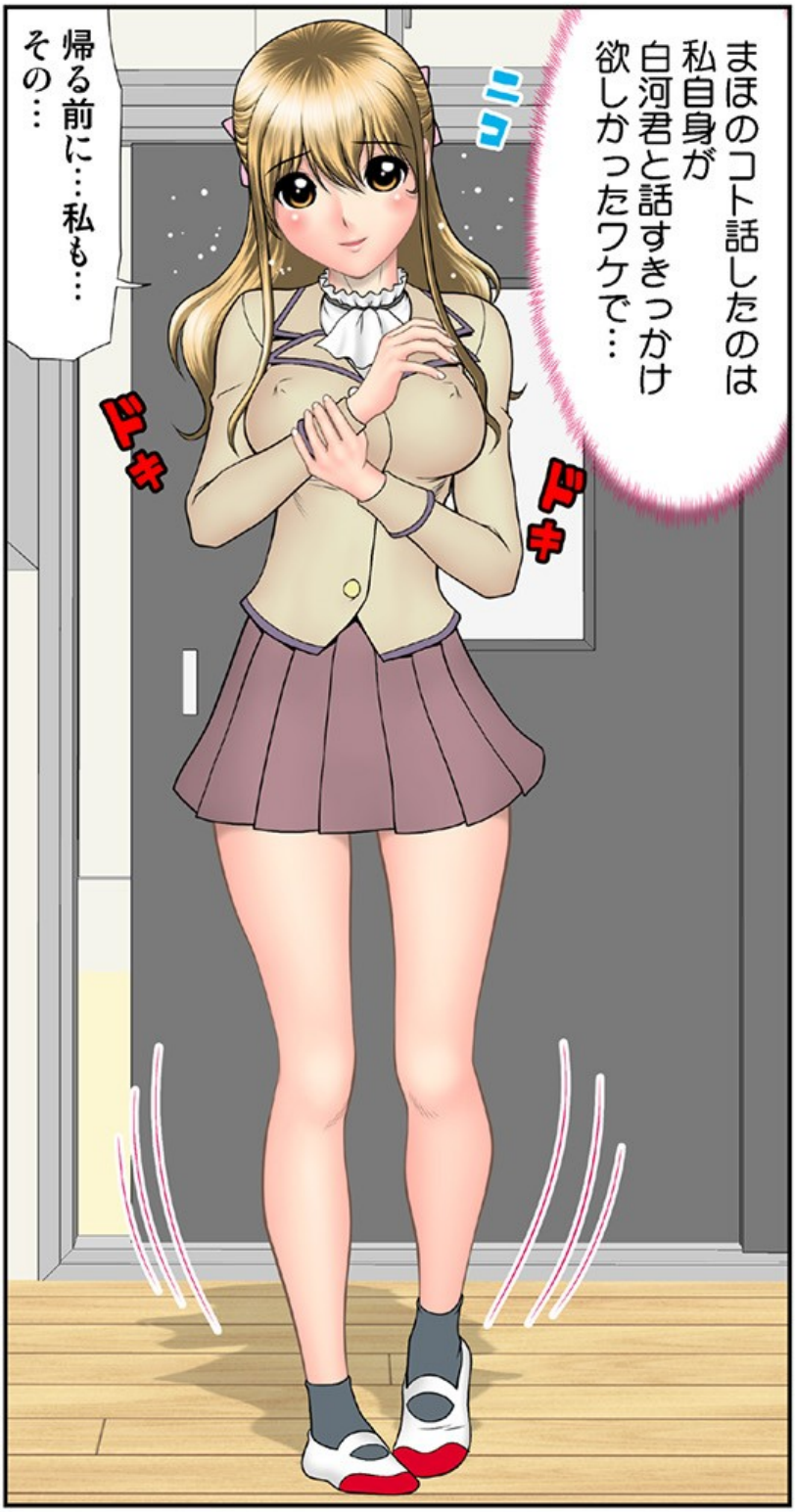
!?
なっ…何を…
プシュー
パク
パク
ちょっと…
ドキ
ドキ
フム
フム
これが…
ずーっと
ピアノ弾いてる
手かァー…
いきなり
何なの~!?
ガク
ガク

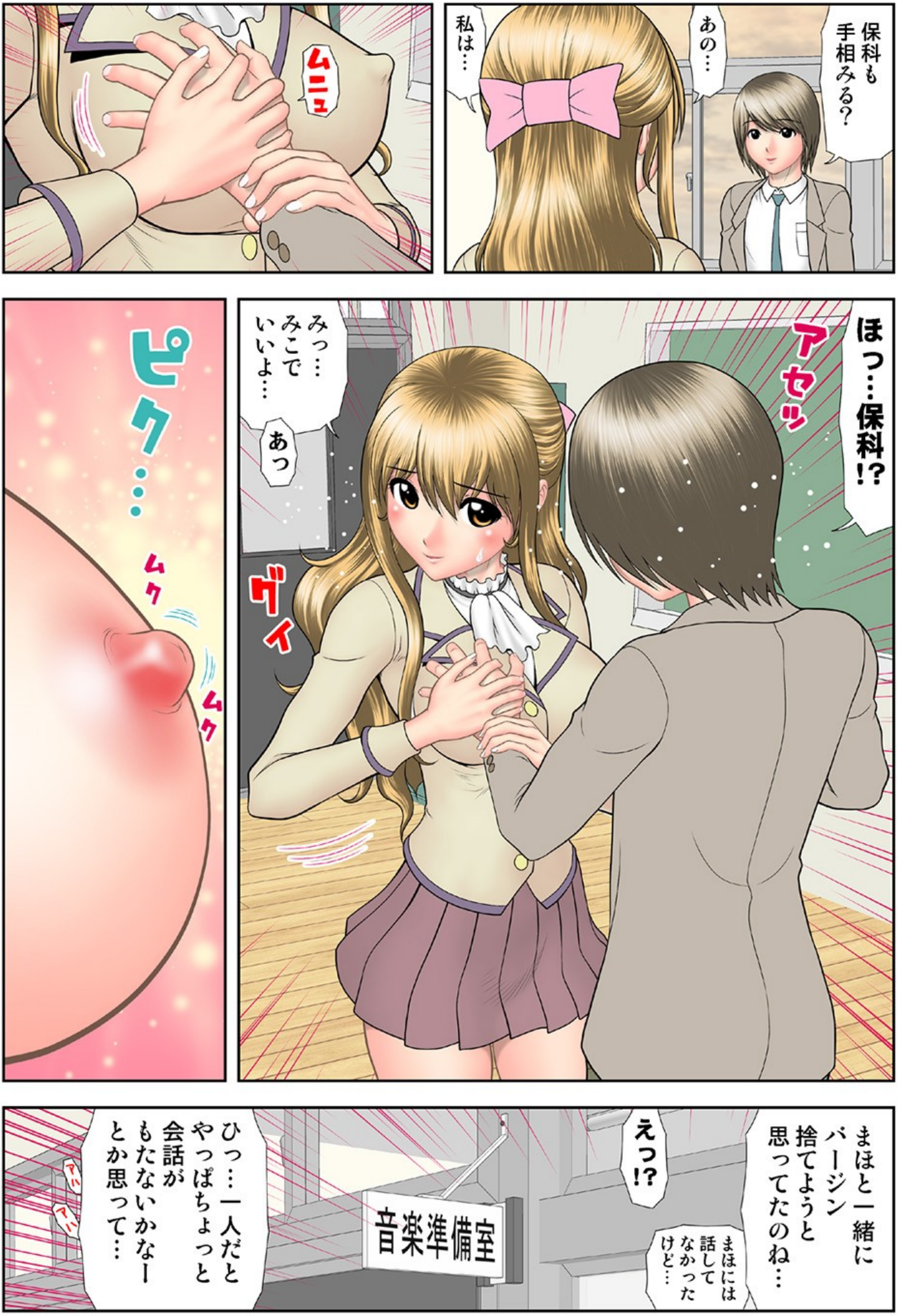

ウチの部で最近悩んでる子がいるって話したら…
ピアノ弾いてる人の手相みてみたいって…
カァアアア
ドキ
ドキ
キュッ
キュッ
ウーン…きれいな手だねー
鍛えられてる手と言った方がいいのかな…
どっ…どうしよう手洗ってない…
ドキ
ドキ
それ以前に…男の人と手を握りあうとか…
てっ…手に汗が…あああ
雨宮さん享楽線が出てるね…
これは…
ウン
ウン
ボーン
！
あ～～～っ…私きょっ…教室に忘れ物あったんだわっ！
スク
ガタッ
ガタッ


ガラ
ガラ
ちょっと取ってきます～～～
ダ
アセ
アセ
ア…
いくら何でも反応が純情すぎるでしょ…まほ…


あの感じだと…いつ戻ってくるのやら…
そーなんだ…

じゃあオレ自分の部室にいるから…
好きな時に占いにきてよ
ニヤ


まほのコト話したのは私自身が白河君と話すきっかけ欲しかったワケで…
ニコ
ドキ
ドキ
帰る前に…私も…その…

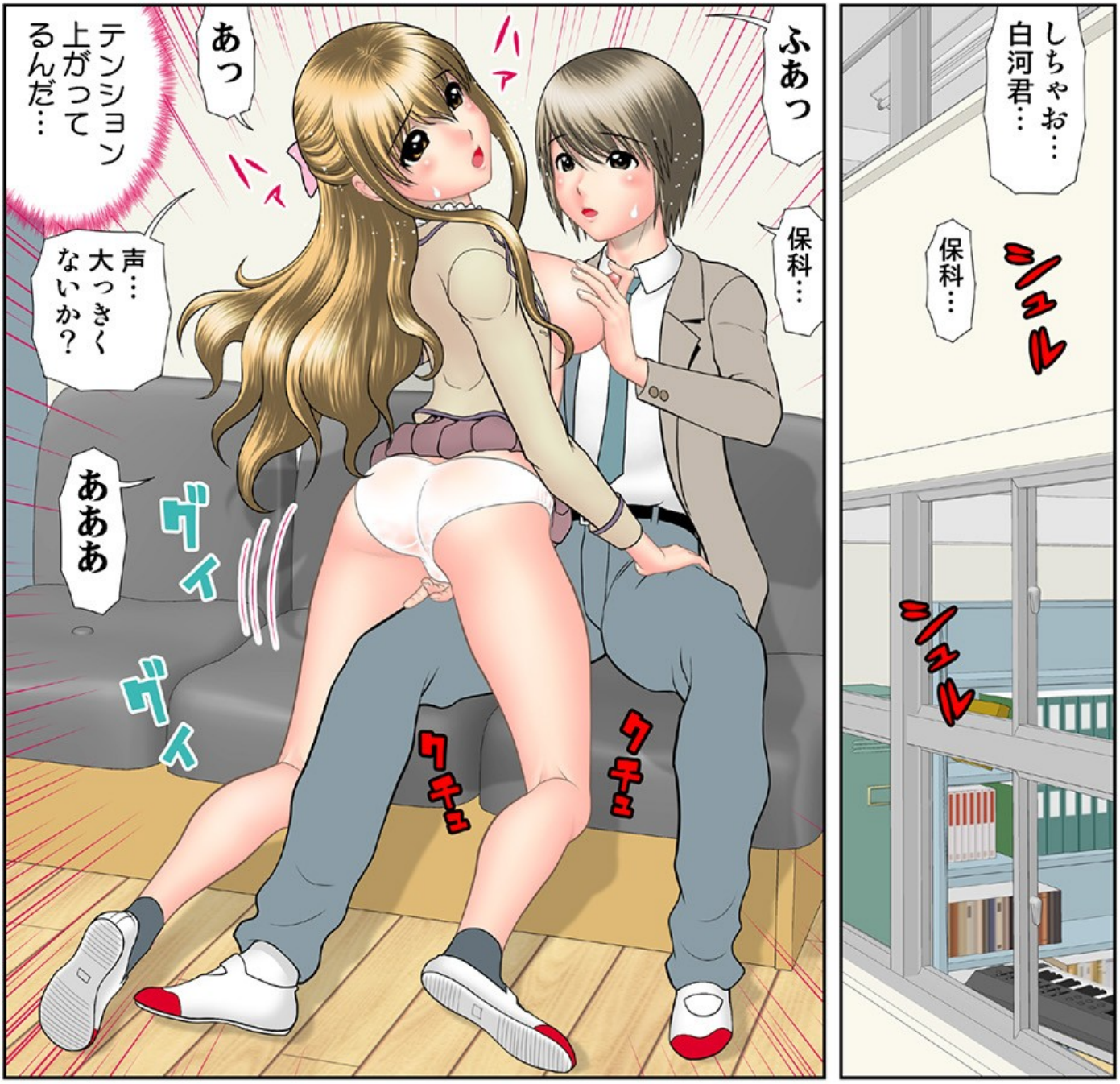

保科も手相みる？
あの…
私は…
ムニュ
ほっ…保科!?
アセッ
みっ…みこでいいよ…
あっ
グイ
ピク…
ムク
ムク
まほと一緒にバージン捨てようと思ってたのね…
まほには話してなかったけど…
えっ!?
音楽準備室
ひっ…一人だとやっぱちょっと会話がもたないかなーとか思って…
アハハ

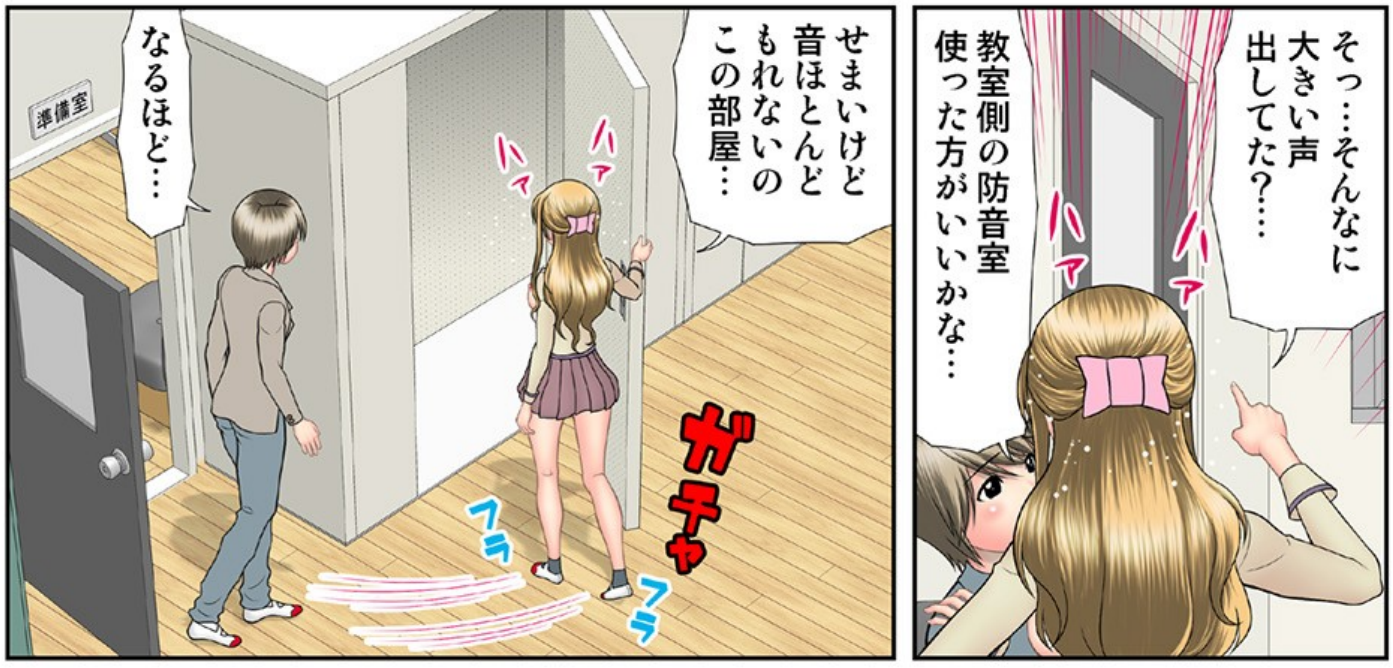
白河君は私とじゃ…イヤ？
ハハ
つーかオレは手相みにきただけで…
ウチの部…三人とも経験ないの…
んっ…
ハァ
ハァ
ビク
ビク
早くバージン捨てようって話が出てて…
あっ

白河君が部室まで来てくれた時に決めたの…
こうなったら私だけでも最後までイッちゃおーかな…って
グラ
ドン

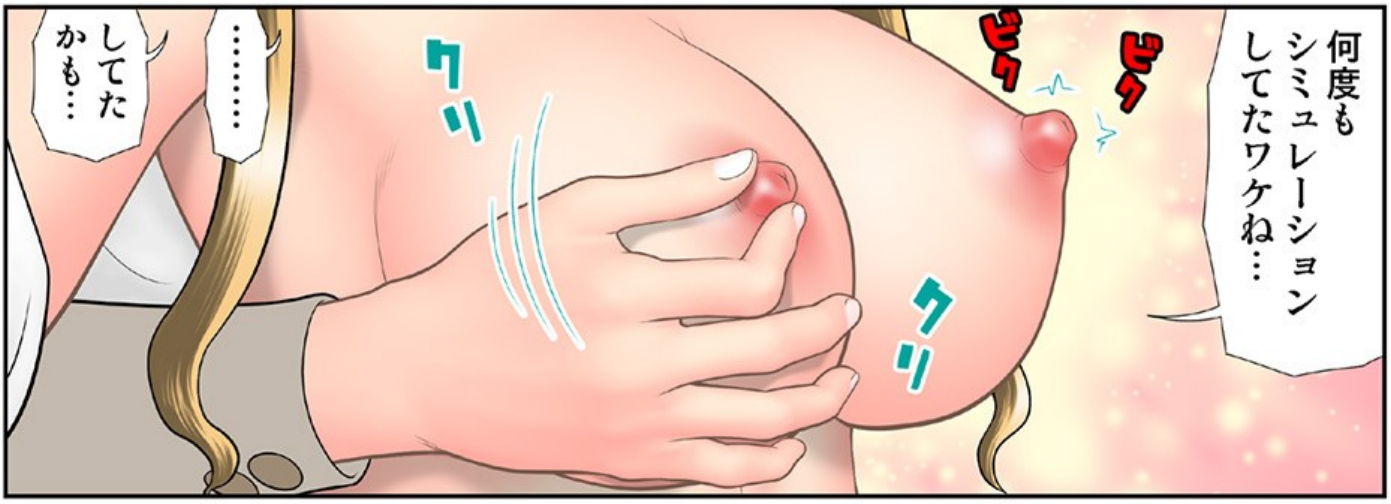
白河君…私の…触ってる
いやっ…倒れてきた保科を支えようと…
いいよ…そのまま…
ハァ
ハァ
クチュ

きゃっ
うわっ
サ
ド

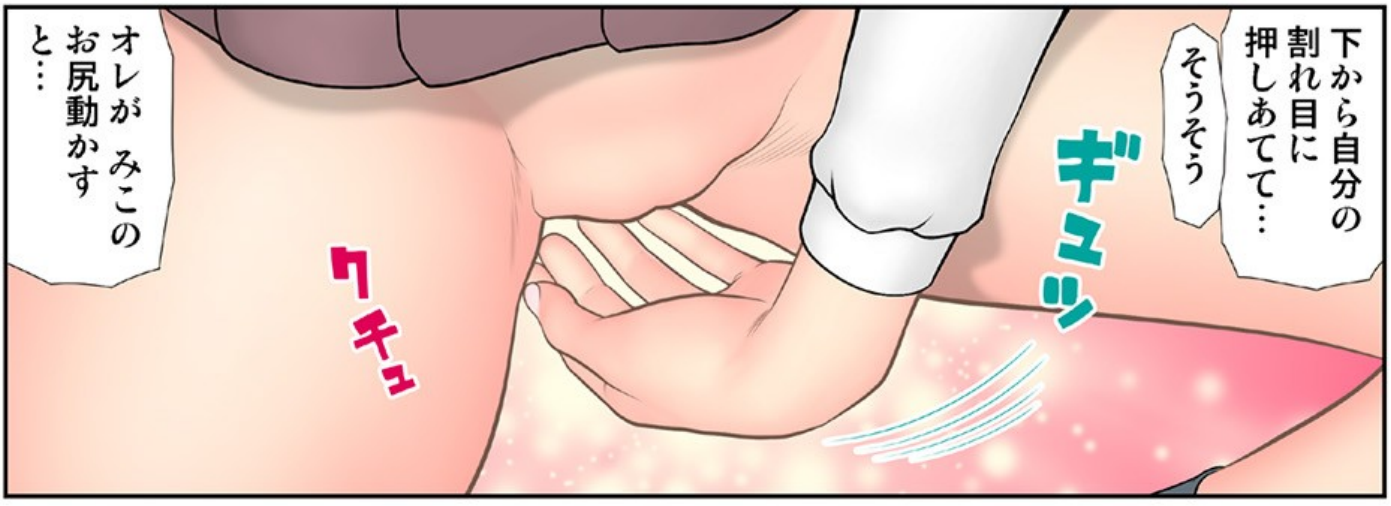

しちゃお…
白河君…
保科…
シュル
保科…
シュル
ふあっ
ハァ
ハァ
あっ
テンション上がってるんだ…
声…大っきくないか？
ああああ
グィ
グィ
クチュ
クチュ


そっ…そんなに大きい声出してた？…
教室側の防音室使った方がいいかな…
ハァ
ハァ
なるほど…
準備室
せまいけど音ほとんどもれないのこの部屋…
ハァ
ハァ
ガチャ
フラ
フラ

白河君て初めてじゃないよね？
うん…
ビク
ハァ
ハァ
ビク
私…初体験って興奮した男子に無理矢理ヤラれちゃうものだとばかり…
思ってたの…
チュブ
クチュ
クチュ
私自身の準備もまだ出来てない状態のところにこう…やり方分からない男子が…
ハァ
ハァ
ギリギリと入ってきて痛さを必死にこらえる私…みたいな


何度もシミュレーションしてたワケね…
ビク
ビク
クリ
クリ
……してたかも…

だったら みこの好きな強さで…
なっ…何!?私に握らせたの…
コレ…
もしかして白河君の…
チン○ンです…
ハァ
ビク
ビク
ス…
クチュ
どっ…どうしよ私…初めて…
あっ…熱いよね思ってたより…
ハァ
ハァ
ビキ
ビキ


下から自分の割れ目に押しあてて…
そうそう
ギュッ
クチュ
オレがみこのお尻動かすと…

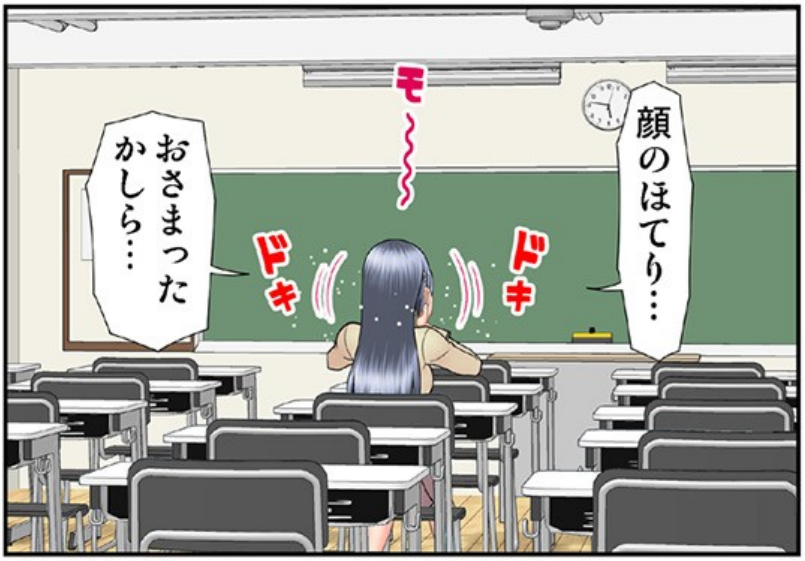
こっ…
こすれてる
よね…コレッ
あっ
ハァ
ああっ
私のと
白河君の…
直接…
ビク
ビク
ビク
グチュ
グチュ

グッグッ
グチュ
グチュ

私が…強さを…
決め…れる…
うあっ
もうちょっと…
押し付けて
みようかな…
ハァ
ハァ

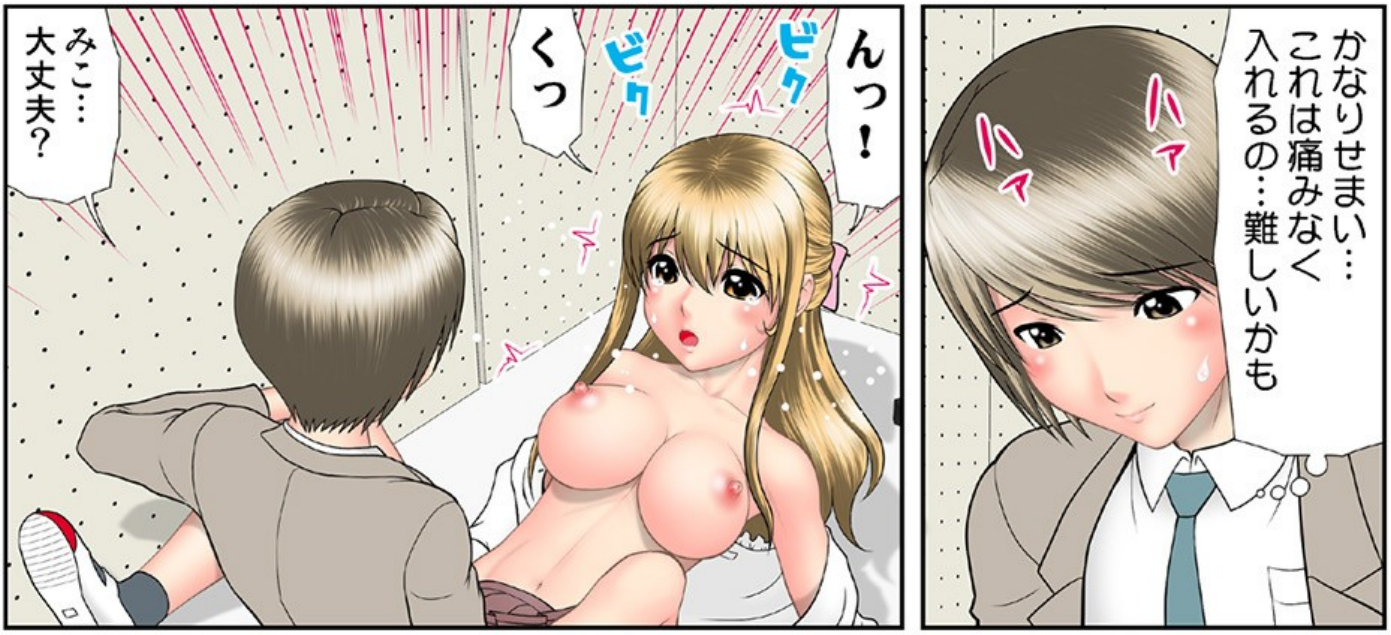
これなら みこが
押し付ける強さ
決められるでしょ
自分のペースで
準備できるし…
ハァ
ハァ

うあっ…みこっ
そこまで押さえ
込まれるとっ…
うっ
ふああっ
あっ
あっ
あああ～～～
クチュ
クチュ
ビク
ビク
出っ…
出るっ！
わっ…私…
またっ…イッ
ビク
ドクン
ク～～～


顔のほてり…
モ～～
ドキ
ドキ
おさまった
かしら…

白河君…
このまま
最後まで…
その…
うん…しよう
みこ…

ハァ
ハァ
音楽準備室
私立元治商業学園
軽音楽部
ベース
保科 みこ
いくよ…
みこ
うん…
ハァ
ハァ
グッ
お願い…
白河君
ズズズ
占い同好会
部長
白河 ゆう


かなりせまい…
これは痛みなく
入れるの…難しいかも
ハァ
ハァ

んっ！
ビク
ビク
くっ
みこ…
大丈夫？

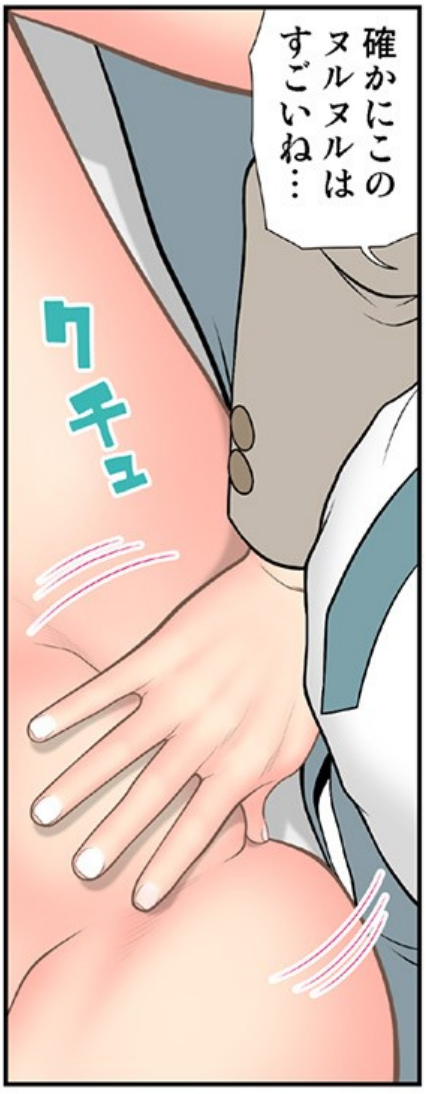
ゆっ…
ゆっくり
お願い…
ああっ…
ハァ
ズッ
ズズッ

あっ
ズッ
ズズッ
あっ…
ビク
ああああ
ハァ
ビク
ビク
ハァ

入ったよ
全部
はううう
ビク
ビク
ビク
ビク
ハァ
ハァ
ハァ
ブチュン
これで私も…経験者だよね
ハァ
ハァ
そーだね
痛みどう？たえられそう？…
ハァ
ハァ
今は平気…
動かれるとどうなるかは分からない…かな
ピク
ピク

潤滑油になるもの…か…
そうだコレ…
ベビーオイルあるんだけど
ゴン
体に害は無いと思うけど…動かしやすくなる？
どうなんだろう？…乾燥肌のオレには占い前の必需品なんだけど…
ビク
ハァ
その時はスベリがよくなって…
!!
ヌルン
んっ…
ビク
ハァ
ちょ…ちょっと押されてた感じが軽くなったみたい…
ハァ
うん…
動かしやすくなった…
ハァ

このまま動かして平気かな？
ズチュ
ズチュ
んっ…
ビク
痛みもゼロじゃないけどだいぶ楽に…
ハァ
あっ
ハァ
ビク
ベビーオイルすごいね…


確かにこのヌルヌルはすごいね…
クチュ

なっ何!?どこいじってるの…ダメッ
ハァ
ビク
ビク
ビクビクするっ…うあぁ…そこいじられると…やっ…
クリュ
クリュ

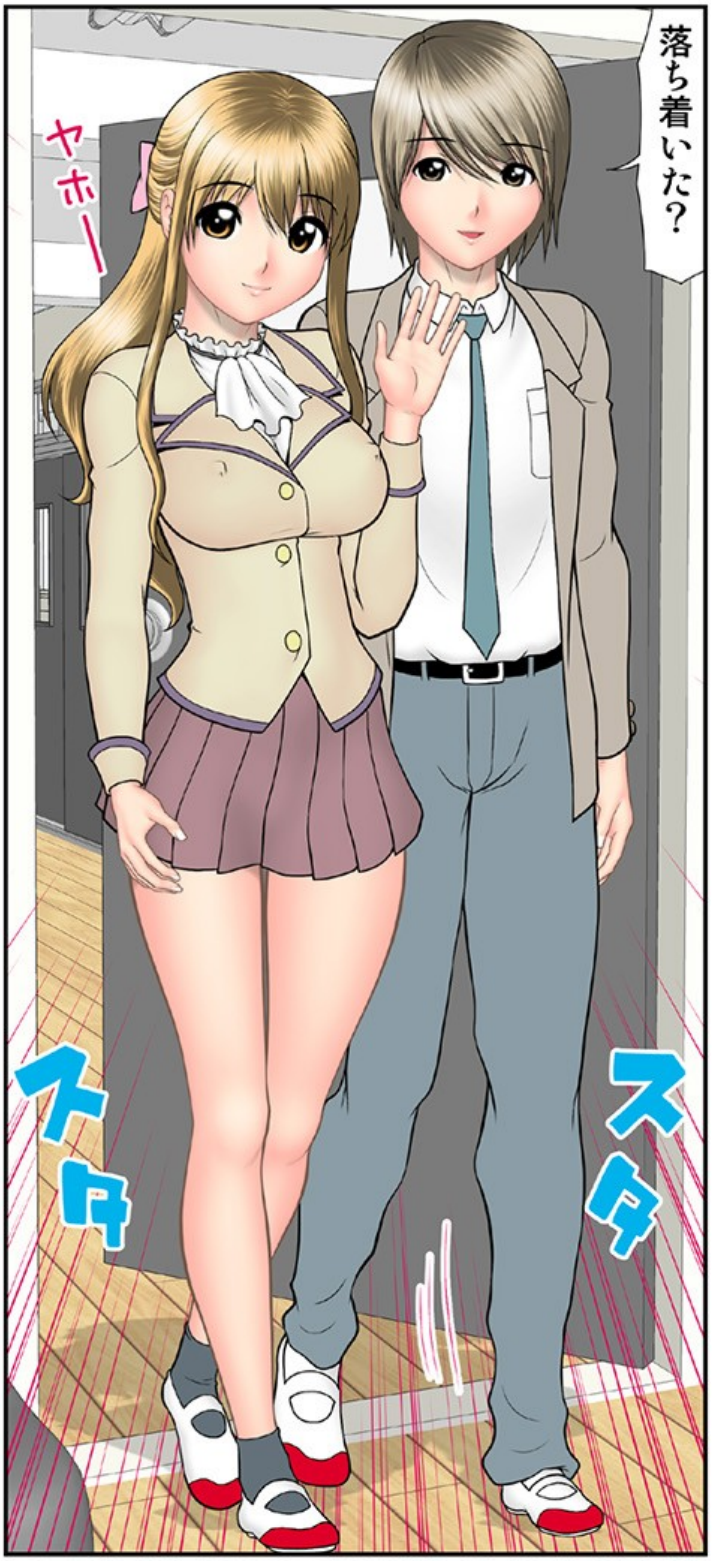
ああっ…
あっ
ダメだよ
ホントにそこ
弱い…の…
ズチュ
ズチュ
ビク
実は…
オレも もう
出そうで…
締めつけ
スゴいし…
くっ…
出るっ
クリュ
クリュ
クリュ
ドピュ
ビク
ビク
ハァ
ハァ
こっ…これだと…
私…イッ…
イクッ…
イッちゃう
よ〜〜〜
ビク

あ…
ビュク
ビュク
ビク
ビク
ああ…

音楽準備室
ガラ
ガラ

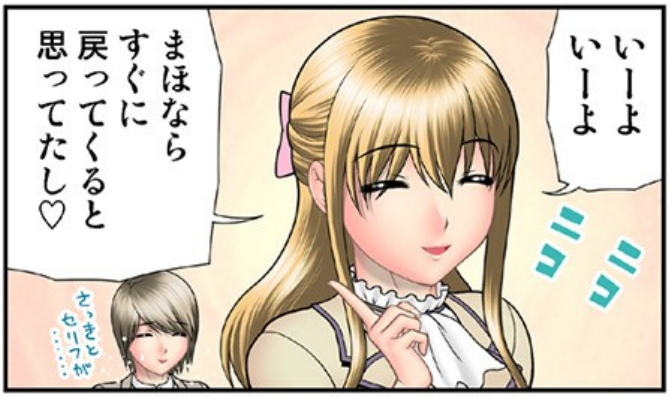
そりゃもー
誰も居ない
わよね…
アハハ
軽音楽部
シンセ
雨宮 まほ

どう思われたかなー…
せっかく私の手相みにきてくれたのにその私が飛び出して行っちゃって……


落ち着いた？
ヤホー
スタスタ

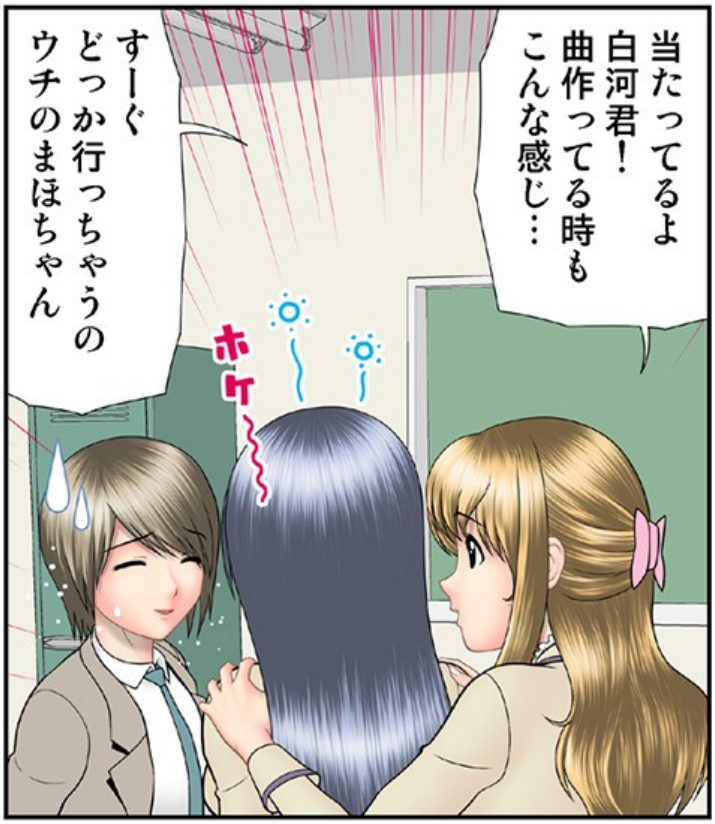
白河…君
みこ！

まっ…待っててくれたの？
ホントゴメンねっ
アセ
アセ


いーよいーよ
ニコニコ
まほならすぐに戻ってくると思ってたし♡
さっきとセリフが……

自分の興味ある事にのめり込む傾向が強いと出る線がこの享楽線だね…
うっ…うん
ドキ
ドキ
雨宮さん没頭すると周りが見えなくなるタイプじゃないかな

あー…白河君に手を握られてる…大っきいしがっしりしててこれが男の人の手なんだ…
ドキ
ポー…
ドキ


当たってるよ白河君！曲作ってる時もこんな感じ…
すーぐどっか行っちゃうのウチのまほちゃん
ホケ～

今は…男子と並んで手を握られて…まほの頭の中かなりハッピーなストーリー進行中だと思うよ
アハハ

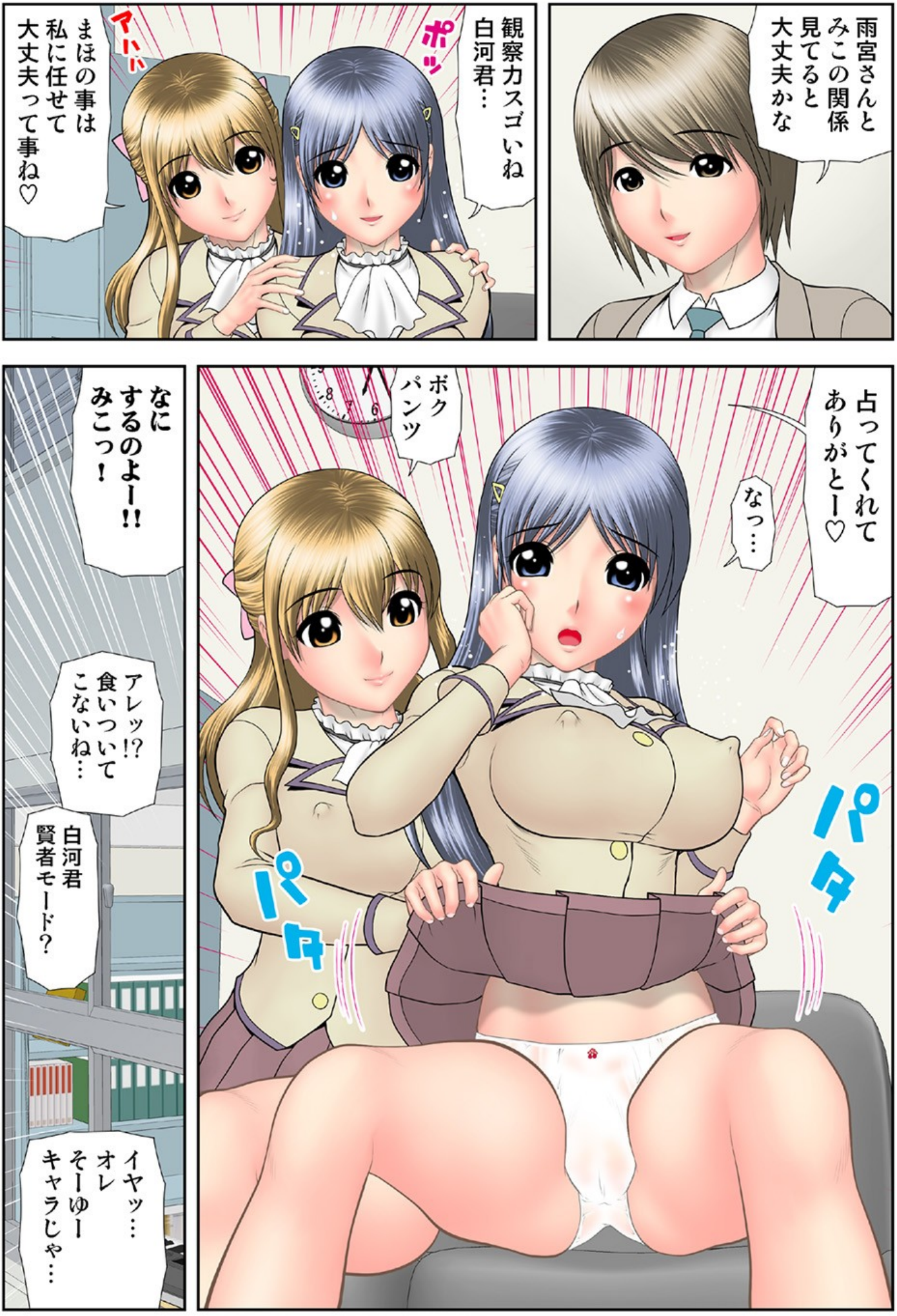
頼む！話を最後まで聞いてくれ！
ダッ…ダメよ
好きなんだまほ！
グイ
私達部が違うわ…
なんて…
クス♥
オレの声は届いているのだろうか…
アハン
！
モニュ

ちょっと…
みこ！
えい
やっ…
やめてよ
えい
ムニュ
ムニュ

おっ！ まほが
現実に戻って
きたみたい♡
白河君も
持ってみる？
まほのは
スゴいよ
みこー!!
いやあの…
コッサ
コッサ

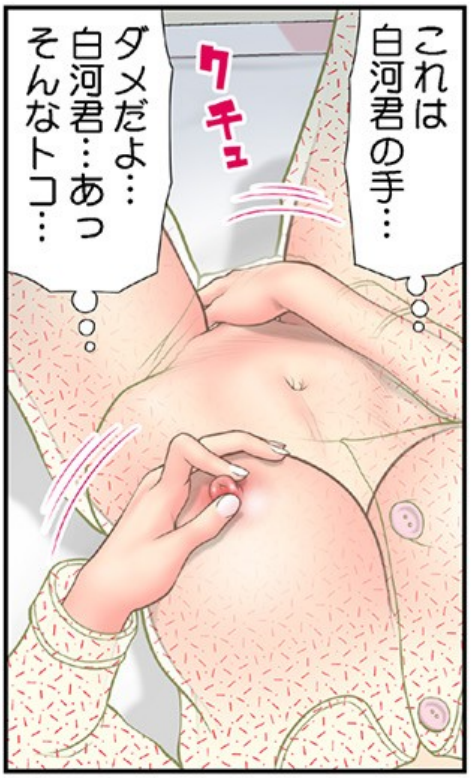
この学園の女子…
男子がいない事
前提のノリが
多すぎる…
プルプルとか
ムニュムニュとか

のめり込みやすい
享楽線が出てる人は
周りに理解者が
居るのが望ましくて…
音楽準備室


雨宮さんとみこの関係見てると大丈夫かな
観察力スゴいね白河君…
ポッ
アハハ
まほの事は私に任せて大丈夫って事ね♡
占ってくれてありがとー♡
なっ…
ボクパンツ
パタ
パタ
なにするのよー!!みこっ!
アレッ!?食いついてこないね…
白河君賢者モード?
イヤッ…オレそーゆーキャラじゃ…

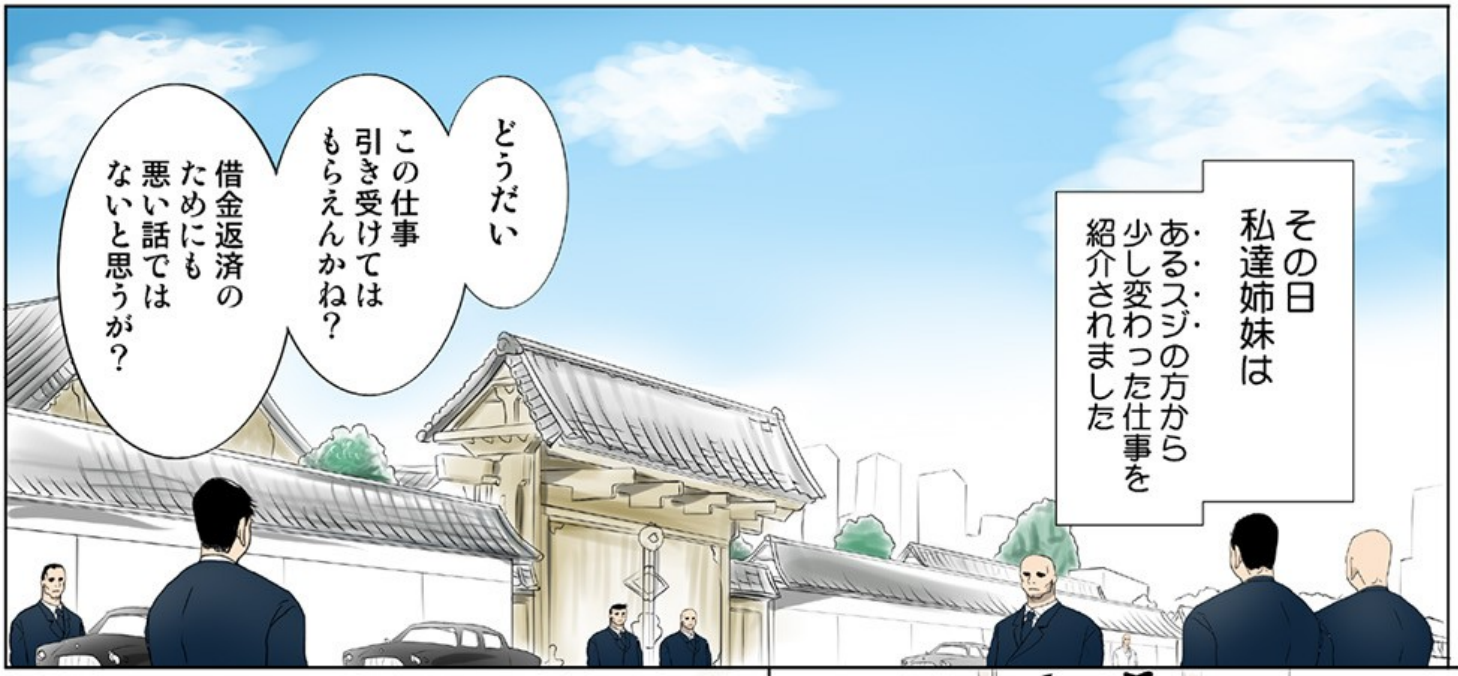
あー…この手に
白河君の手が
重なってて…
ドキ
ドキ
温もりが
まだ…

…んっ
クチュ


これは
白河君の手…
クチュ
ダメだよ…
白河君…あっ
そんなトコ…

ダッ…ダメェ…
ハァ
ハァ
白河君…
クチュ
クチュ
イヤァア〜〜

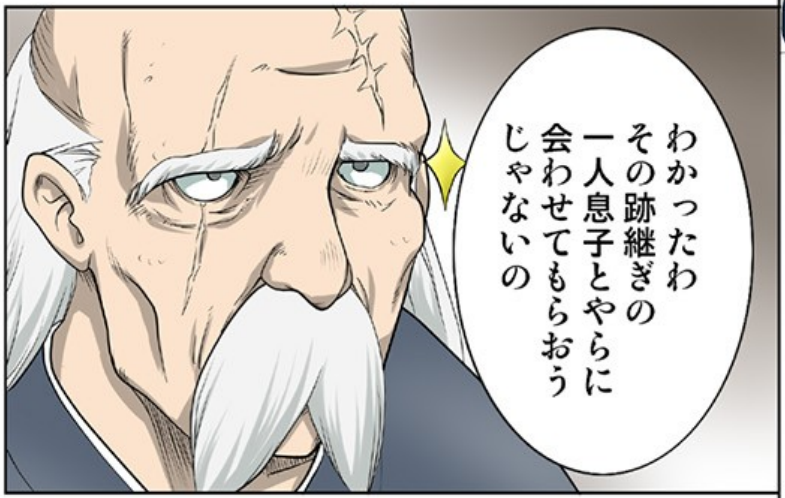
リアル女体
VS
アキバ君
紫色雁行
ししょくがんこう
第1話


その日
私達姉妹は
あるスジの方から
少し変わった仕事を
紹介されました
どうだい
この仕事
引き受けては
もらえんかね？
借金返済の
ためにも
悪い話では
ないと思うが？

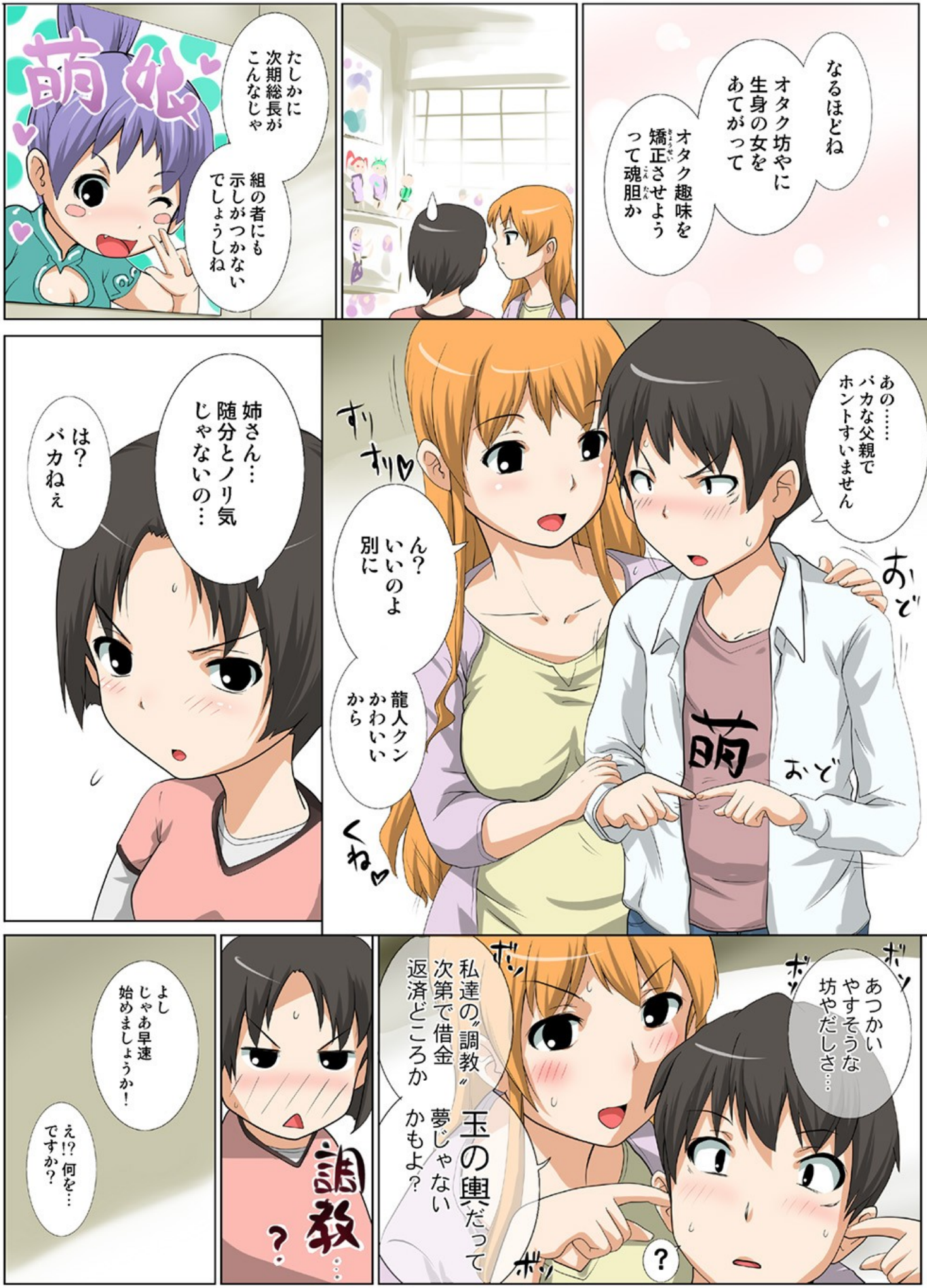
フン
極道連合
次期総長の愛人に
なれですって？
両親の経営する
会社が倒産しかけた際
多額の融資を
していただいたので
鬼

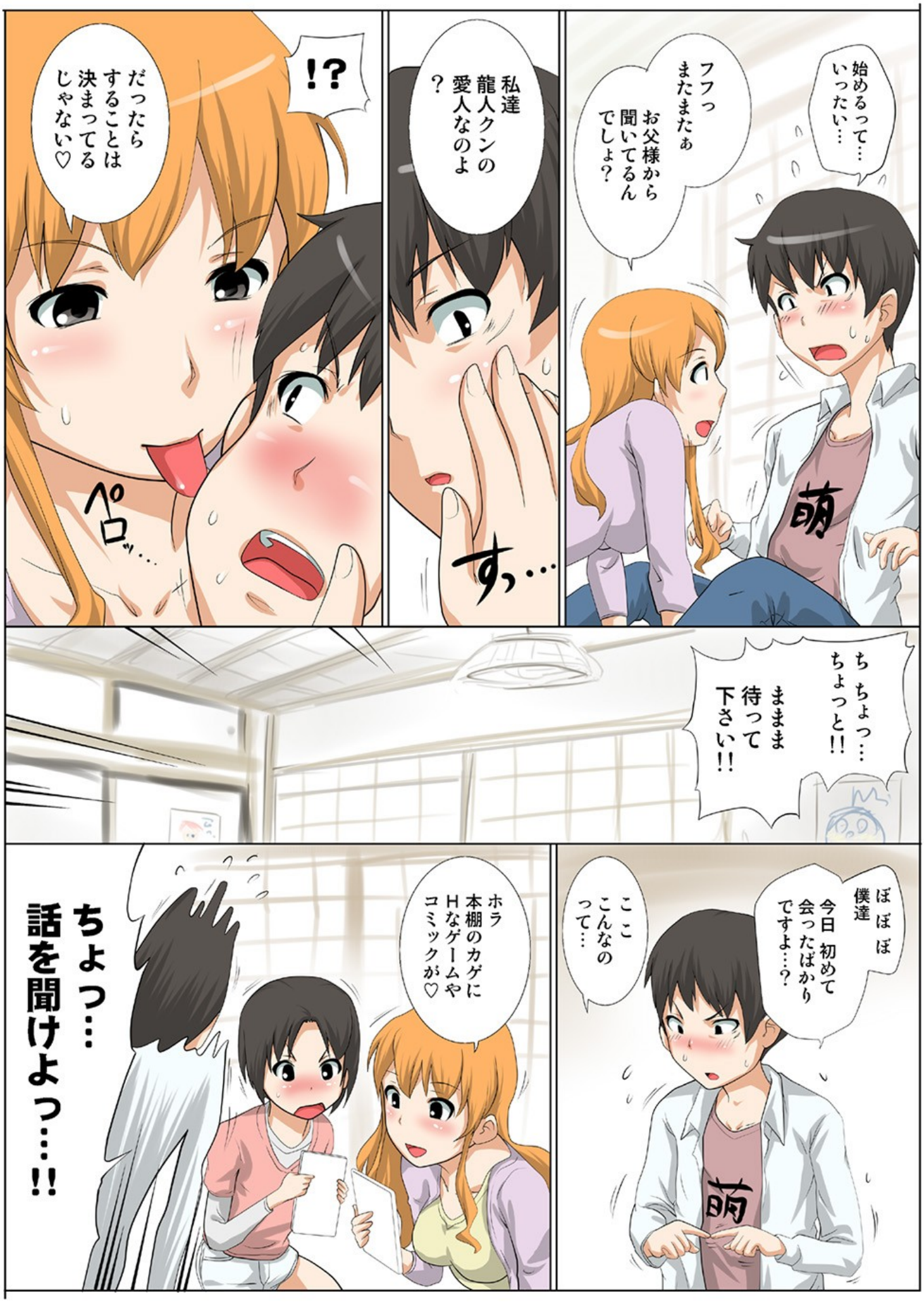
まぁソープに
沈められる
よりはマシなんだ
ろうけど…
断る術は
なかったのですが
姉：早瀬 真鈴(まりん)

妹：芹香(せりか)


わかったわ
その跡継ぎの
一人息子とやらに
会わせてもらおう
じゃないの

あ…僕が
関東極道連合
次期総長の
鬼瓦 龍人です…
!!??
す
すいません
親父が何か
無茶なお願いを
したみたいで…
萌
!!?
萌
!?
アキバ系…!?
この子が
次期総長
〜〜〜〜〜
!!?
セガレは
早くに母親を
亡くしたせいか
ちと
内気な子に
育ってしまってな
……
では まあ
よろしく
頼んだぞ

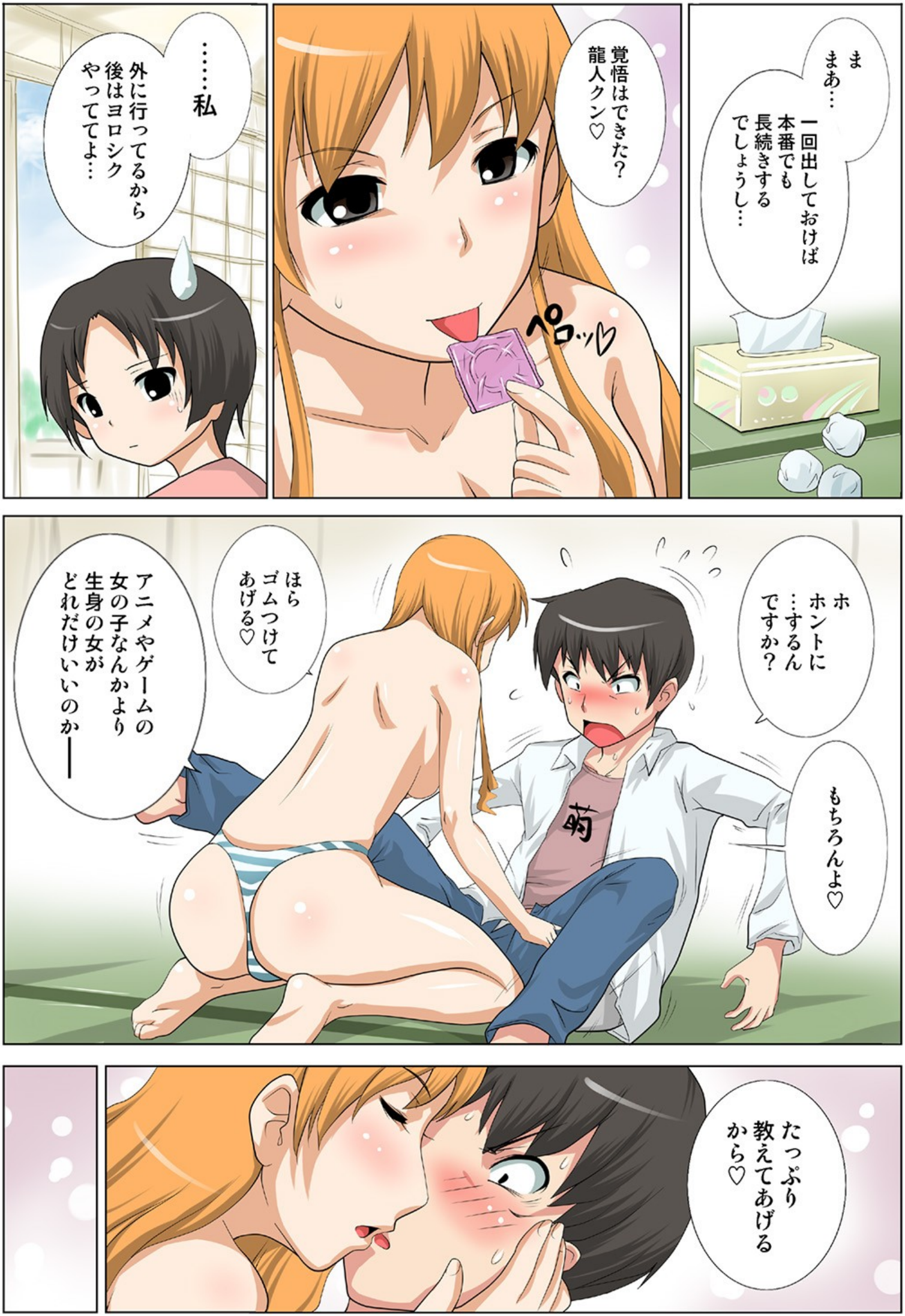

なるほどね
オタク坊やに生身の女をあてがって
オタク趣味を矯正させようって魂胆か
萌女
たしかに次期総長がこんなじゃ
組の者にも示しがつかないでしょうしね
あの……バカな父親でホントすいません
すりすり♡
ん？いいのよ別に
龍人クンかわいいから
くね♡
おで
萌
おで
姉さん…随分とノリ気じゃないの…
は？バカねぇ
ボン
あつかいやすそうな坊やだしさ…
私達の〝調教〟玉の輿だって次第で借金返済どころか夢じゃないかもよ？
ボン
ボン
？
調教…？
よしじゃあ早速始めましょうか！
え!?何を…ですか？


始めるって…
いったい…
フフっ
またまたぁ
お父様から
聞いてるん
でしょ？
萌
私達
龍人クンの
愛人なのよ
？
すっ…
!?
だったら
することは
決まってる
じゃない♡
ペロッ…
ちょっ…
ちょっと!!
ままま
待って
下さい!!
ぼぼぼ
僕達
今日 初めて
会ったばかり
ですよ…？
ここ
こんなの
って…
萌
ホラ
本棚のカゲに
Hなゲーム や
コミックが♡
ちょっ…
話を聞けよっ…!!

カタイこと
言ってる割には
やっぱり興味は
あるんじゃないの♡
HOPE
ズラッ
だだだっ
駄目だってば
か
返してっ!!
恥ずかしがら
なくていい
じゃない
男の子なら
皆そうでしょ?
ね
龍人クン?
な
何ですか…?
あせあせ
!?

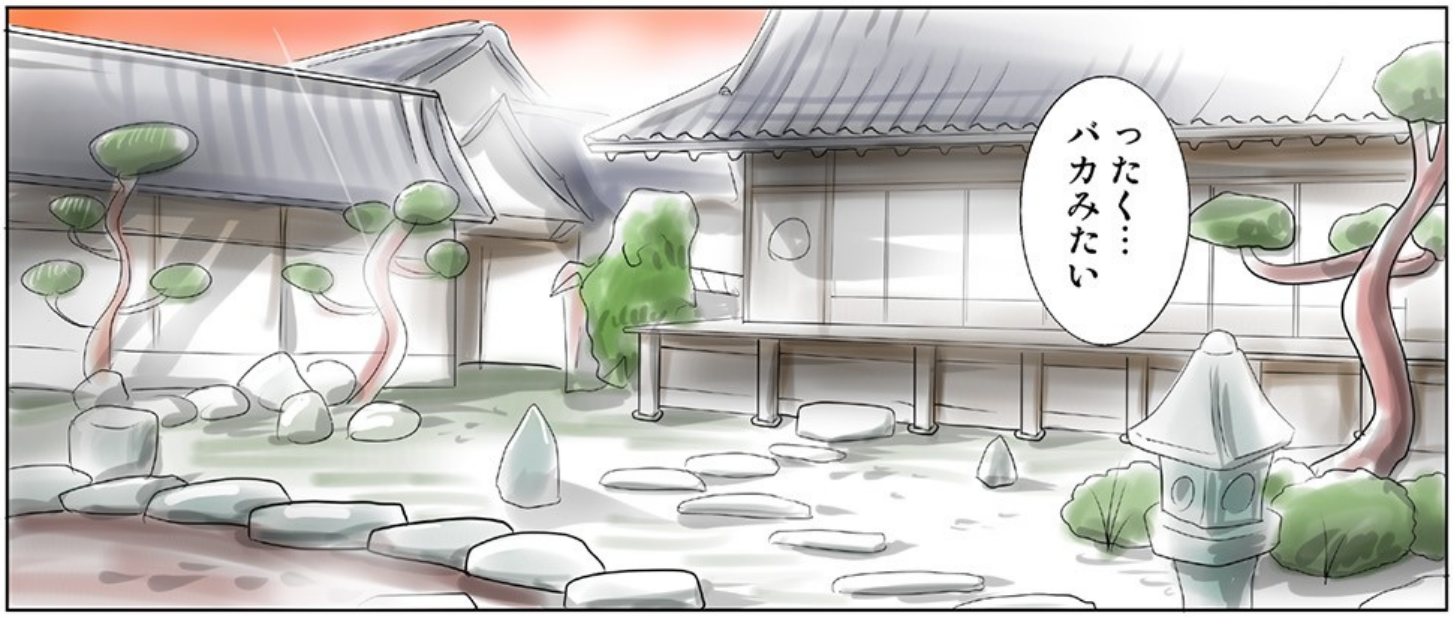
すごいでしょ？
Fカップある
のよ♡
今日から
龍人クンの
好きにしていいん
だからね？
ぺろ
ろん♡
プルン♡
プルン♡
龍人クンって
オタクでオクテっぽい
雰囲気あるけど
はっ
はっ
はっ
ホンモノの
おっぱいなんて
見るのも初めて
なのかしら？
は……
はいい…

あ――っ♡
キラーン
ほらぁ♡
ここはもう
こんなに
なってる♡
カあ～あ。
こういうこと
自分でもしたり
するんでしょ？
Hなアニメとか
見ながらさ♡
萌
シュッ
シュル
シュコル
やめて…
ください!!
あっ
ビクッ!
あああっ!!
ビッビッ!
あ……
あああ…
萌
ビクッ
ビクッ
ビクッ
知らなかったわ…
童貞クンって
ちょっとシゴいて
あげただけで
イっちゃうくらい
敏感なのね……


ま
まあ…
一回出しておけば
本番でも
長続きする
でしょうし…
覚悟はできた？
龍人クン♡
ペロッ♡
……私
外に行ってるから
後はヨロシク
やっててよ…
ホ
ホントに
…するん
ですか？
もちろんよ♡
萌
ほら
ゴムつけて
あげる♡
アニメやゲームの
女の子なんかより
生身の女が
どれだけいいのか――
たっぷり
教えてあげる
から♡

んっ
んんっ！
ず…
はっ…
入っ…ちゃった
ずぷっ…
はあっ
どう？
気持ちいい
でしょ？
ん…は
はい…
はっ
動いても
いいわよ？
はっ
んっ
オチ○チンを
オマンコに
こすりつける
ように…♡
ずっ
はっ
こ こう
ですか…？
ずっ…
ずっ…
ずっ…
ううっ
はっ♡
ぬぬっ♡
はっ♡
ぬぬっ
ずぽっ
ずっ♡
んっ…そう
…上手♡

ごごめんなさい
ぼっ僕…また出るっ…!!
はっ
あっああっイクッ!!
ビクッ♡
ドクッ♡
ドクッ♡
ドクッ♡
ドクッ♡
ん…♡
いいわよ…好きなときに出しちゃって♡
はいっ!!
パンッ♡
こうして私達姉妹と
ふふっ気持ちよかった?
これからはいつでもしてあげるから
ヨロシクね龍人クン♡
はいはい…
オタクで気弱なヤクザの坊やとの奇妙な同居生活が始まったのです

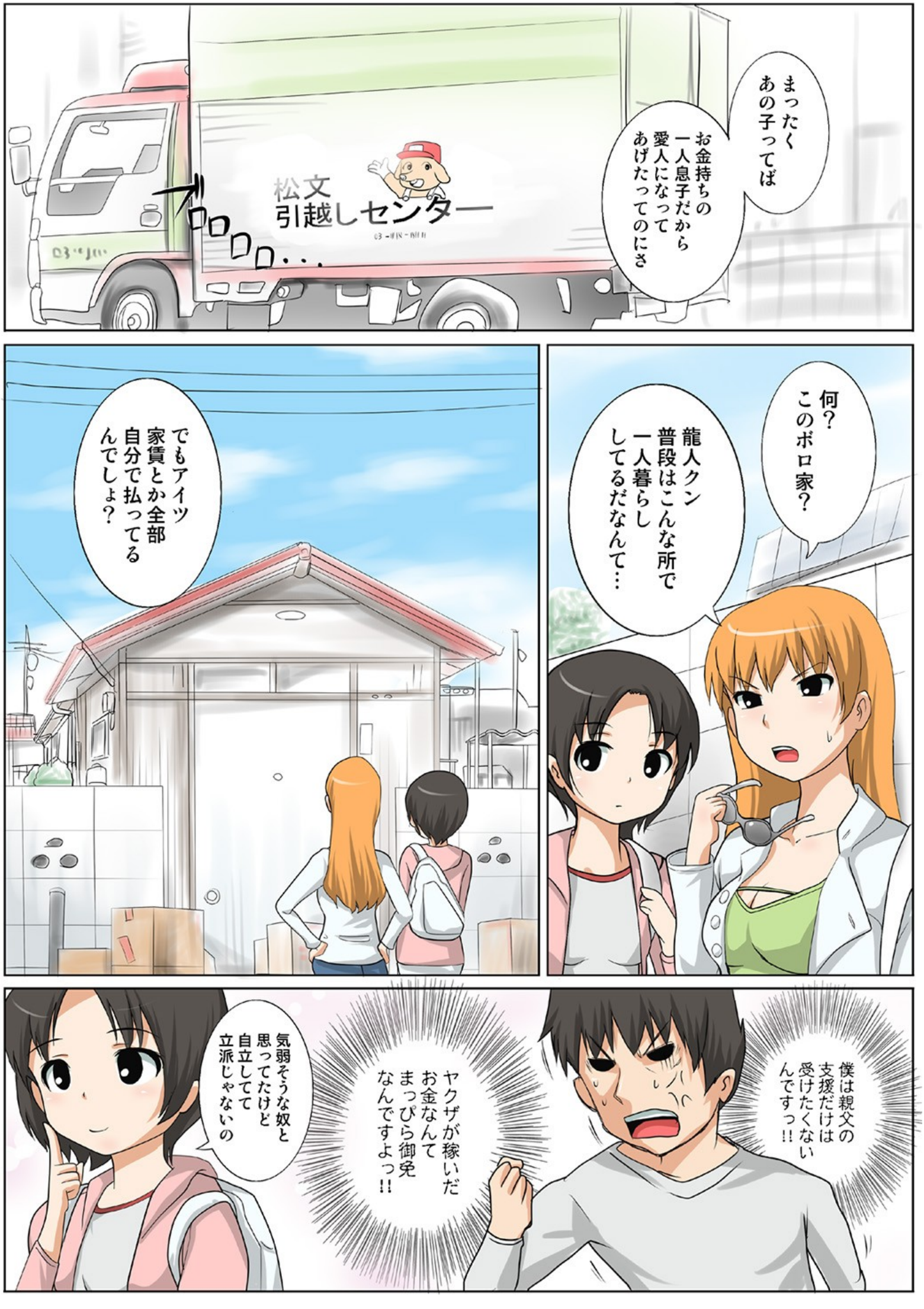

ったく…
バカみたい

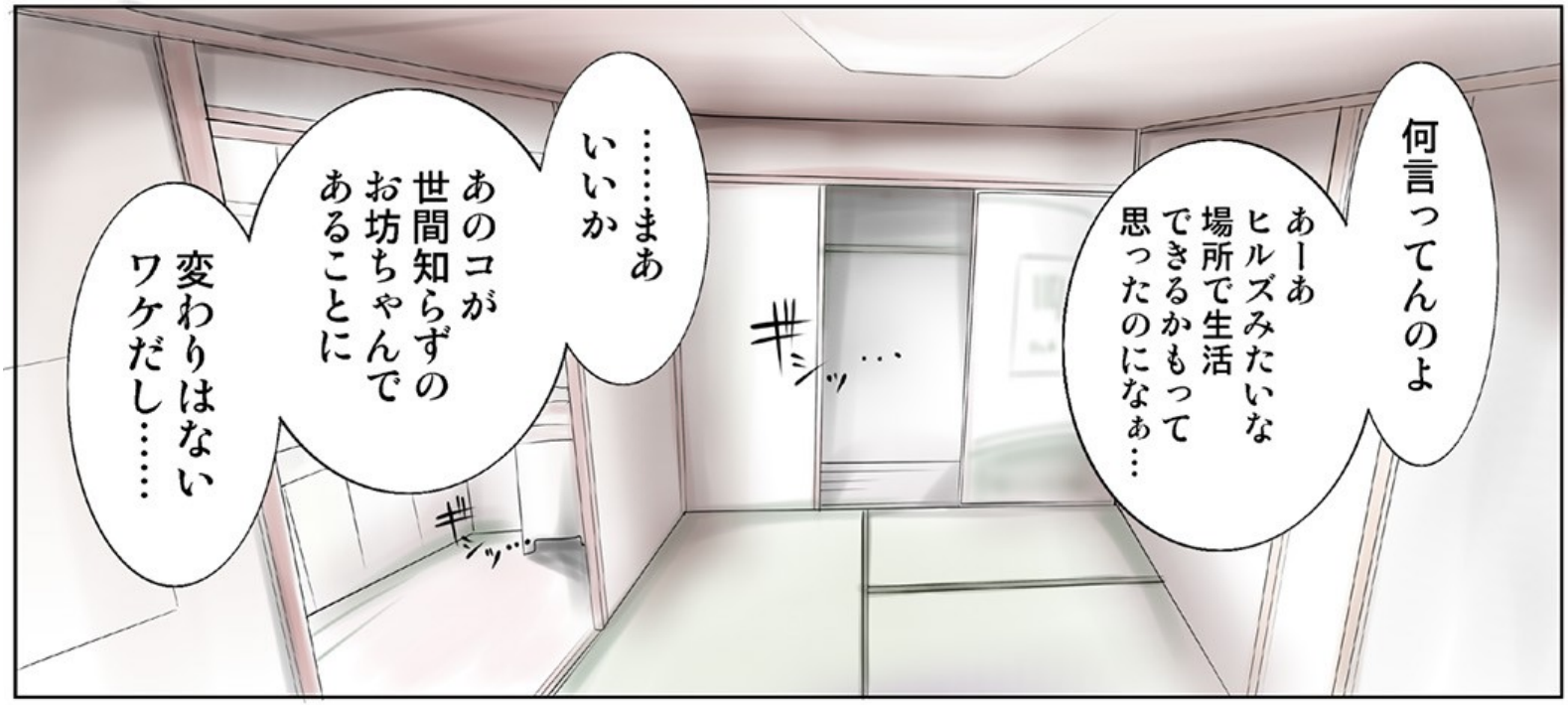
ピコ
ピっ

知らなかった…
女の人って
あんなに
気持ちいいんだ
なんて…

フフッ
見てなさい
たっぷり調教して
あげるんだから…♡
そして将来は
玉の輿よ…♡

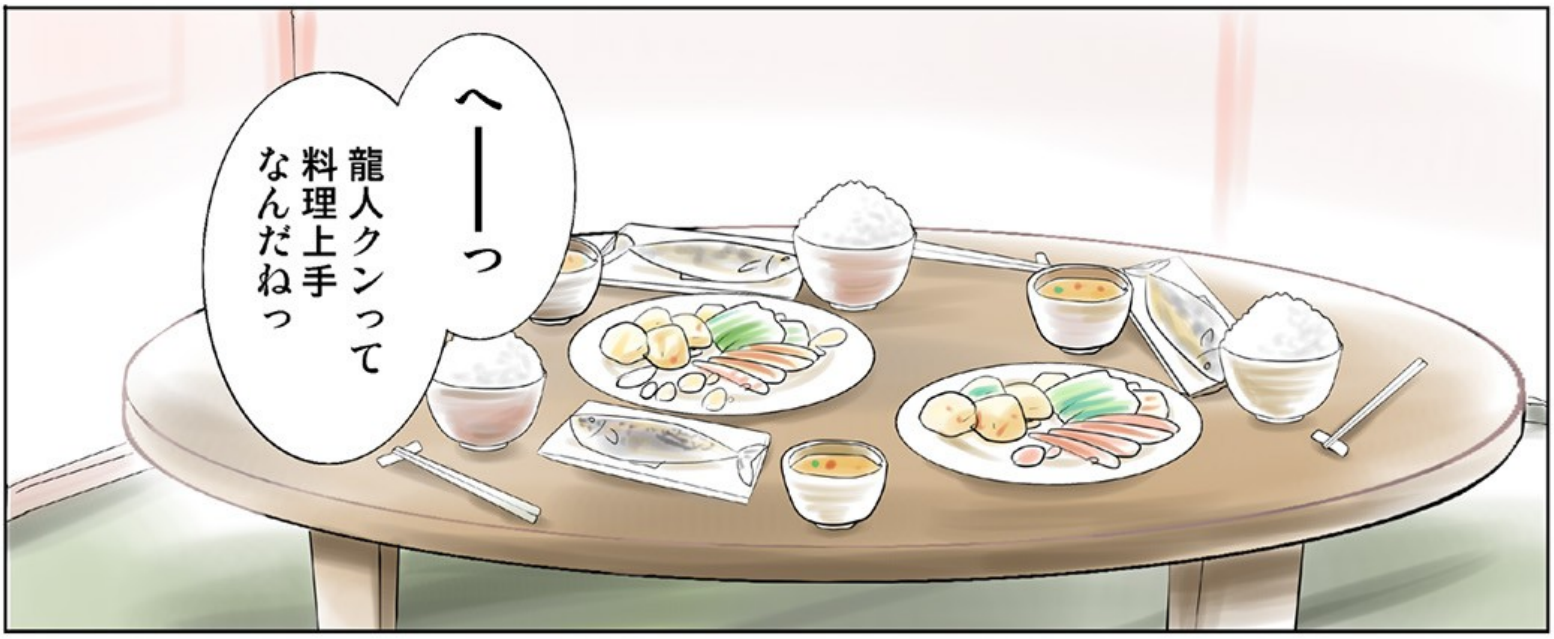
リアル女体
VS
アキバ君
紫色雁行
ししょくがんこう
第2話


まったく
あの子ってば
お金持ちの
一人息子だから
愛人になって
あげたってのにさ
松文
引越しセンター
ゴロロロ…
何？
このボロ家？
龍人クン
普段はこんな所で
一人暮らし
してるだなんて…
でもアイツ
家賃とか全部
自分で払ってる
んでしょ？
僕は親父の
支援だけは
受けたくない
んですっ!!
ヤクザが稼いだ
お金なんて
まっぴら御免
なんですよっ!!
気弱そうな奴と
思ってたけど
自立してて
立派じゃないの


何言ってんのよ
あーあ
ヒルズみたいな
場所で生活
できるかもって
思ったのになぁ…
シッ…
……まあ
いいか
あのコが
世間知らずの
お坊ちゃんで
あることに
変わりはない
ワケだし……
シッ…

カワイイ坊やを
自分好みに
〝調教〟すれば
いいだけの話…♡

焦ることは
ないわ♡
むしろ楽しみが
増えたくらいかな
フフフ♡
……

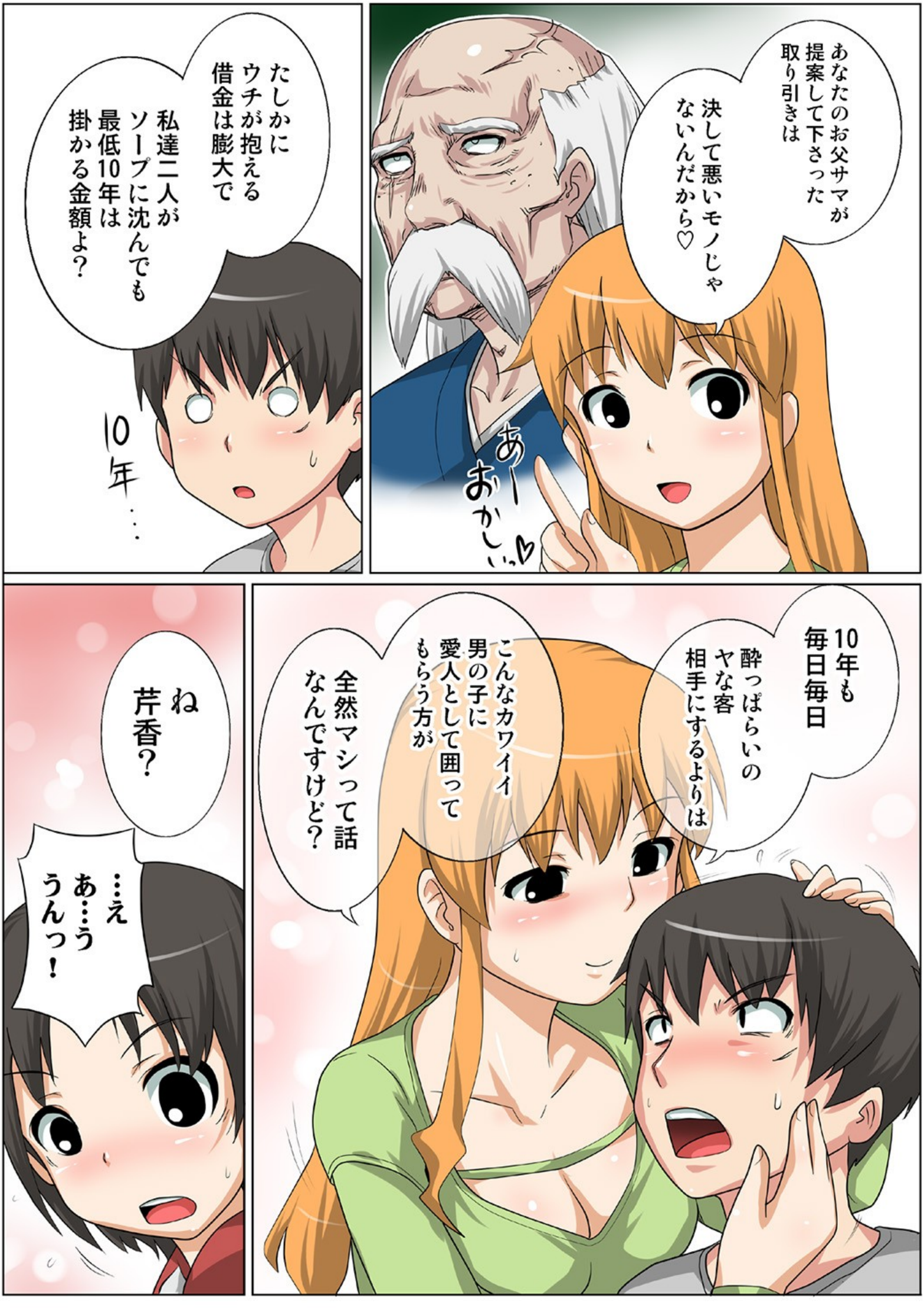

へ――っ
龍人クンって
料理上手
なんだねっ

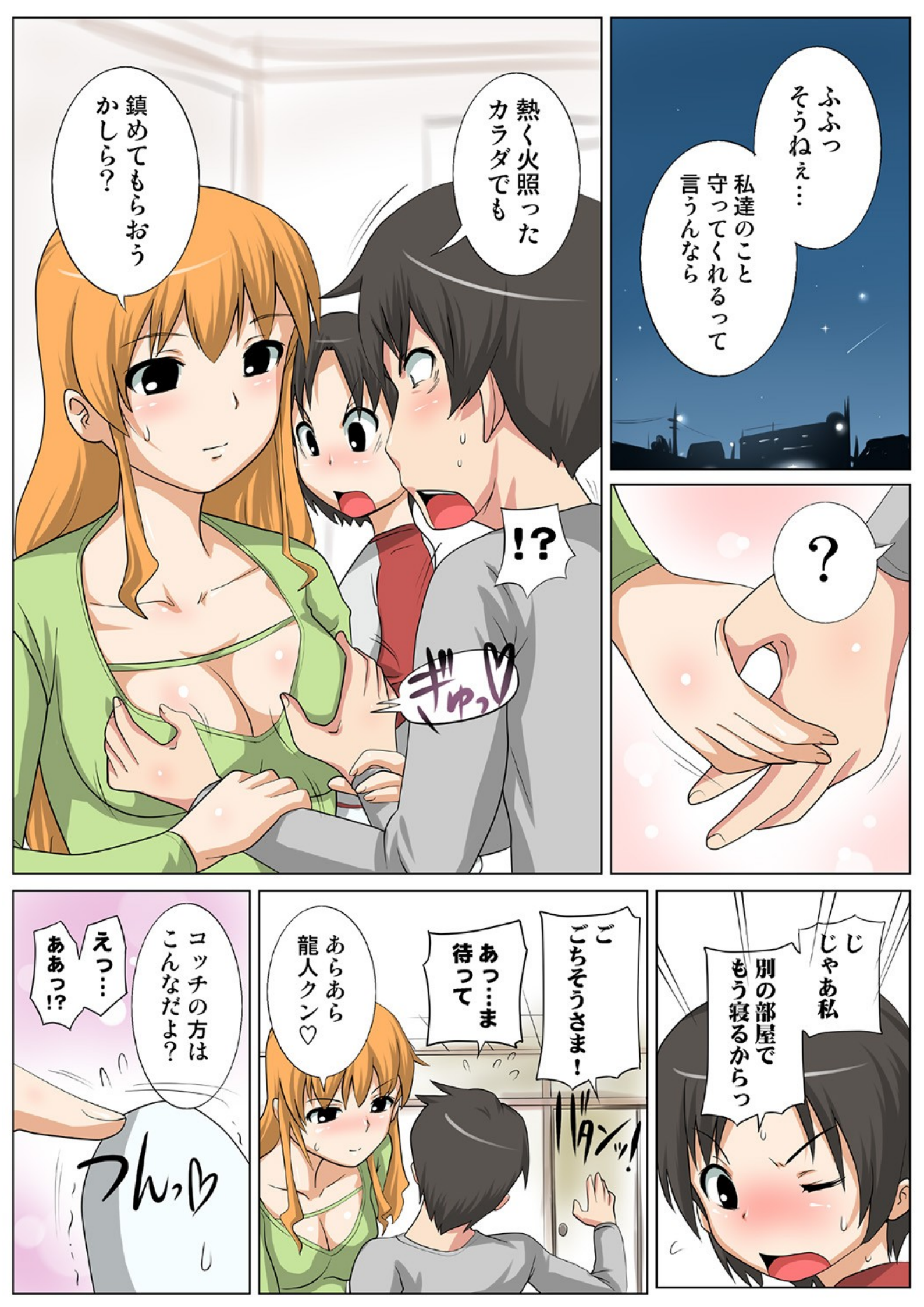
あぅん…
ずっと一人で自炊
してきたから
美味しい！
すごいね
私達より
上手かも♡

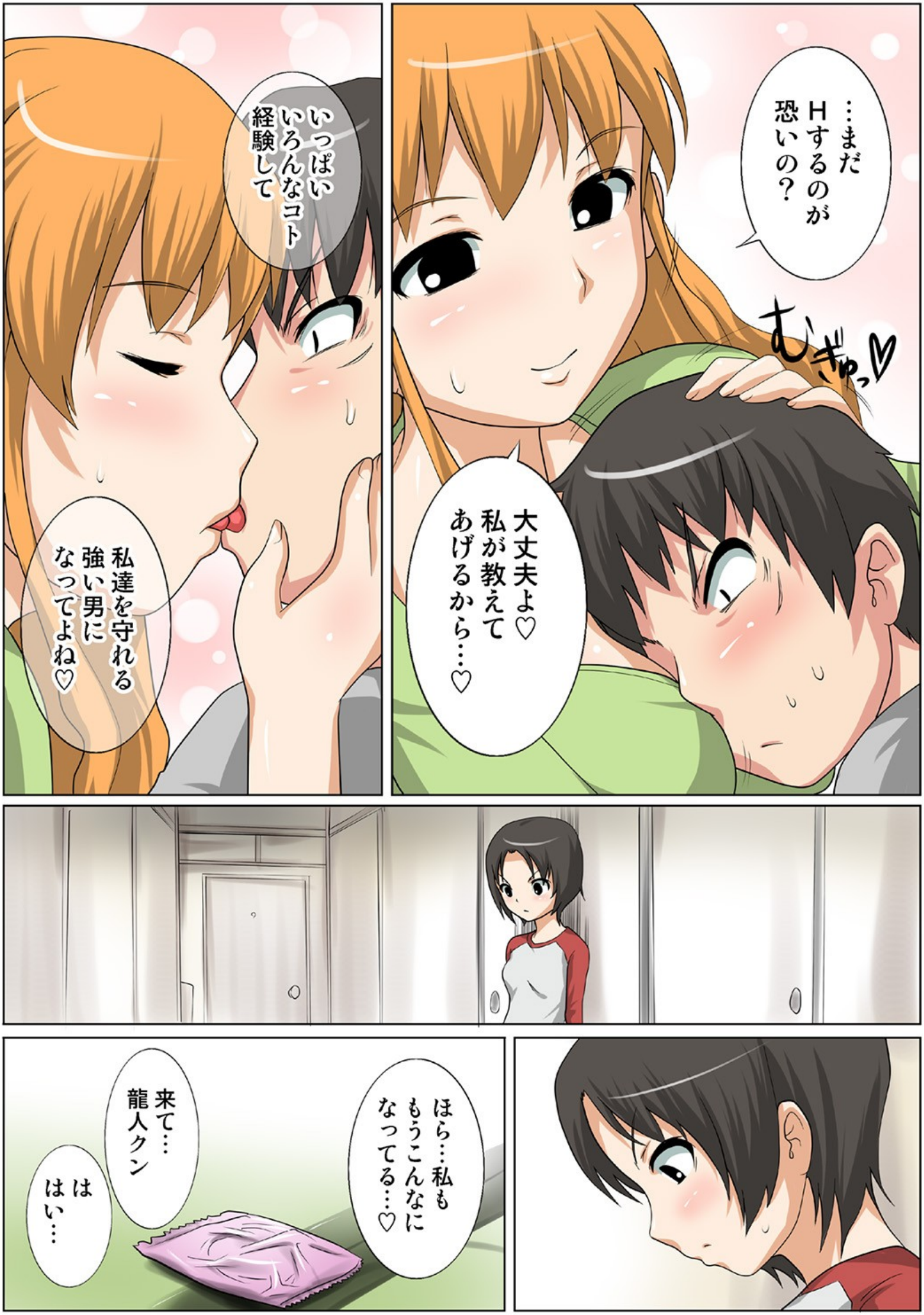
ちっ……
想像以上に
しっかり者じゃないの
……まったく
一人じゃ何もできない
甘えん坊じゃないと
困るんですけど……

あ
あの…
お二人に…
言っておきたい
コトがあります
……

ことの成り行きは
親父に全て
聞きました…
コト..
僕……
お二人のこと
必ず守って
みせますから
……!!
は……?
借金のカタに
愛人契約
なんて
酷すぎます!
だから
せめて僕が…!!
ぷっ
あーっは
はっは
龍人クン
マジメすぎ
だってばさ♡


あなたのお父サマが
提案して下さった
取り引きは
決して悪いモノじゃ
ないんだから♡
あーおかしい♡
たしかに
ウチが抱える
借金は膨大で
私達二人が
ソープに沈んでも
最低10年は
掛かる金額よ？
10年…
10年も
毎日毎日
酔っぱらいの
ヤな客
相手にするよりは
こんなカワイイ
男の子に
愛人として囲って
もらう方が
全然マシって話
なんですけど？
ね
芹香？
…え
あ…う
うんっ！


ふふっ
そうねぇ…
私達のこと
守ってくれるって
言うんなら
?
じ
じゃあ私
別の部屋で
もう寝るからっ
ご
ごちそうさま！
バタンッ！
あっ…ま
待って
あらあら
龍人クン♡
熱く火照った
カラダでも
鎮めてもらおう
かしら？
!?
ぎゅっ♡
コッチの方は
こんなだよ？
えっ…
ああっ!?
つんっ♡


…まだHするのが恐いの？
むぎゅっ♡
大丈夫よ♡私が教えてあげるから…♡
いっぱいいろんなコト経験して
私達を守れる強い男になってよね♡
ほら…私ももうこんなになってる…♡
来て…龍人クン
はい…

んっ♡
ぬるっ
んんっ…♡
すごい…入ってるわよ♡
龍人クンのオチンチン♡
んっ♡
ぬるっ
んっ
ぬるっ
あっ…いいっ♡
ぬるっ
もっと…もっと強く突いて♡
は…はいっ
んっ

ふふっ
下手クソなくせに
一生懸命
腰使っちゃって…♡
覚えたて
だから
したくて
たまらない
のね♡
すごくかわいい♡
あっん♡
んんっ

覚悟してて
よね…
龍人クン♡
はっ
はっ♡
はっん♡

私なしじゃ
いられない
カラダに
調教して
あげるん
だから…♡
あっん♡
んっ

はっ♡
んっ♡
んっ♡
んんっ♡
うぅ…
真鈴さん…
僕…もう…
ん
いいわ♡
出して…♡
はい
はいっ

んあああっ
はーっ♡
はーっ♡
はあ
はあ
はあ

ふふっ
もちろん♡

オチンチンもおっきしたまま♡
もう一回する？
い
いいんですか…？

すごい量♡
こんなに沢山出しちゃって…♡

あっん♡
んっ♡
今まで周りに
チャラい男しか
いなかったせいか
龍人クンみたいな
無害な子って
新鮮だわ♡
んっ♡
なんか貧しい
住まいだけど
楽しい生活が
送れそう…♡
んんっ♡
ぎしっ…
んっ♡
ぎしっ
ぎしっ…
眠れない…
んっ♡
あっ♡
んっ♡
はっん♡

リアル女体
VS
アキバ君
紫色雁行
ししょくがんこう
第3話

ねぇ
龍人クン
押し入れ
いっぱいで荷物
入んないわ
はいはい
すぐ行きますっ
引っ越し後の模様替え中
あやっ…
やばっ!?
あーーっ
だ 大丈夫
ですか?
いたた…
もぉーっ
何なのコレ?
わざわざ
押し入れに
隠すなんて
Hな本
かしら?
ち違い
ますよっ
んー?
なんか
アヤシイなぁ♡
ああああ
返して下さい

はい
はい
同人誌っていう
素人が自主制作する
マンガ本なんです

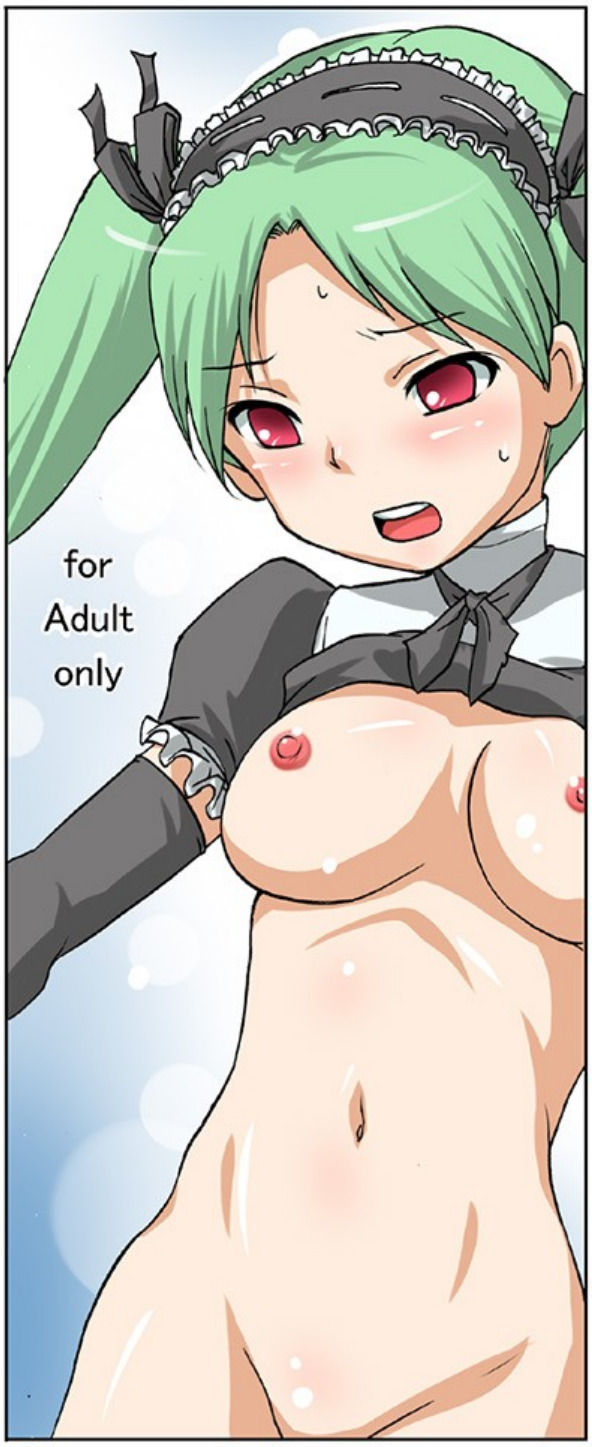
すごーい
これ
龍人クンが
描いたの？
4P
悪魔っ娘
モンカン

うわーっ
プロ並みじゃ
ないの
上手
上手
そ
そんなこと
ないですよ

平成○年度 マンガ研究会

学校では
マンガ研究会に
入ってますから
チラ

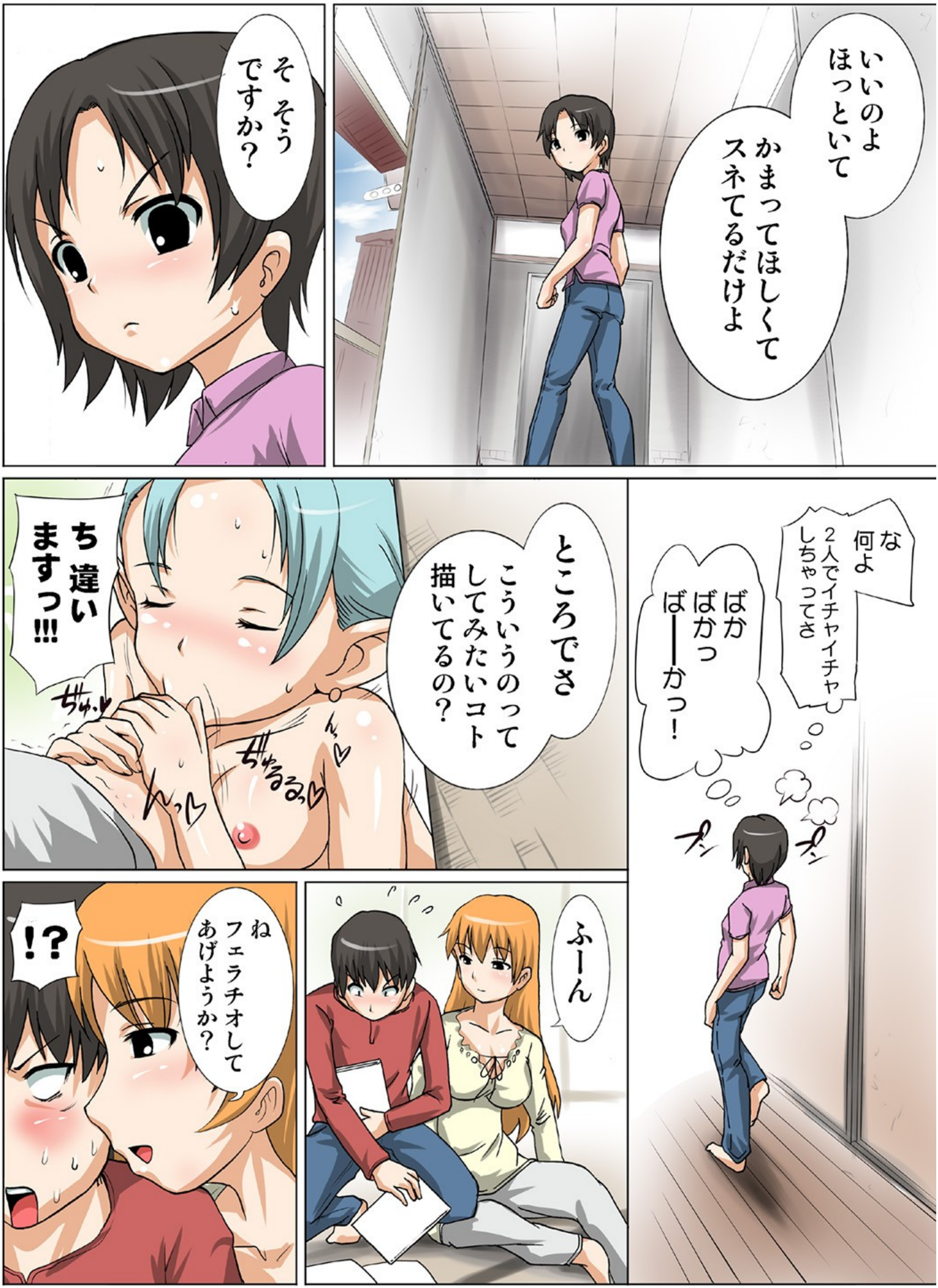
ぴらっ
!?
ん？
芹香いたの？
え？
あっ
ドアッ
せ
芹香ちゃん
それは…
ヒュッ！
さ……
最っ低っ!!
ちょっとお
なぁに？
プス
あらぁ♡

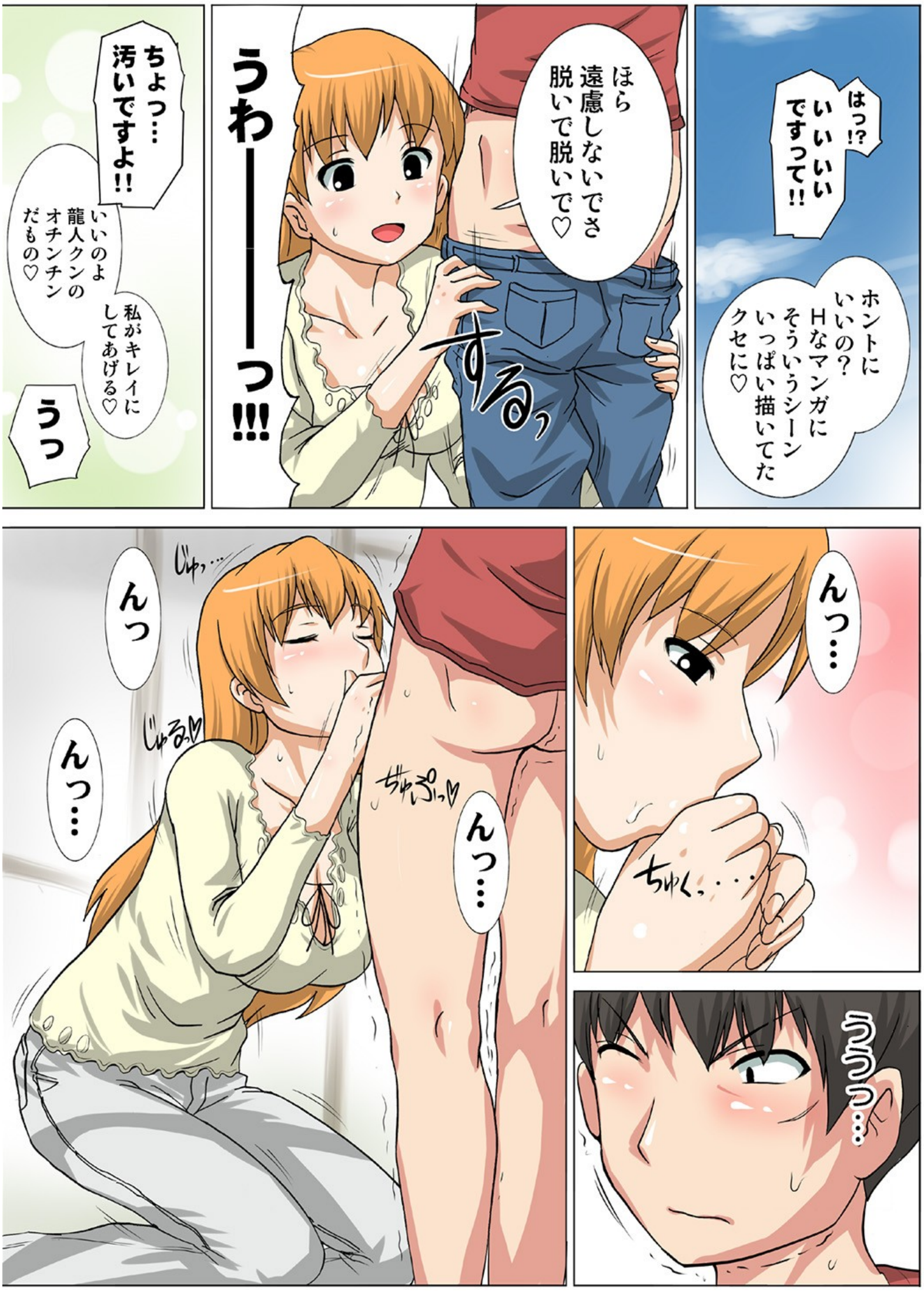

for
Adult
only

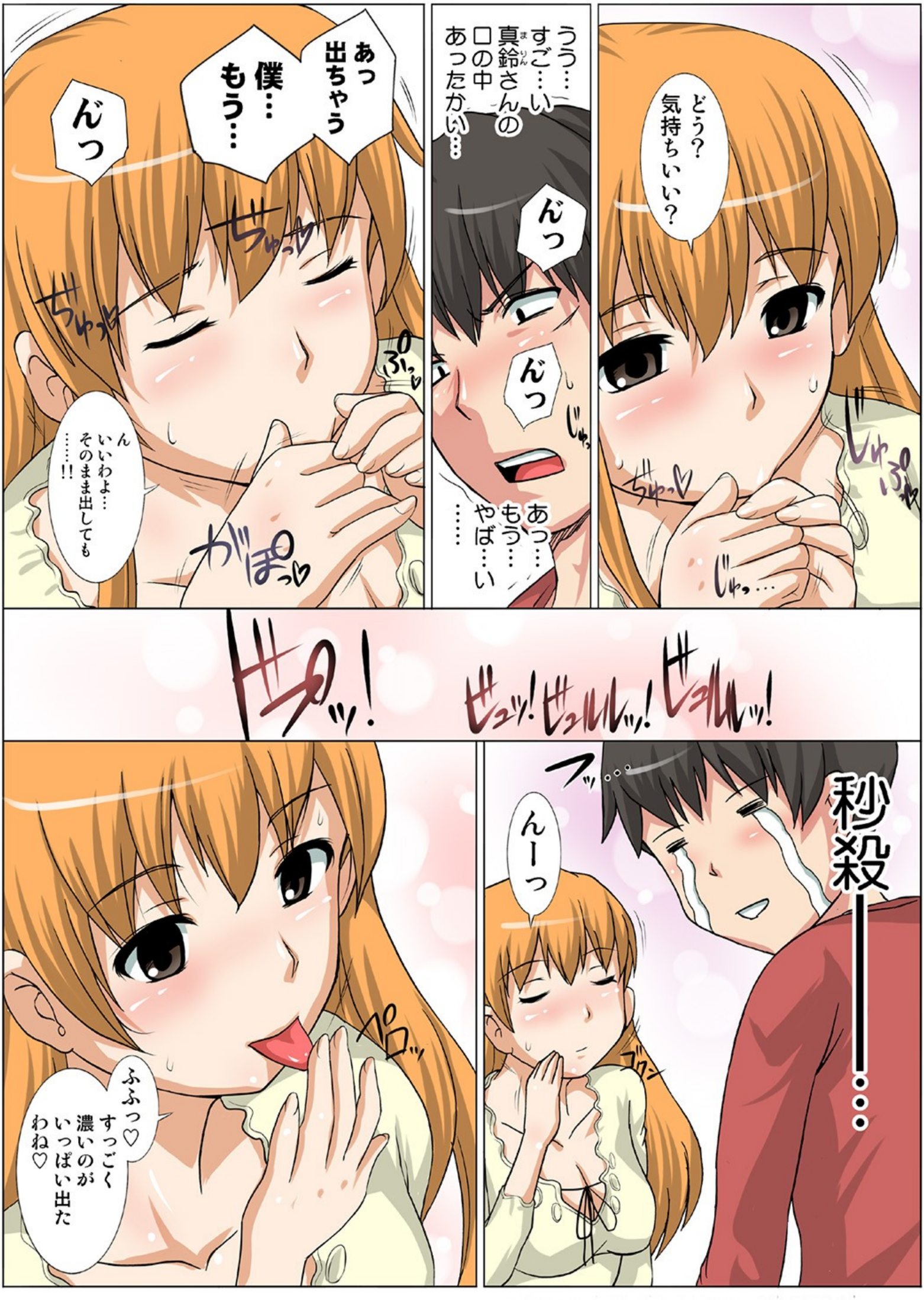
あ――♡
エッチなイラストも
描いてるんじゃん♡
H
成人向

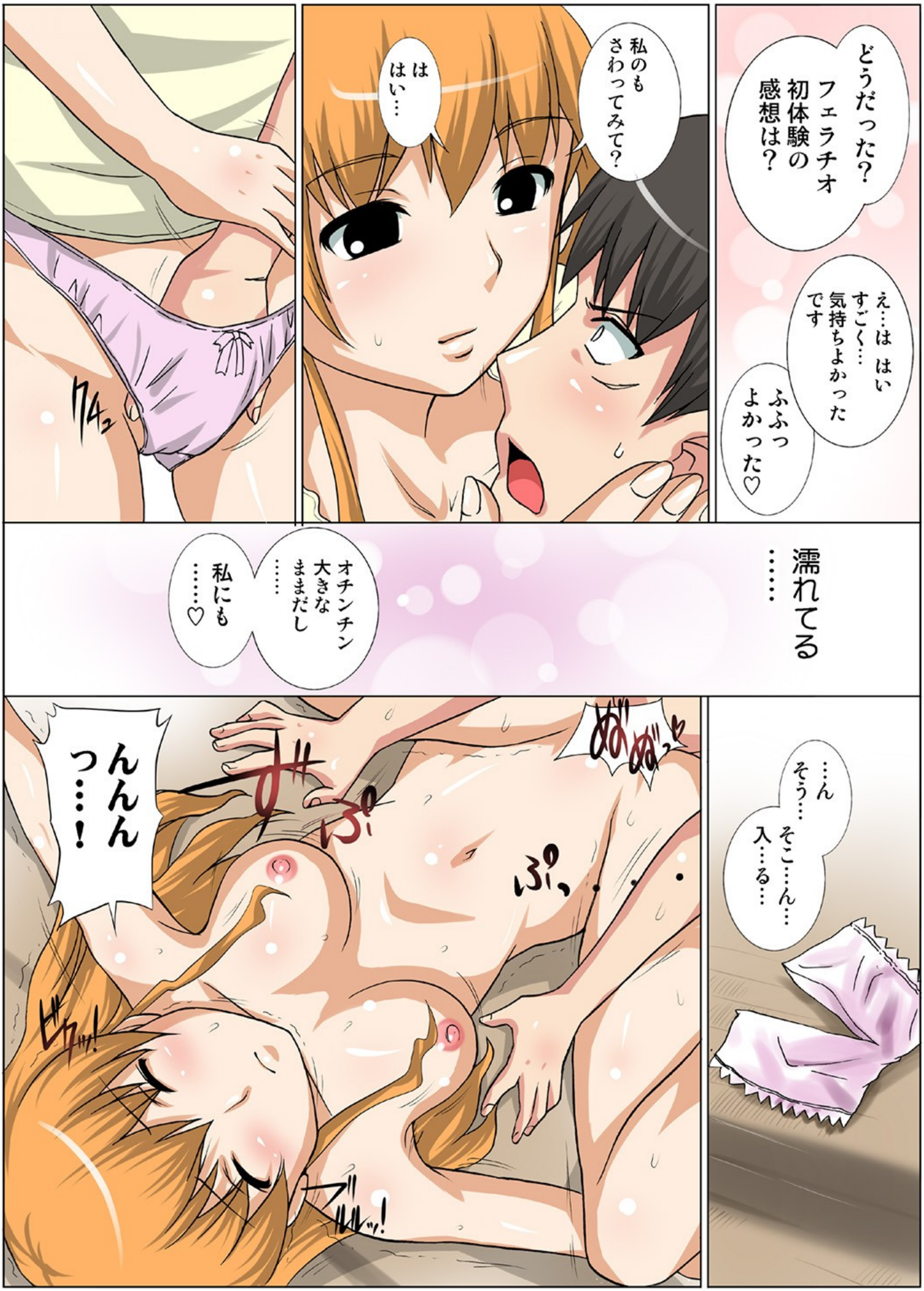
んもーう♡
龍人クン
ったら
ホントに
ムッツリ
なんだからーっ♡
かわいい♡
かわいい♡

そ それより
芹香ちゃんを
怒らせちゃった
あやまら
ないと…


いいのよ
ほっといて
かまってほしくて
スネてるだけよ
そ そう
ですか？
な
何よ
2人でイチャイチャ
しちゃってさ
ばか
ばかっ
ば――かっ！
ところでさ
こういうのって
してみたいコト
描いてるの？
ち違い
ますっ!!!
ふーん
ね
フェラチオして
あげようか？
!?


はっ!?
いいいいいですって!!
ホントにいいの?
Hなマンガにそういうシーンいっぱい描いてたクセに♡
ほら遠慮しないでさ脱いで脱いで♡
うわ――っ!!!
するっ
ちょっ…汚いですよ!!
いいのよ龍人クンのオチンチンだもの♡
私がキレイにしてあげる♡
うっ
んっ…
ちゅく…
うっ…
じゅっ…
んっ
じゅるっ♡
ちゅぷっ♡
んっ…
んっ…


どう？
気持ちいい？
じゅぷっ
ちゅっ♡
じゅっ…
うう…
すご…い
真鈴さんの
口の中
あったかい…
んっ
んっ
じゅっ
あっ…
もう…
やば…い
……
あっ
出ちゃう
僕…
もう…
んっ
ちゅっ
ちゅっ
ふっ
んっ
がぽっ♡
んっ
いいわよ…
そのまま出しても
……!!
ビュッ!
ビュルルッ!
ビュルルッ!
秒殺――…
んーっ
ブッ…
ゴクン
ふふっ♡
すっごく
濃いのが
いっぱい出た
わね♡
ペロッ


どうだった？
フェラチオ
初体験の
感想は？
え…はい
すごく…
気持ちよかった
です
ふふっ
よかった♡
私のも
さわってみて？
はい…
濡れてる
……
オチンチン
大きな
ままだし
……
私にも
……♡
…ん
そう…
そこ…ん…
入…る…
んんん
っ…！

はっ
んっ
あっ…ん
んっ
あっ♡
んっ…やだ…上手…
んっ♡
気持ちいい…
はっ♡
んっ♡
はっ♡
龍人クンったらどんどんセックスが上手になって…
はっ♡
イっちゃう…私…本気でイっちゃう…

ササッ
来ちゃった……
おず
先輩にうっとうしがられたりしないかな……？
でも先輩もう3日も学校休んでるし……
次の同人誌の打ち合わせとかもしたいし…いいよね…？
カチャ
あ…

あっ…ああっ
イっちゃうぅ…!!
はーっ♡
はっ
はっ
はっ
は――っ♡
すっごく
よかった…♡
はあっ♡
は――っ♡
あ…
しばらく
このままで
……
もっと…
龍人クンを
感じていたい
から…
はい
はい…
ちょっと
龍人
後輩って子が
来てるわよ?
すうっ…

せ…
芹香ちゃん…
…と？
う
海原…？
ん？
龍人クンのお友達？
ちちょっ…ちょっ…
アアアンタ達
昼間から何してんのよ!!
こここれには
ワケが
海原――っ!?
どたっ

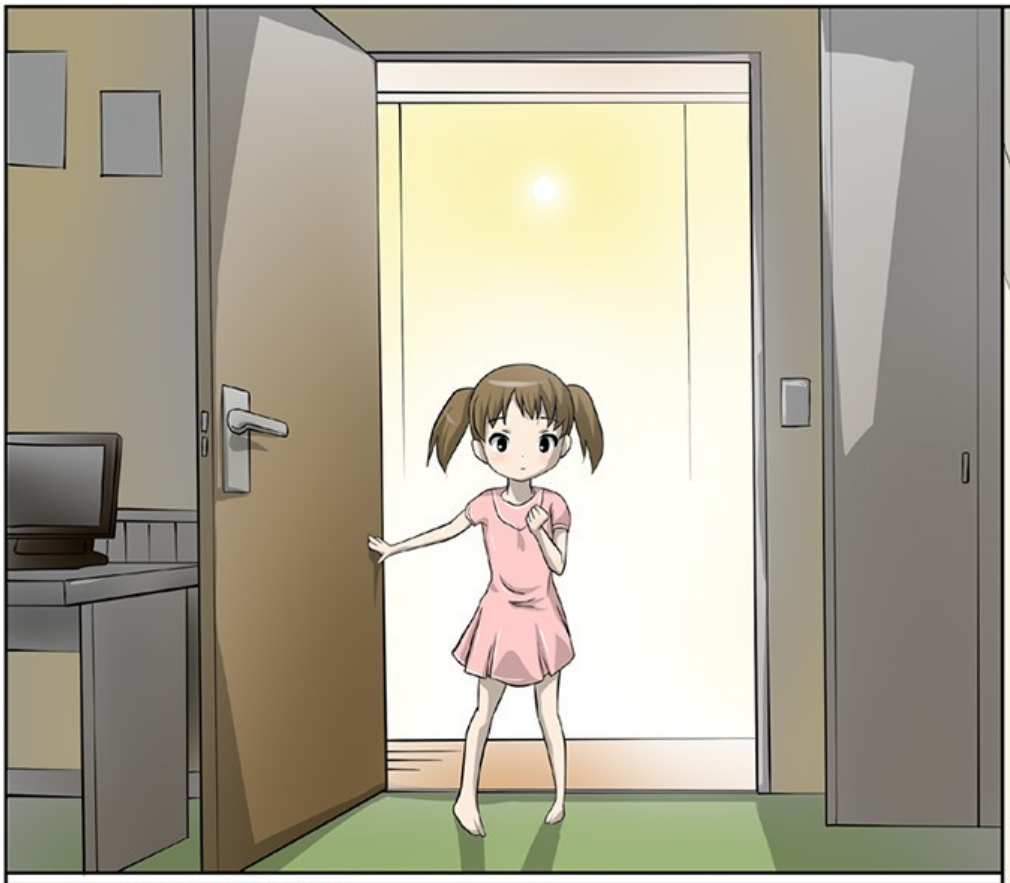
リアル女体
VS
アキバ君
紫色雁行
ししょくがんこう
第4話

小さい頃から
内気で
ひとりで遊ぶのが
好きだった私が

あんなコトを
覚えてしまったのは

家で
お留守番を
していたときに
忍び込んだ

父親の書斎での
発見が
きっかけです



女の人を
縛ったり
いじめたり
している

まだ
幼かった私
でしたが

おへソの下あたりが
熱く疼(うず)いたのを

今でも
はっきり
覚えています

月日が流れても
あの妖しい感覚を
忘れることは
できませんでした
んっ
海原
ちはる
んっ
はあっ…
はっ
ひゃん…
だめぇ…
いつしか行為は
エスカレートして…
はあ
はっ
指が
止まんない
よぉ…
はっ
駄目だよ
こんなの…
はっ
はっ

ひっん
んっ…ちはるの
お○んこ
ぐちゅぐちゅ…♡
ネットで覚えた
エッチな言葉を
しゃべりながら
ビクッ!
クニュッ
クニュッ
んっ
クリトリスも
ビンビンだよぉ♡
はっ♡
ビクッ
こんな
いやらしいコトを…
はっ
ん…
入っちゃう…♡
指が…
根本まで…♡
はっ♡
ビクッ!
ビクッ!
はーっ♡
はーっ♡
クリュッ
クニュ
好き…♡
オナニー
大好き♡
はっ♡
はっ
やだ
イっちゃうっ
ちはる
イっちゃうっ…
ちはるは
イケない子です
でも…
自分では もう
どうすることも
できませんでした
またやっちゃった……
クスン…

内向的な私は
そんな自分を
ひた隠しにして
いましたが

ある日

マンガ研究部…？

マンガ研究部

誰もいない
部室に置かれた
一冊の本

カヴァ

すごい…

自分も
こういうマンガを
描いてみたい

!!

オガガッ!!
バキッ

それが
先輩の描いた
同人誌だったん
です

そして
創作の情熱は
やがて

先輩とのセックスを
妄想する誘発剤と
なっていました

カリ
カリ

へぇ 海原って
子供の頃に見たエロ本みたいなプレイを
してくれる相手がほしかったんだ？
いいぜたっぷり可愛がってやるよ！
オラウッ!!
きゃうっ!?
うぅっキツい…
結構いいぞオマエ!?
わ私も…
先輩のオチンチン気持ちいいですっ♡
あっ♡
んっ♡
んっ♡
※妄想中

先輩との妄想での
オナニーをするうちに
いつしか
以前みたいに
自分を責めたりも
しなくなりました

なるほど
ねぇ
あこがれが
やがて恋へと
変化した
…って話
なのかしら？

龍人クンも
可愛い後輩
持ったじゃないの

ぎゅ

お姉ちゃんは
黙ってて！

だいたい
昼間っから
あんなコト…

あーん
さっき
あやまったじゃ
ない

全然
反省して
ないっ

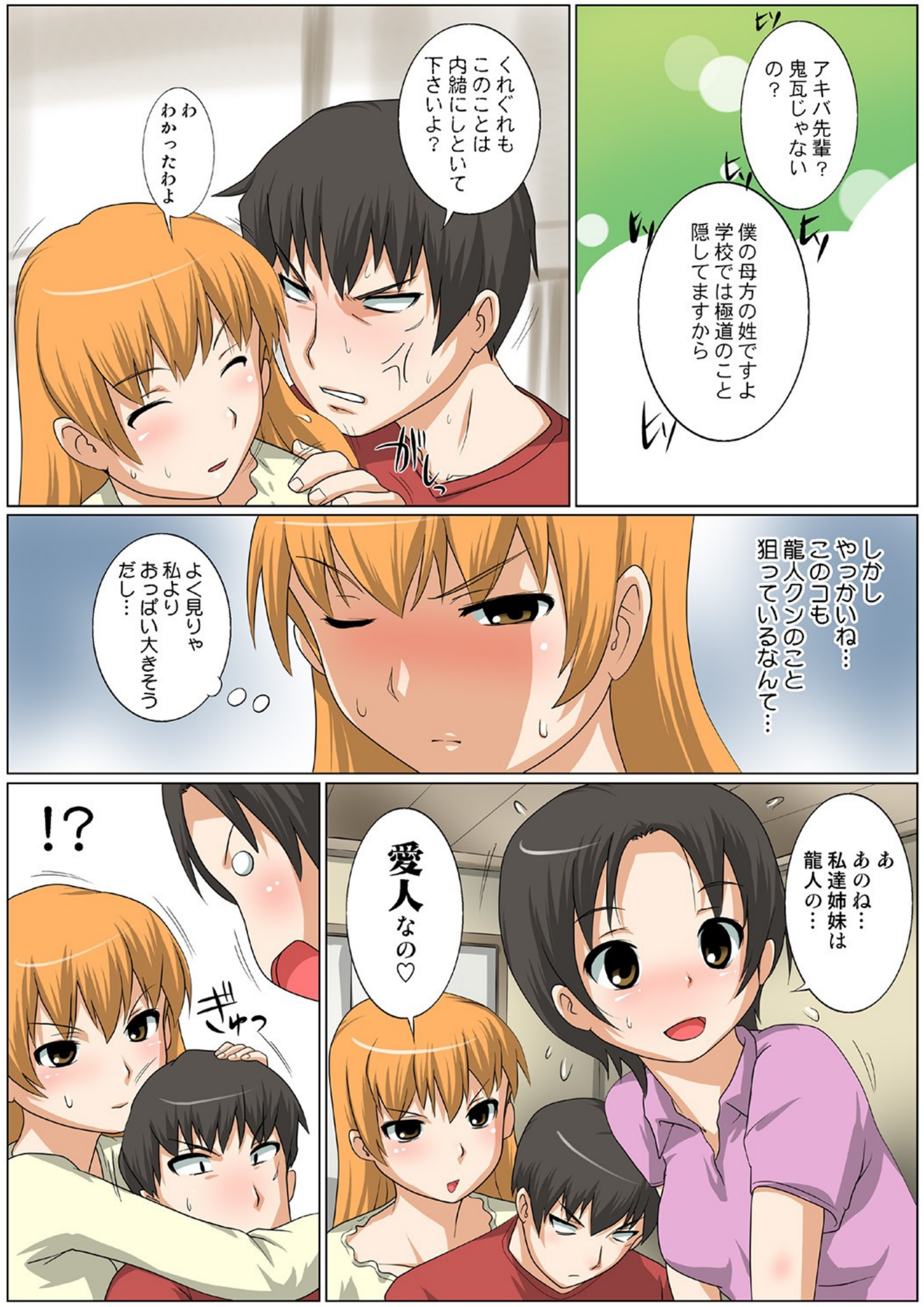
知らなかった
……

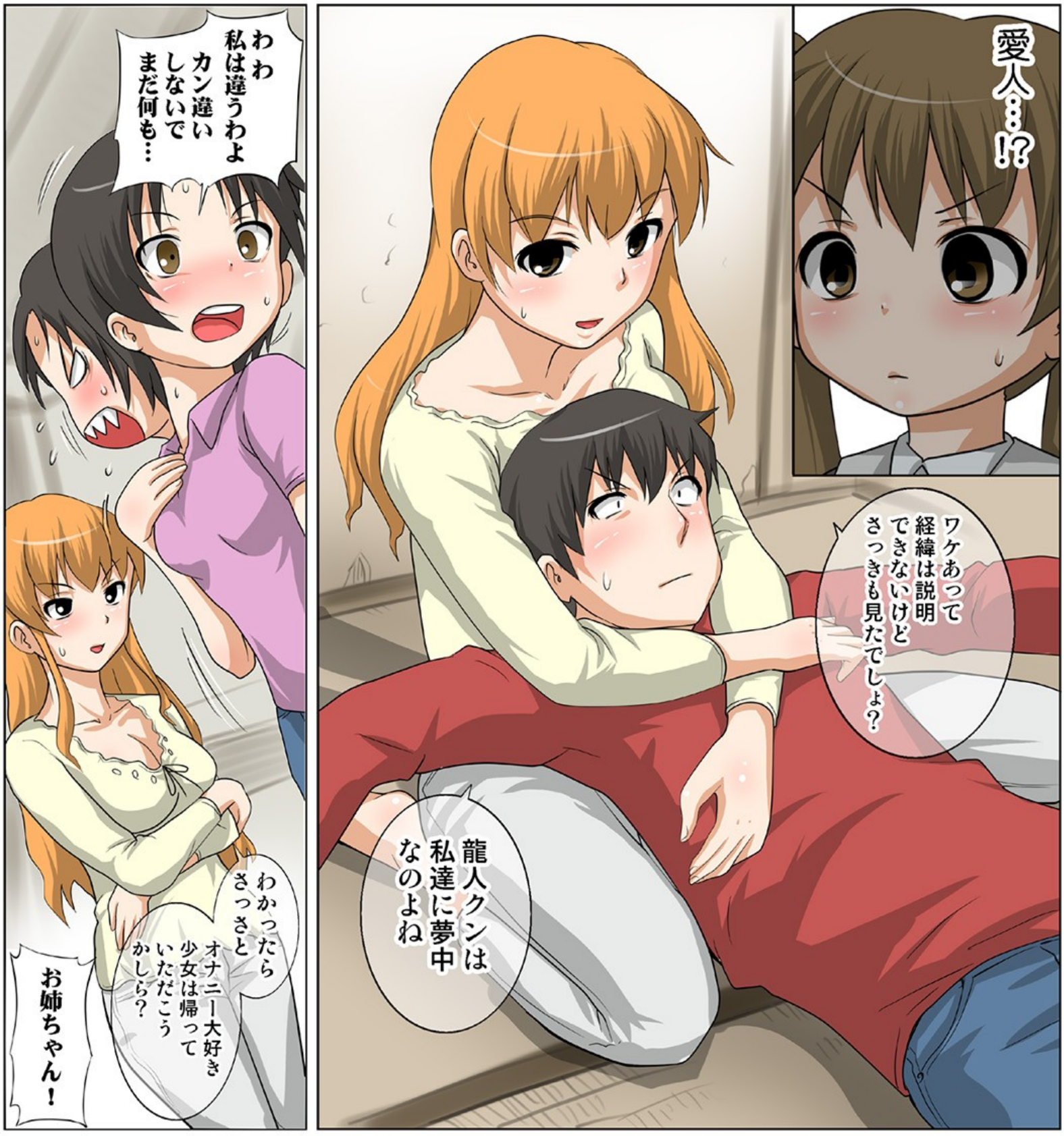
海原って
僕をネタに
そんなコト
してたのか
……

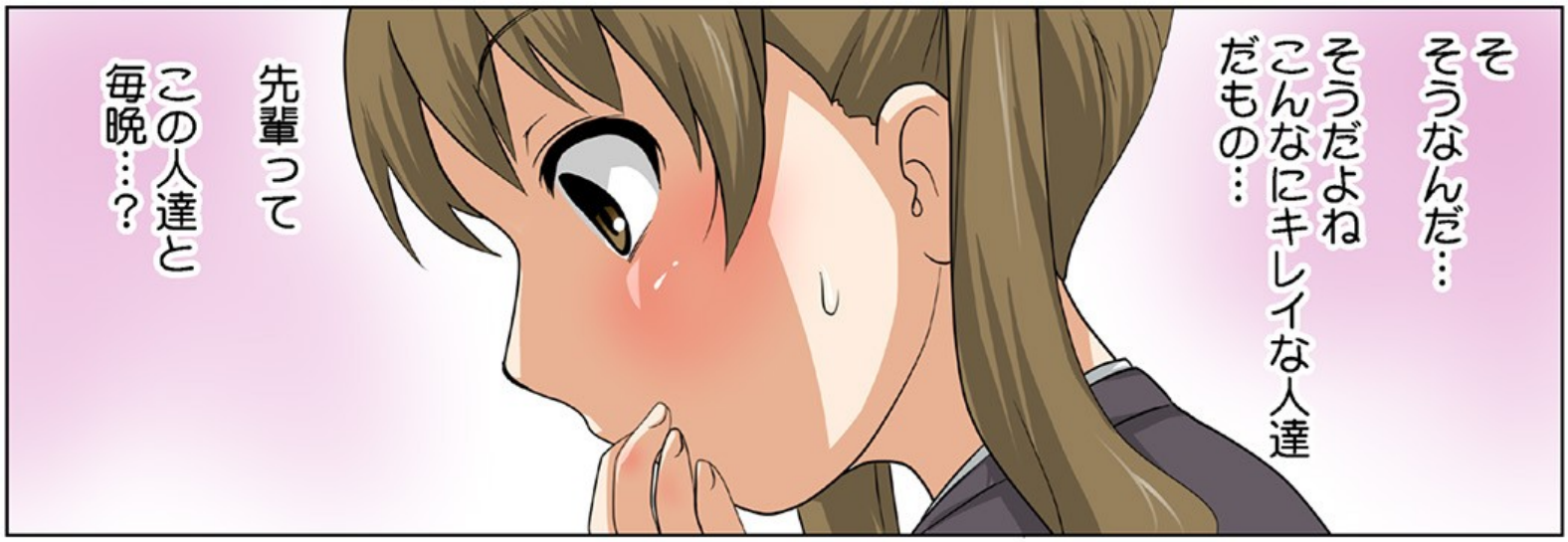
あの…
ところで

お二人と
アキバ先輩って
どういった御関係
なんですか？

アキバ？


アキバ先輩？
鬼瓦じゃないの？
僕の母方の姓ですよ
学校では極道のこと
隠してますから
くれぐれも
このことは
内緒にしといて
下さいよ？
わ
わかったわよ
がしっ
しかし
やっかいね…
このコも
龍人クンのこと
狙っているなんて…
よく見りゃ
私より
おっぱい大きそう
だし…
!?
ぎゅっ
あ
あのね…
私達姉妹は
龍人の…
愛人なの♡


愛人…!?
ワケあって
経緯は説明
できないけど
さっきも見たでしょ?
龍人クンは
私達に夢中
なのよね
わわ
私は違うわよ
カン違い
しないで
まだ何も…
わかったら
さっさと
オナニー大好き
少女は帰って
いただこう
かしら?
お姉ちゃん!


そ
そうなんだ…
そうだよね
こんなにキレイな人達
だもの…
先輩って
この人達と
毎晩…?

あんなことや
こんなこと…？
ぱん
あっ
すごい…
やだ
すごい
龍人クンっ♡
はーっ♡
はっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
気持ちいいっ♡
んっ♡
龍人
あたし
にもっ♡
はっ♡
かあああっ…

でも…
でも私だって
先輩のことが…
負けたくない…
負けたくないよ
私…!!
わ
私も…
先輩の愛人に
なりますっ!!
私…
ほ本気
ですっ!
なんなら
今から…!!
こ
こらーっ
脱ぐなーっ!!

だ 駄目ですか？
私…がんばりますから…
たゆん♡
たゆんっ♡
ち 女狐め 正体を現したわねっ!!
でも 龍人クンは渡さないわよっ!!
でかっ

先輩っ!! 私をセンパイのモノに……して下さーいっ!!
コラッ――!!
おお おちつけ――!!!